

令和 7 年度

清掃事業概要



札幌市環境局環境事業部

この冊子は再生紙を使用しています。



このロゴは、2027年度までに札幌市が処理するごみ排出量を1人1日当たり100g減量し、政令市で一番ごみの少ないまちを目指すことを表したものです。

はじめに

札幌市では、平成30年3月に一般廃棄物処理基本計画である「新スリムシティさっぽろ計画（以下「新スリム計画」という。）」を策定いたしました。計画期間は平成30年度から令和9年度までの10年間となっております。

新スリム計画の策定時、国連では「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、環境や資源・廃棄物問題についても新たな目標が示されました。この目標は、国や札幌市の一般廃棄物処理基本計画の上位計画である「第2次札幌市環境基本計画」においても同様に位置付けられたところでもあります。

また、今後の社会を見据えると、人口減少と急速に進行している高齢化への対応が課題となっており、次世代により良い環境を引き継ぐためには、世界や国が目指す方向性を踏まえつつ、市民のニーズや生活スタイルなどの変化に対応しながら、ごみの減量・リサイクルの取組を進めていく必要があります。

このような背景から、新スリム計画の方向性を諮問した札幌市廃棄物減量等推進審議会では、改めて3Rの取組推進の重要性を認識し、「3Rの更なる推進」や「超高齢化社会への対応」「事業ごみの減量に向けた取組推進」等の提言がなされたところでもあります。

新スリム計画では、こうした世界や国の動向、審議会の提言を踏まえ、今後もリサイクルの推進は維持しつつ、3R（リデュース・リユース・リサイクル）のうち、より効果的に天然資源投入量を削減できる2R（リデュース・リユース）を優先し、更なるごみ減量・リサイクルを推進していくことといたしました。

新スリム計画は、令和4年度で計画の中間年度を迎えたことから、計画前半期の取組の評価や見直しを行う中間点検を行い、その結果を「新スリムシティさっぽろ計画中間点報告書」にまとめました。中間点検では、札幌市のごみの現状分析による減量余地のあるごみ種・ごみ量の把握や前半期に実施した新スリム計画で掲げた施策に基づく各事業の新スリム計画の目標への貢献度並びに事業の効果や課題など自己評価を行ったほか、有識者による懇話会や市民参加型のワークショップを開催し、札幌市の取組に対して様々なご意見もいただきました。

新スリム計画の基本目標に掲げた「ごみのいちばん少ないまち」の実現に向け、ごみの減量・リサイクルに取り組んでいる中、新スリム計画の5つの減量目標の達成にはまだまだ厳しい状況ではありますが、中間点検の結果を踏まえて、新スリム計画の後半期も全力で取組を進めていく所存です。

本書は、清掃事業の概要及び諸統計を収録したものであり、参考資料としてご利用いただければ幸いです。

凡例

数値の単位未満、平均値及び指数などの算出方法は四捨五入を原則としたため、合計数値とその内訳の計とが一致しない場合がある。

目次

| | | | | |
|-----|----------------------------|----|------------------------------|----|
| I | 総説 | 1 | (2) 収集方法等 | 30 |
| 1 | 札幌市のあらまし | 1 | (3) 札幌市要介護者等ごみ排出支援事業（さわやか収集） | 31 |
| | (1) 地勢 | 1 | (4) 家庭ごみ収集方法等に関する検討 | 32 |
| | (2) 市勢 | 1 | (5) 処理処分計画 | 32 |
| 2 | 清掃事業の沿革 | 1 | (6) 試験調査実施計画 | 33 |
| 3 | 一般廃棄物処理基本計画 | 3 | (7) 自己搬入 | 34 |
| | (1) スリムシティさっぽろ計画の策定 | 3 | 3 し尿処理 | 35 |
| | (2) スリムシティさっぽろ計画（改定版）の策定 | 3 | (1) し尿収集計画 | 35 |
| | (3) 新スリムシティさっぽろ計画の策定 | 3 | (2) し尿収集方法 | 35 |
| | (4) 新スリムシティさっぽろ計画の中間点検の実施 | 4 | (3) 浄化槽 | 35 |
| | (5) 新スリムシティさっぽろ計画の体系図 | 9 | (4) 処理計画 | 35 |
| II | 清掃事業の規模 | 11 | 4 事業系廃棄物 | 36 |
| 1 | 機構・事務分掌・人員配置 | 11 | (1) 監視指導体制 | 36 |
| | (1) 機構及び事務分掌 | 11 | (2) 事業系一般廃棄物の減量施策及び処理状況 | 36 |
| | (2) 職別人員配置 | 11 | (3) 浄化槽 | 39 |
| 2 | 施設配置図 | 14 | (4) 自動車リサイクル法 | 39 |
| 3 | 施設の現況 | 15 | (5) 産業廃棄物の指導計画及び処理状況 | 39 |
| | (1) 清掃事務所及び処理場管理事務所 | 15 | (6) 特別管理産業廃棄物の適正処理 | 41 |
| | (2) し尿の下水道投入施設 | 15 | (7) 不法投棄や野外焼却などの不適正処理対策 | 42 |
| | (3) ごみの中間処理施設 | 16 | 5 車両整備 | 43 |
| | (4) 普及啓発施設等 | 17 | (1) 清掃車両整備計画 | 43 |
| | (5) ごみの埋立処分場 | 17 | (2) 整備作業体制 | 43 |
| | (6) その他の施設 | 18 | 6 施設整備 | 44 |
| 4 | 車両の現況 | 19 | (1) 清掃工場等建設・整備 | 44 |
| 5 | 関係出資団体 | 19 | (2) ごみ埋立処分場造成・整備 | 44 |
| 6 | リサイクル団地 | 20 | 7 令和7年度清掃事業関係予算 | 45 |
| | (1) 団地の位置及び面積 | 21 | (1) 歳入歳出額 | 45 |
| | (2) 施設の配置状況 | 21 | (2) 歳入歳出予算額の推移 | 47 |
| | (3) 配置図 | 21 | IV 令和6年度清掃事業実績 | 48 |
| 7 | エコタウン事業によるリサイクル施設の整備 | 22 | 1 普及活動 | 48 |
| III | 令和7年度清掃事業 | 23 | (1) 行事実績 | 48 |
| 1 | 普及啓発 | 23 | (2) 集団資源回収奨励金支給実績 | 49 |
| | (1) ごみ減量運動の推進 | 23 | (3) リサイクルプラザ事業実績 | 50 |
| | (2) 清掃に関する市民意識の高揚 | 24 | (4) リユースプラザ事業実績 | 50 |
| | (3) 札幌市リサイクルプラザ・札幌市リユースプラザ | 26 | (5) びん・缶・ペットボトルの選別後の量の推移 | 50 |
| | (4) ごみステーションの浄化推進 | 27 | (6) 缶の売却額の推移 | 50 |
| | (5) ごみステーションに関する規程の見直し | 27 | (7) 容器包装プラスチックの選別後の量の推移 | 50 |
| | (6) ごみステーションの管理支援 | 27 | (8) リサイクル推進基金年度別推移 | 51 |
| 2 | ごみ処理 | 30 | (9) 雑がみの選別後の量の推移 | 51 |
| | (1) 収集計画 | 30 | (10) 雑がみの売却額の推移 | 51 |
| | | | (11) ごみステーション浄化に関する普及・指 | |

| | | | |
|----------------------------------|----|--|-----|
| 導状況 | 51 | (3) 工場ピットごみ組成 | 88 |
| (12) 出前講座「さっぽろクリーンミーティング」の開催件数 | 52 | (4) ダイオキシン類測定結果 | 89 |
| (13) 苦情の処理件数 | 52 | 2 処理場処理実績 | 90 |
| (14) 要望の処理件数 | 52 | (1) 埋立状況 | 90 |
| (15) 清掃に関する問い合わせ件数 | 53 | (2) 排水処理運転年報 | 91 |
| 2 ごみ処理関係 | 54 | 3 し尿処理実績 | 92 |
| (1) ごみ量 | 54 | (1) 札幌市クリーンセンター運転年報 | 92 |
| (2) 処理実績 | 58 | (2) 札幌市クリーンセンターし尿受入実績 | 93 |
| 3 し尿処理関係 | 60 | VII 参考資料 | 94 |
| (1) 処理量の推移 | 60 | 1 関係条例・規則 | 94 |
| (2) 処理量の内訳 | 61 | (1) 札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例 | 94 |
| 4 清掃車両整備実績 | 61 | (2) 札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例施行規則 | 102 |
| 5 清掃車両稼働実績 | 62 | (3) 令和7年度一般廃棄物処理実施計画 | 108 |
| 6 令和6年度清掃事業関係決算 | 64 | (4) 札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例第39条第2項の規定に基づき市が処分する産業廃棄物の種類及び量 | 115 |
| (1) 歳入歳出額 | 64 | (5) 札幌市浄化槽保守点検業者の登録等に関する条例 | 116 |
| (2) 歳入歳出決算額の推移 | 66 | (6) 札幌市浄化槽に関する規則 | 118 |
| (3) 手数料収入 | 67 | (7) 札幌市たばこの吸い殻及び空き缶等の散乱防止等に関する条例 | 120 |
| (4) ごみ処理に係る行政コストの経年比較 | 67 | (8) 札幌市たばこの吸い殻及び空き缶等の散乱の防止等に関する条例施行規則 | 121 |
| (5) ごみ種別の1トンあたりの処理原価(令和6年度決算見込み) | 68 | 2 関係要綱 | |
| 7 ごみの組成 | 69 | (1) 札幌市ごみステーションの設置及び清潔保持等に関する要綱 | 122 |
| (1) 家庭ごみ | 69 | (2) 札幌市家庭廃棄物の排出日時等厳守指導要綱 | 126 |
| (2) ピットごみ(清掃工場に搬入されたもの) | 71 | (3) 札幌市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱 | 127 |
| V 勤務時間等の現況 | 73 | (4) 札幌市合併処理浄化槽維持管理費補助金交付要綱 | 129 |
| 1 勤務時間・職員定数等 | 73 | (5) 札幌市自己搬入ごみ取扱要綱 | 131 |
| (1) 勤務時間 | 73 | 3 資源ごみ選別処理フロー | 132 |
| (2) 課所別・職種別人員配置(定数) | 74 | 4 家庭ごみ処理手数料約33億円の使いみち(令和6年度決算) | 135 |
| 2 被服の貸与等 | 76 | 5 手数料の改定経過表 | 135 |
| (1) 被服の貸与状況 | 76 | 6 札幌市清掃事業年表 | 136 |
| (2) 消耗品の支給状況 | 76 | | |
| 3 労務管理 | 79 | | |
| (1) 研修制度 | 79 | | |
| (2) 表彰制度 | 79 | | |
| (3) 自動車事故防止対策 | 80 | | |
| 4 安全衛生対策 | 80 | | |
| (1) 安全衛生管理体制 | 80 | | |
| (2) 環境事業部安全衛生委員会 | 80 | | |
| (3) 環境事業部事業所安全衛生推進委員会 | 81 | | |
| 5 公務災害防止対策 | 82 | | |
| (1) 職員の安全衛生意識の高揚 | 82 | | |
| (2) 災害の原因究明と指導 | 82 | | |
| (3) 安全衛生教育 | 82 | | |
| (4) 被服・保護具及び作業方法等の改善 | 82 | | |
| (5) 健康管理 | 82 | | |
| VI 処理施設の実績 | 84 | | |
| 1 清掃工場等処理実績 | 84 | | |
| (1) 運転年報 | 84 | | |
| ・ 発寒清掃工場 | 84 | | |
| ・ 駒岡清掃工場 | 85 | | |
| ・ 白石清掃工場 | 86 | | |
| (2) 残さ搬出実績 | 87 | | |

I 総 説

1 札幌市のあらまし

(1) 地勢

本市は石狩平野の南西部に位置し、東西42.3km、南北45.4km、総面積1,121.26km²に及び全国屈指の広大な面積を有した都市である。気象は日本海型気候に属し大陸の気象に左右されることが多い。6月下旬ころから日中暑い日もあるが、梅雨前線による長雨はほとんどないため、過ごしやすく、7月、8月は平均気温が20℃を超える盛夏となる。冬季は積雪寒冷が特徴であり、西高東低の気圧配置のなか、気温低下が著しく、12月上旬に根雪となり、最深積雪は約1mで、ひと冬を通しての降雪量は約5mにも達する。

(2) 市勢

本市は明治2年（1869年）に創建され、以来150年余、北海道開発の拠点として人口約195万人（全国で5番目）を擁する大都市として発展を遂げ、本道における行政・経済・文化の中心はもちろん、北方圏の拠点都市として国際的にも大きく発展を続けている。

令和7年4月1日現在で、1,007,309世帯、人口1,964,894人である。（国勢調査ベース）

2 清掃事業の沿革

街の衛生美観については、開拓時代から特に留意されており、明治5年（1872年）「往来御許しこれ無き場所へ水を流しかけ、或は不浄の品を投げ捨て、溝堀に塵芥投入候儀相成らざること」（道路取締九則）を定めて、環境衛生に着手したことからはじまる。

明治6年（1873年）には開拓使から布達が出され「当庁下これまで塵芥取捨場相定めざるをもって、川筋或は道路等へ投捨て置き候様の心得違い往々これあり、その不潔たるは勿論第一不体裁の儀につき、このたび左の場所、塵芥取捨場に相定め候。（中略）ただし、本文の場所へは塵芥捨場と記せし榜を置けり」とされ、ごみ捨場が設けられたことが記されている。

明治15年（1882年）には「札幌市街掃除規則」が制定され市民の清掃責任範囲及び塵芥投棄場所が定められた。

明治18年（1885年）には、「札幌市街道路掃除法」が制定され、「掃除の責任は現住者にあるが、区役所は塵芥を運搬するため4月から10月まで請負人を設ける。この請負人は人夫と馬車を準備し毎日市街を巡回して各戸に取りまとめてある塵芥を捨場に運搬する。住民は掃除した塵芥を桶或いは箱などに各自まとめておく」というもので、現在のごみ収集システムにほぼ近い制度が実現している。

明治33年（1900年）汚物掃除法が制定されたのに伴い、本市も全国に先がけて明治34年（1901年）に札幌区汚物掃除規程を制定、ごみを計画的に運搬処理することになった。

し尿は明治30年（1897年）し尿くみ取りを専業とする仲買人が集まり、し尿溜に貯蔵しそれを農民に売却したことがはじまりであり、昭和5年汚物掃除法の一部改正により、し尿の自由くみ取りを禁止して、指導業者制度をとったが、昭和16年に業者が経営困難となり倒産したことを機会に、施設資材の一切を市が買い取り、同年12月1日から市営にした。

戦後、環境衛生の確立が市政の重点施策に掲げられ、昭和25年全国に先がけて「札幌市清掃条例」を制定し、清掃事業の近代化に着手したが、昭和29年の「清掃法」制定に伴い清掃条例も全面改正し、汚物の定義・住民の義務等を明確に定めて衛生的な生活環境を維持するための基本が確立された。さらに昭和45年に「清掃法」が全面改正され、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」が制定されたのに伴い、昭和47年に清掃条例も「札幌市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」に全部改正した。

また、平成3年に排出ごみの抑制及び再利用を理念に廃棄物処理法が全面改正され、この趣旨を踏まえて平成5年に本市条例を「札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例」に改正し、『リサイクル型社会』の構築を目指した。

し尿については、昭和30年に道内初の化学的処理場（北光処理場）が完成し、以後国の積極的な財政施策のもとに化学的処理場を逐次建設し、昭和41年には、合計6か所の処理場（総処理能力1,468kL /日）が完成し、100%の衛生処理を実現した。

その後、昭和41年創成川下水処理場の完成をはじめとして、下水処理場の整備も急速に進み、水洗化が普及する中で、くみ取り量が次第に減少したため、昭和51年からし尿処理場を順次廃止し、下水投入に切り替えることとして、平成5年度クリーンセンター（手稲山口）の建設に着手し、平成7年3月から稼働している。

ごみの収集については、昭和38年からごみ箱収集及び賦課制手数料を廃止し、従量制手数料による持寄り収集制度を採用した。以来、機動力の充実、収集地域の拡張等により街の衛生美観は著しく向上した。

しかし、立会いのいらぬ収集方法や手数料無料化を望む世論が高まってきたため、昭和45年度から46年度にかけて、立会い不要のステーション収集方式に切替えた。

昭和47年4月1日からは一般家庭のごみ手数料の無料化を実施するとともに、未収集地域の解消につとめ、市全域を処理計画区画（作業区域）としている。

ごみの減量・資源のリサイクル推進については、平成9年10月から大型ごみの戸別収集を始めたほか（平成10年1月から有料収集）、平成10年10月からは、びん・缶・ペットボトルの資源物収集を開始し、あわせて分別の徹底や危険物の混入防止のため、中身の見えるごみ袋の使用を義務づけた。また、平成12年4月からの容器包装リサイクル法の全面施行により、同年7月から全市でプラスチック収集を開始し5分別体制へと移行した。その後、平成13年4月の家電リサイクル法の施行に伴い、家電4品目（テレビ、冷蔵庫及び冷凍庫（平成16年4月から対象）、洗濯機、エアコン）と、資源有効利用促進法に基づき平成16年3月からは家庭用パソコンについて、事業者によるリサイクルルートが確立したことから、本市の収集対象から除外した。

一方、リサイクル思想の普及啓発を図るため、平成10年10月にリサイクルプラザ発寒工房を開設し、平成12年8月には西区に生涯学習総合センターと併設したりサイクルプラザがオープンした。

また、ごみ処理については、昭和46年に発寒清掃工場（後の発寒第二清掃工場：平成14年3月に廃止）が完成し、可燃ごみ焼却体制への第一歩を踏み出し、昭和49年に厚別清掃工場（平成14年8月に廃止）、昭和55年に篠路清掃工場（平成23年3月廃止）及び篠路粗大ごみ破碎工場、昭和60年に駒岡清掃工場、昭和61年に駒岡粗大ごみ破碎工場、平成4年に発寒清掃工場、平成10年に発寒破碎工場、平成14年11月には灰溶融炉を備えた白石清掃工場を整備した（灰溶融炉は平成26年6月廃止）。不燃ごみ（一部は破碎処理）や清掃工場の焼却灰等は、山本及び山口の2処理場で埋立処分を行っており、埋立後は、札幌の周囲約100kmを緑の帯で包む「環状グリーンベルト構想」の一環として整備を進めている。また、ごみの資源化・有効利用を促進するため、平成2年に紙くず・木くずなどのごみから固形燃料を生産するごみ資源化工場を整備し、選別施設として平成10年には中沼資源選別センター及び駒岡資源選別センター（資源選別センターの設置主体は一般財団法人札幌市環境事業公社）、平成12年には中沼プラスチック選別センター、平成21年に中沼雑がみ選別センターを整備している。

平成6年度から事業系廃棄物を主体としたリサイクルを図るべく東区中沼町に札幌市リサイクル団地の造成に着手し、平成8年度に基盤造成が終わった。平成21年7月からは、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の有料化や「雑がみ」「枝・葉・草」の分別収集などの新ごみルールを導入した。

3 一般廃棄物処理基本計画

(1) スリムシティさっぽろ計画の策定

札幌市は、平成20年3月に一般廃棄物処理基本計画「スリムシティさっぽろ計画」を策定した。

この計画は、平成29年度を目標年度（計画期間：10年間）とし、前計画のごみ量管理目標である「廃棄ごみ量」、「リサイクル率」及び「埋立処分量」について、さらに高い目標値を設定するとともに、清掃工場1か所廃止を目指して、新たに「焼却ごみ量」の減量を数量目標に設定した。

また、これらの高い目標の達成に向けて、ごみ減量効果を最大限に高めるため、同計画では、「雑がみ」の分別収集など、ごみ減量・リサイクルに取り組める具体的な施策をさらに拡充していくとともに、経済的な動機付けとして家庭ごみの有料化の実施を掲げた。

そして、この計画に基づき平成21年7月から「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の有料化や「雑がみ」「枝・葉・草」の分別収集を含む「新ごみルール」を実施し、市民の理解と協力により焼却ごみの減量が順調に進んだことから、平成23年3月末をもって清掃工場1か所を廃止することができた。

(2) スリムシティさっぽろ計画（改定版）の策定

「スリムシティさっぽろ計画」に基づき実施した様々な施策により、ごみ量は大幅に減少し、札幌市のごみ排出状況は大きく変化した。

平成24年7月、札幌市は札幌市廃棄物減量等推進審議会（第7期）に対し、「市民力の活用」、さらには「限られた財政状況の中で最大限の効果」という2つの観点から計画改定の方向性について諮問し、平成25年7月、「発生・排出抑制の促進」や「生ごみ減量・資源化の促進」、「より積極的な普及啓発の展開」等の提言を盛り込んだ「スリムシティさっぽろ計画の改定について（答申）」をとりまとめた。

この答申に盛り込まれた提言の趣旨や、札幌市の総合計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の方向性などを踏まえ、さらなるごみの減量・資源化に取り組んでいくため、平成26年3月、「スリムシティさっぽろ計画（改定版）」を策定した。

同計画では、前計画のごみ量管理目標である「廃棄ごみ量（全体）」「家庭から出る廃棄ごみ量」「リサイクル率」「焼却ごみ量」「埋立処分量」に加えて、燃やせるごみの4割を占めていた生ごみに着目した「家庭から出る生ごみ量」を新たなごみ量管理目標に掲げた6つのごみ量管理目標について、平成29年度までの最終目標値を設定した。

これら6つの目標のうち、「家庭から出る生ごみ量」は平成27年度及び28年度には目標を達成した。このほかの目標については、目標達成することはできなかったが、その多くが基準年度（平成24年度）と比較し数値が向上した。

(3) 新スリムシティさっぽろ計画の策定

スリムシティさっぽろ計画（改定版）期間中に、国連では「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、環境や資源・廃棄物問題を含む取組の新たな目標が示された。また、国においては「第三次循環型社会形成推進基本計画」が策定され、3R（リデュース・リユース・リサイクル）のうち、リサイクルよりも優先的に行うべき2R（リデュース・リユース）の取組をより一層進めることが示された。

一方、今後の社会を見据えると、目前に控えた人口減少と急速に進行する高齢化への対応が課題となっている。次の世代により良い環境を引き継ぐためには、世界や国が目指す方向性を踏まえつつ、市民のニーズや生活スタイルなどの変化に対応しながら、ごみ減量・リサイクルの取組を進めていく必要がある。

このような背景から、札幌市は、平成27年12月に、札幌市廃棄物減量等推進審議会（第8期）に対し、札幌市や国の動向、今後の社会情勢を見据えた新計画の方向性について諮問した。同審議会では、今後のごみ減量・リサイクルに取り組むべき方向性として、改めて3Rの取組推進の重要性を認識し「3Rの更なる推進」や「超高齢社会への対応」「事業ごみの減量に向けた取組推進」等の提言を盛り込んだ「次期札幌市一般廃棄物処理基本計画の方向性について（答申）」を平成29年7月にとりまとめた。

この答申に盛り込まれた提言の趣旨や、世界や国の動向、「札幌市まちづくり戦略ビジョン」などを踏まえ、「環境首都・札幌」を目指して更なるごみの減量・リサイクルに取り組んでいくため、平成30年3月に、新たな一般廃棄物処理基本計画を策定した。

新計画では、札幌市のごみ排出量（資源物も含めた家庭ごみ・事業ごみ全ての量）を1人1日当たり100g減量し、ごみ排出量の少なさで政令市トップになることを目標としている。また、前計画の管理目標であった「廃棄ごみ量全体」「家庭から出る廃棄ごみ量（1人1日当たり）」「家庭から出る生ごみ量」「埋立処分量」を引き続き目標に掲げ、目標値は「ごみ排出量」の目標値として設定した水準に合わせている。

(4) 新スリムシティさっぽろ計画の中間点検の実施

令和4年度に、新スリムシティさっぽろ計画が中間年度を迎えたことから、後半期の取組をより効果的なものにするため、前半期の総括として中間点検を実施した。中間点検では、札幌市のごみの現状分析による減量余地のあるごみ種・ごみ量の把握や、前半期に実施した施策に基づく各事業の目標への貢献度や事業の効果、課題など自己評価を行ったほか、有識者による懇話会や市民参加によるワークショップを開催した。これらの結果を踏まえて、前半期の課題を精査し、計画後半期に実施すべき取組の方向性の検討を行った。

【目指せいちばん！スリム目標】

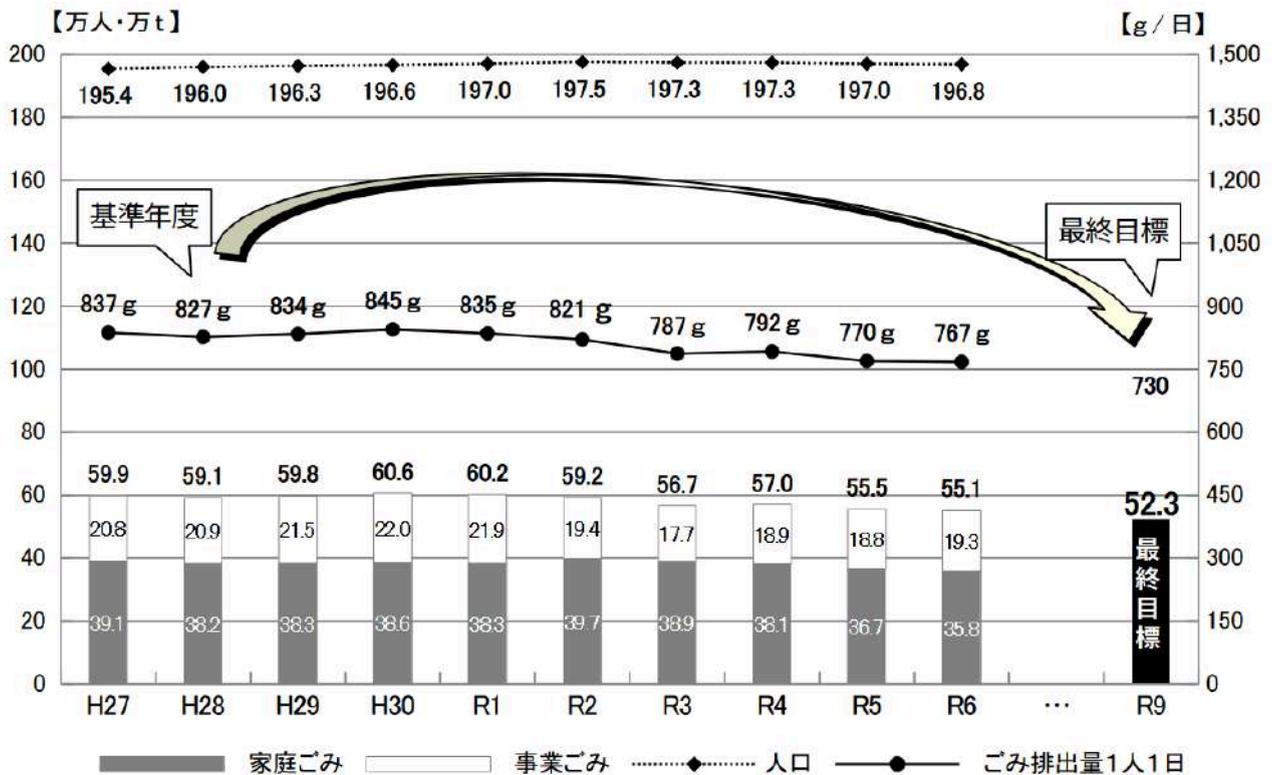
ア ごみ排出量

(ア) 目標

ごみ排出量 平成28年度実績（59.1万t（1人1日当たり827g））に比べ、
令和9年度までに**6.8万t（1人1日当たり100g）以上減量**
※ごみ排出量：札幌市が処理する「家庭ごみ」・「事業ごみ」全ての量

(イ) 令和6年度実績

令和6年度のごみ排出量は551,297t（1人1日当たり767g）となり、平成28年度の591,462t（827g）に比べ40,164t（59g）の減少となった。



イ 廃棄ごみ量

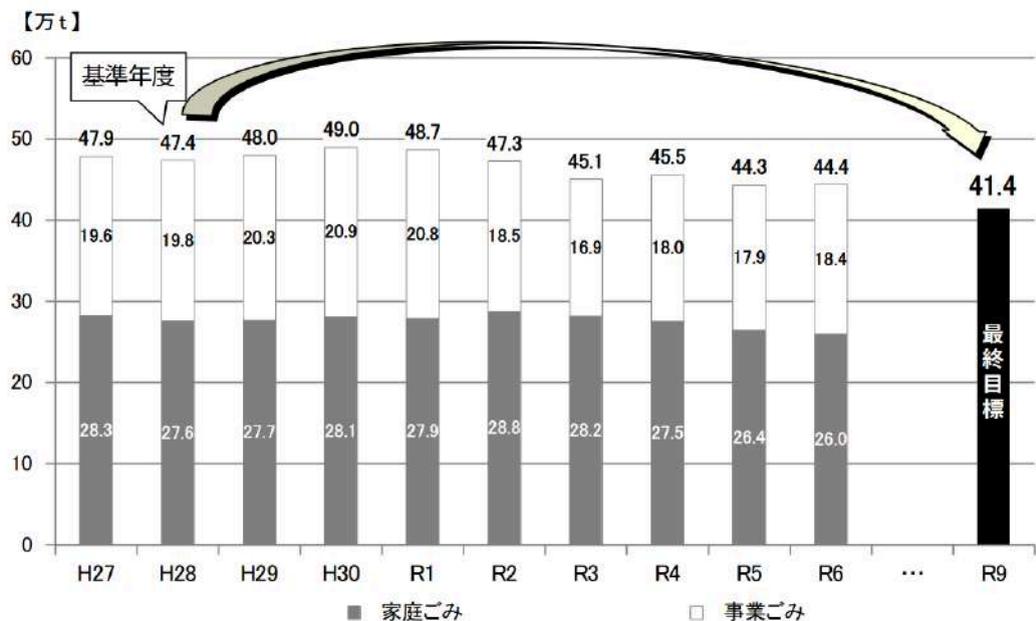
(ア) 目標

廃棄ごみ量 平成28年度実績（47.4万t）に比べ、
令和9年度までに**6.0万t以上減量**

※廃棄ごみ：「燃やせるごみ」・「燃やせないごみ」などの、資源化できず焼却処理や埋立処分しなければならないごみ

(イ) 令和6年度実績

令和6年度の廃棄ごみ量は444,012tとなり、平成28年度の473,666tに比べ29,654tの減少となった。



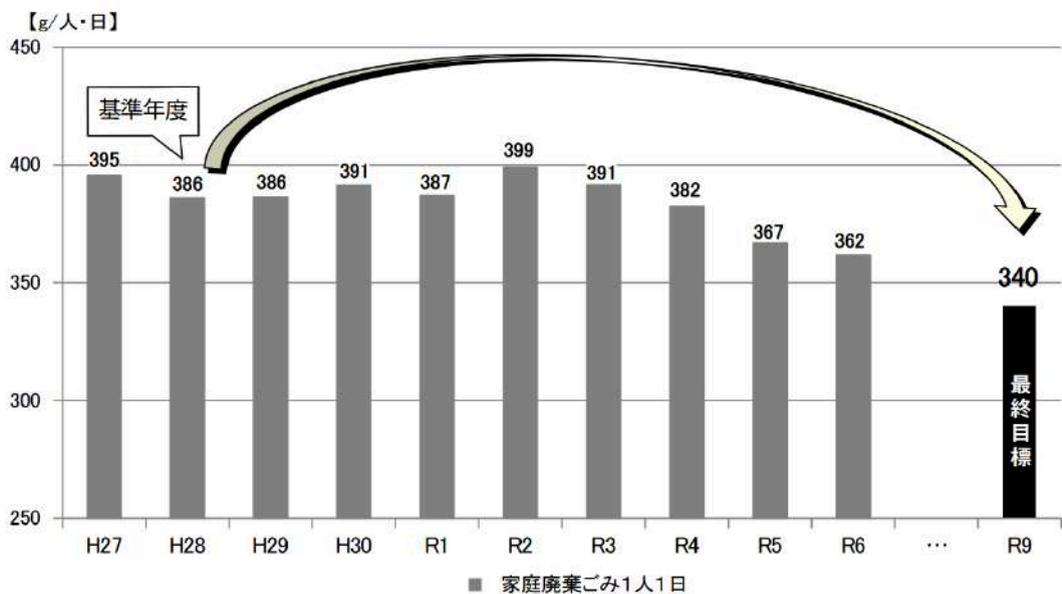
ウ 家庭から出る廃棄ごみ量

(ア) 目標

家庭から出る廃棄ごみ量（1人1日当たり） 平成28年度の386gに対し、
令和9年度までに**340g以下**

(イ) 令和6年度実績

令和6年度の家庭から出る1人1日当たりの廃棄ごみ量は362gとなり、平成28年度の386gに比べ24gの減少となった。



エ 家庭から出る生ごみ量

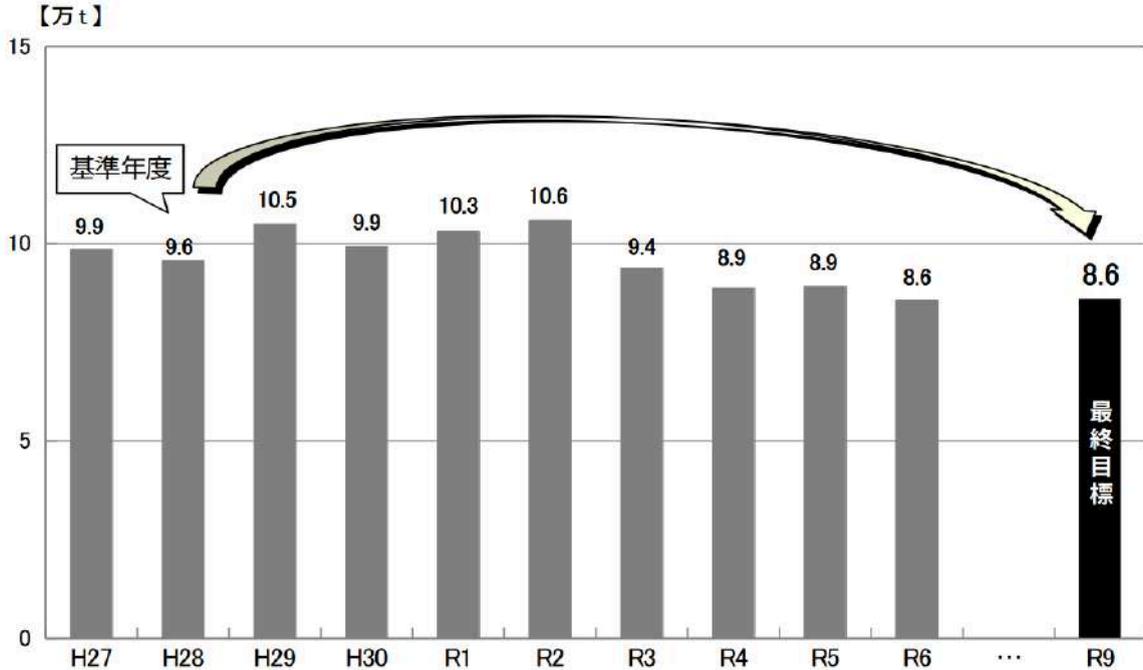
(ア) 目標

家庭から出る生ごみ量

平成28年度実績（9.6万t）に比べ、
令和9年度までに**1.0万t以上減量**

(イ) 令和6年度実績

令和6年度の家庭から出る生ごみ量は85,641tとなり、平成28年度の95,756tに比べ10,115tの減少となった。



オ 埋立処分量

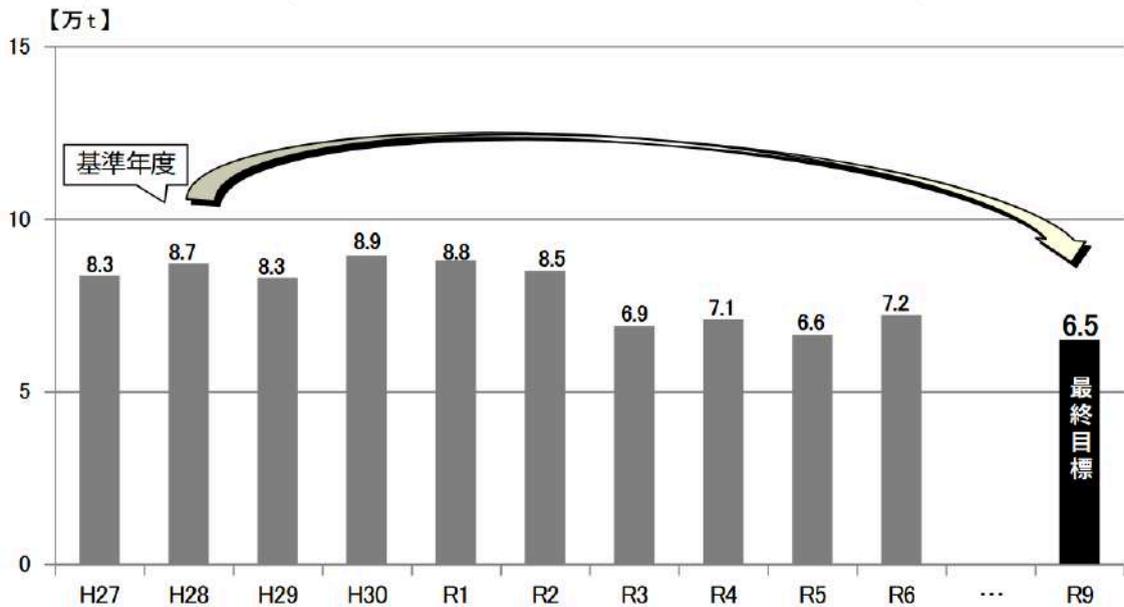
(ア) 目標

埋立処分量

平成28年度実績（8.7万t）に比べ、
令和9年度までに**2.2万t以上減量**

(イ) 令和6年度実績

令和6年度の埋立処分量は72,084tとなり、平成28年度の87,151tに比べ15,067tの減少となった。

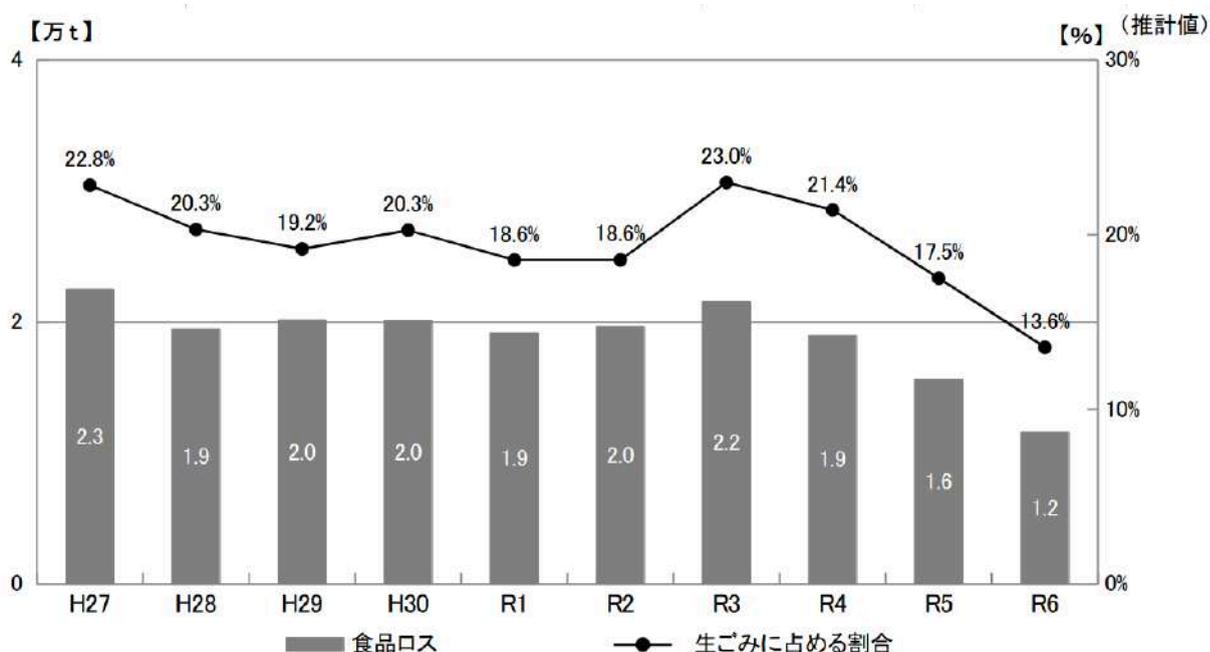


【モニター指標】

「目指せいちばん！スリム目標」を達成するうえで特に重要と考えられる数値を指標として設定し、その状況を把握することによって、目標を達成するための課題の把握、施策の見直しや改善の際の参考とするための指標として設定する。

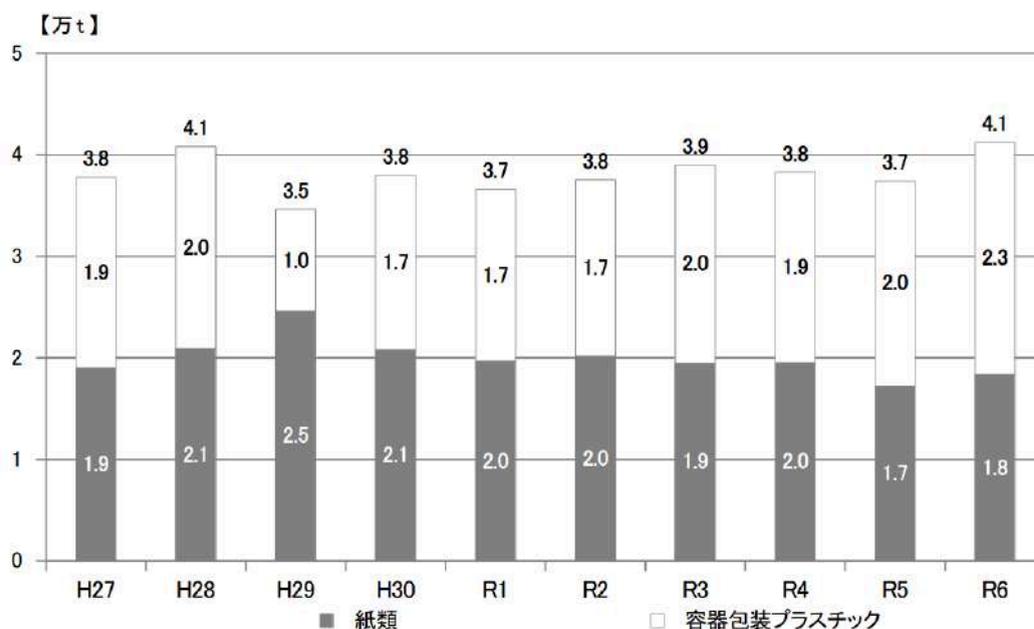
ア 家庭から出る食品ロス量

家庭から出る生ごみには、未開封品や食べ残しなどの食品ロスが多く含まれている。2Rの取組を進めるにあたり、まずは食品ロスを削減することが効果的なため、家庭から出る食品ロス量の推移を把握する。



イ 燃やせるごみに含まれる紙類と容器包装プラスチックの量

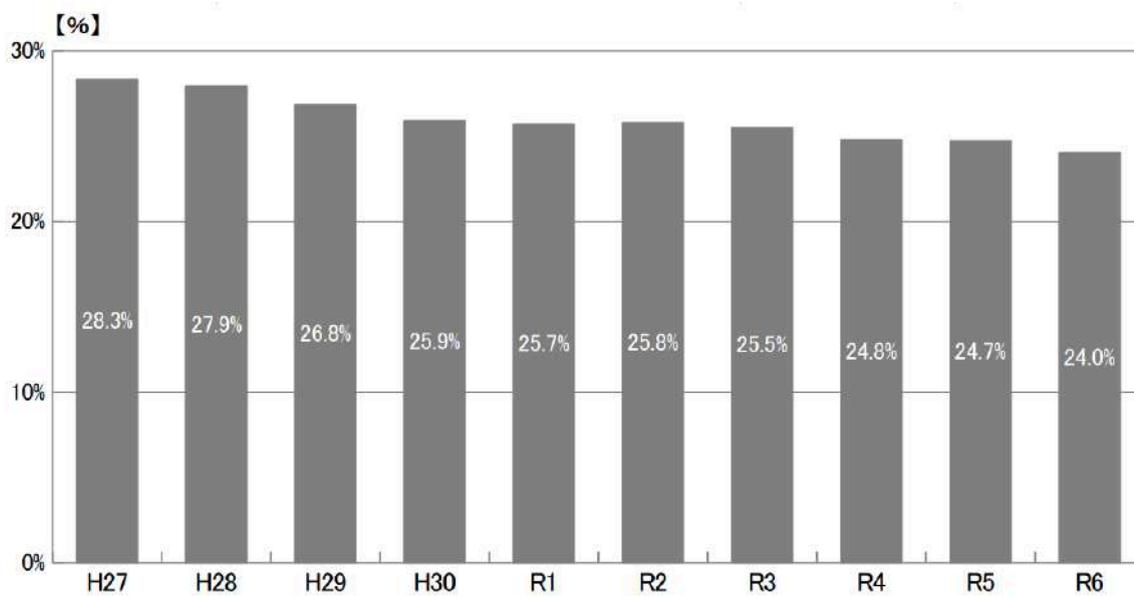
燃やせるごみの中には、分別すればリサイクル可能な紙類や容器包装プラスチックが多く含まれている。リサイクルを今まで以上に推進するためには、適切な分別が必要なため、燃やせるごみに含まれる紙類と容器包装プラスチックの量の推移を把握する。



ウ リサイクル率

容器包装プラスチックや雑がみなどを分別収集してリサイクルしたり、焼却灰をセメント原料としてリサイクルするなど、ごみを資源として活用することにより、天然資源の使用を抑え、環境負荷を低減することができる。このような資源の有効利用に関する取組状況を把握するため、リサイクル率の推移を把握する。

$$\text{リサイクル率} = \frac{\text{(A)のうち、正しく分別され出された量}}{\text{ごみステーションに出されたある資源物の総量 (A)}} \times 100$$



(5) 「新スリムシティさっぽろ計画」の体系図



※ 札幌市廃棄物減量等推進審議会

札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例第6条の規定により、市長の諮問に応じて廃棄物の減量及び適正な処理に関する事項を審議するため、平成6年2月1日に「札幌市廃棄物減量等推進審議会」を設置した。学職経験者、住民・民間諸団体の代表者及び市長が必要と認める者のうちから委嘱された20人以内の委員から組織され、任期は2年となっている。

1 第1期審議会（委嘱期間：平成6年2月1日～平成8年1月31日）

平成6年2月1日に市長から「ごみ減量・リサイクル推進のための具体的な諸方策について」諮問を受けて審議し、平成8年1月25日に答申を行った。

2 第2期及び第3期審議会（委嘱期間：平成9年3月24日～平成13年3月23日）

平成9年12月12日に市長から「新たな時代に対応した清掃事業のあり方について」諮問を受けて審議し、新しい一般廃棄物処理基本計画「さっぽろごみプラン21」の策定を行うための基本的な方向として、平成11年5月31日に答申を行った。

3 第4期及び第5期審議会（委嘱期間：平成17年2月15日～平成21年2月14日）

平成17年2月、第4期審議会委員（公募委員2人を含む20人）を委嘱し、現行の「さっぽろごみプラン21」をどのように改定すべきか、また家庭ごみの有料化について、その実施の是非を含めて、どのように位置づけることが適当であるか、さらにその具体的な制度内容はどうあるべきかについて、市長からの諮問を受けた。平成18年度は、ごみ減量リサイクル施策と有料化問題を一体として検討する必要があることから、これまでの「家庭ごみ有料化検討部会」と「起草委員会」の機能を合体した「作業部会」を設置し、「審議会本会議」とともに十分な議論を行った。審議会では、本会議などで議論を行うとともに、市民意見交換会や公聴会、シンポジウムを開催した。そこでの市民意見を踏まえ、平成19年3月28日に答申を行った。

4 第6期審議会（委嘱期間：平成21年11月12日～平成23年11月11日）

平成21年11月、第6期審議会委員（公募委員2人を含む20人）を委嘱し、「スリムシティさっぽろ計画」に掲げたごみ量管理目標や施策の進捗状況について、外部組織による客観的な視点から点検・評価を行うために設置されたもので、「新ごみルール」開始後2年の状況を踏まえた「スリムシティさっぽろ計画」の進捗状況についての評価報告書を取りまとめた。

5 第7期審議会（委嘱期間：平成24年7月25日～平成26年7月24日）

平成24年7月、第7期審議会委員（公募委員2人を含む14人）を委嘱し、「市民力の活用」、さらには「限られた財政状況の中で最大限の効果」という2つの観点を考慮し、計画改定の方向性について審議するよう市長からの諮問を受けた。第6期審議会の評価を踏まえ、「発生・排出抑制」「生ごみ減量・資源化」の2つのグループ会議を設置して個別の課題について集中的に検討するなど、1年にわたる審議を経て、平成25年7月16日に答申を行った。

6 第8期審議会（委嘱期間：平成27年12月15日～平成29年12月14日）

平成27年12月、第8期審議会委員（公募委員2人を含む14人）を委嘱し、平成30年度以降の一般廃棄物処理基本計画の方向性について諮問を受けた。「2R」「資源化」の2つのグループ会議を設置して集中的に議論するなど、1年半にわたる審議を経て、平成29年7月21日に答申を行った。

Ⅱ 清掃事業の規模

1 機構・事務分掌・人員配置

(1) 機構及び事務分掌

環境局の清掃事業に関し、計画部門、事業部門及び施設部門を統括する「環境事業部」を設置している。

計画部門として、庶務・経理・人事関係の事務を「総務課」が、各施策の企画、調査及び統括調整、家庭廃棄物の減量・資源化に係る普及啓発の事務を「循環型社会推進課」と「計画担当課長」が担当している。

事業部門である清掃事業担当部には、本庁2課（業務課・事業廃棄物課）を、外郭職場としてごみ収集及び運搬を担当する6清掃事務所（中央、北、東、白石、豊平・南、西）を設置している。また、施設部門である施設担当部には、本庁2課（施設管理課・施設整備課）と担当課長（施設建設担当課長）を、外郭職場としてごみの受入れ及び埋立処分等を担当する処理場管理事務所を、ごみの受入れ及び焼却処分を担当する3清掃工場（発寒・駒岡・白石）を設置し、16課2担当課長、30係21担当係長の体制をもって清掃事業を運営している。

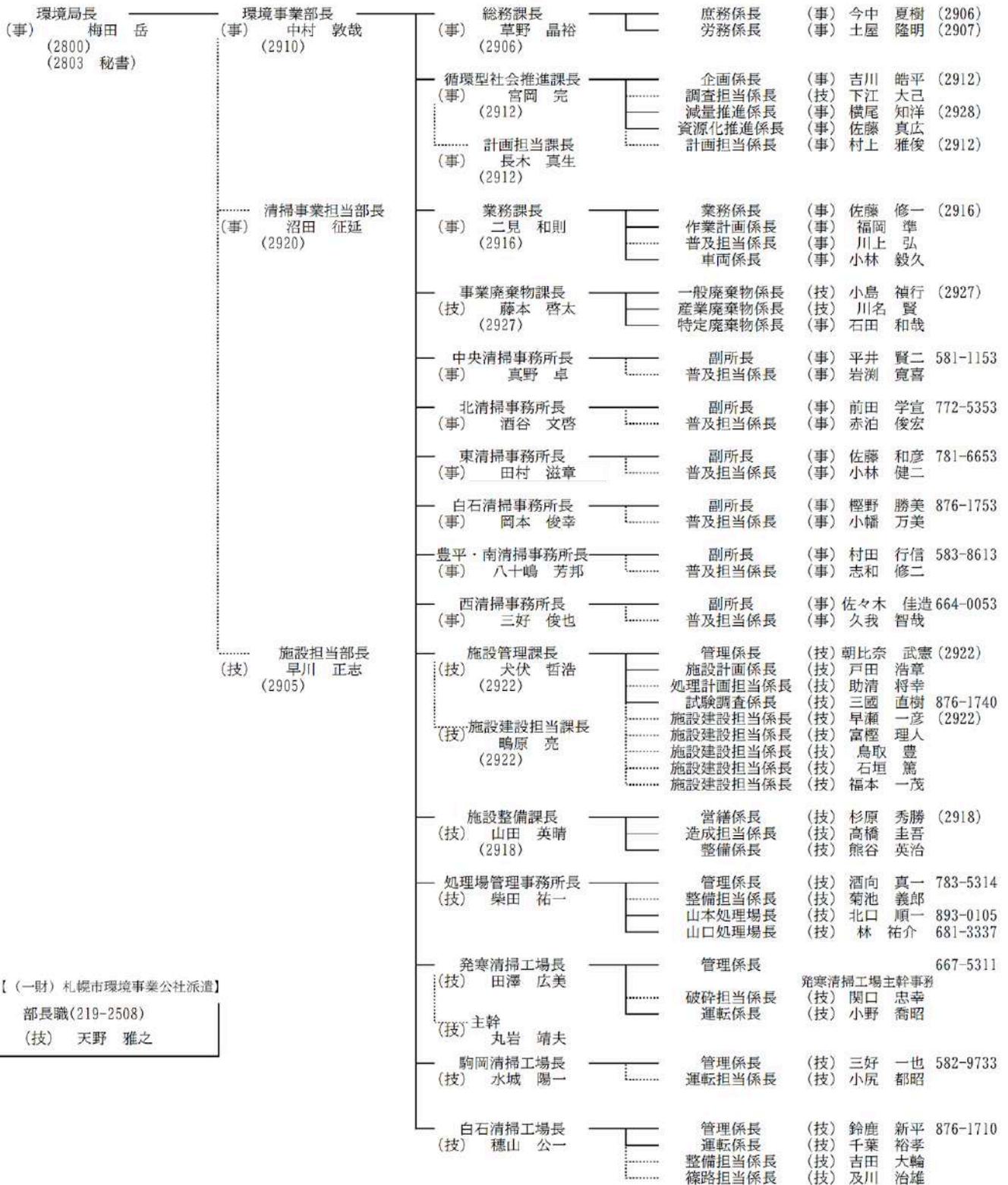
(2) 職別人員配置

職員定数は674人であり、このうち事務・技術職員は196人（29％）で、現業職員は478人（71％）である。

また、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく環境衛生指導員（26人）、本市条例に定める事項を指導する清掃指導員（512人）を置き、清掃事業の適切な運営を図っている。

（令和7年10月1日現在）

機 構



【(一財)札幌市環境事業公社派遣】
部長職(219-2508)
(技) 天野 雅之

(令和7年10月1日現在)

事務分掌

【総務課】

- 1 局所管事務の運営管理に係る総括調整に関すること。
- 2 環境行政の総合調整に関すること。
- 3 環境事業部及び環境都市推進部に所属する職員の労務改善に関すること。
- 4 環境事業部及び環境都市推進部の業務委託に係る契約に関すること。
- 5 札幌市環境事業公社との連絡調整の総括に関すること。
- 6 部内及び環境都市推進部の経理に関すること。
- 7 局内他部及び部内他課所の主管に属しないこと。

【循環型社会推進課】

- 1 循環型社会推進に係る企画、調査及び総括調整に関すること。
- 2 一般廃棄物処理に係る基本計画及び実施計画に関すること。
- 3 廃棄物減量等推進審議会の庶務に関すること。
- 4 家庭廃棄物処理手数料に係る事務に関すること。
- 5 家庭廃棄物の減量・資源化施策の企画及び推進に関すること。
- 6 家庭廃棄物の減量・資源化に係る普及啓発及び実践活動への支援に関すること。

【業務課】

- 1 家庭廃棄物（し尿を除く。以下同じ。）の収集運搬に係る調査研究及び計画の策定に関すること。
- 2 家庭廃棄物の処理に係る普及啓発及び住民組織等との連絡調整に関すること。
- 3 車両の管理及び整備に関すること。
- 4 車両事故の処理に関すること。
- 5 課所管施設の維持管理に関すること。
- 6 各清掃事務所との連絡調整に関すること。

【事業廃棄物課】

- 1 事業活動に伴う廃棄物を排出する事業者の指導監督に関すること。
- 2 廃棄物処理業の許可及び廃棄物再生利用業の指定並びにこれらの指導監督に関すること。
- 3 廃棄物処理施設に係る許可及び指導監督に関すること。
- 4 廃棄物処理施設設置等評価委員会の庶務に関すること。
- 5 使用済自動車の再資源化等に関する法律に関すること。
- 6 浄化槽法に関すること。
- 7 不法投棄対策に係る総括調整に関すること。
- 8 たばこの吸い殻及び空き缶等の散乱防止対策の総括調整並びに歩行喫煙の規制指導に関すること。

【各清掃事務所（中央、北、東、白石、豊平・南、西）】

- 1 家庭廃棄物の収集及び運搬に関すること。
- 2 清掃指導に関すること。
- 3 不法投棄等の防止及び処理に関すること
- 4 事務所の維持管理に関すること。

【施設管理課】

- 1 清掃施設の管理の総括に関すること。
- 2 清掃施設の計画及び設置等に関すること。
- 3 廃棄物処理の調整に関すること。
- 4 廃棄物処理の調査研究及び廃棄物処理施設の検査に関するこ

- と。
- 5 廃棄物空気輸送管路施設に関すること。
- 6 中沼プラスチック選別センター及び中沼雑がみ選別センターに関すること。
- 7 処理場管理事務所及び各清掃工場との連絡調整に関すること並びにこれらの主管に属しないこと。

【施設整備課】

- 1 清掃施設の工事等に関すること。
- 2 清掃施設の保守整備に関すること。
- 3 清掃工場の定期整備等の設計・発注に係る調整に関すること。
- 4 清掃施設の整備計画の調整に関すること。

【処理場管理事務所】

- 1 廃棄物（し尿を除く。）の受入れ及び埋立処分に関すること。
- 2 埋立地（排水処理施設を含む。）の整備及び維持管理並びに埋立地の跡地整備等に関すること。
- 3 し尿の収集運搬及び受入れに関すること。
- 4 事務所等の維持管理に関すること。

【各清掃工場（発寒、駒岡、白石）】

- 1 廃棄物（し尿を除く。）の受入れ及び焼却処分に関すること。
- 2 発電所の運転に関すること。
- 3 余熱の使用及び供給に関すること。
- 4 粗大ごみ破砕施設の運転に関すること。
- 5 工場施設の維持管理に関すること。
- 6 旧篠路清掃工場施設の維持管理に関すること（白石に限る。）。
- 7 ごみ資源化工場に関すること（白石に限る。）。

（令和7年10月1日現在）

3 施設 の 現 況

清掃施設の整備拡充は、一般公共施設のような行政効果が市民に直接的に反映するといことが少ない反面、多額の財政負担を伴うという極めて困難な背景の中で、市民の環境を守り清掃事業の向上促進を図るため、毎年鋭意努力を重ねているところである。

(1) 清掃事務所及び処理場管理事務所

都市の発展に合わせて、作業の起点となる6清掃事務所及び処理場管理事務所を配置し、年々増加する清掃作業に対処し市民生活の向上を図るとともに、職員の職場環境の改善を図っている。

(主な施設)

事務所、運転手業務員詰所、車庫、倉庫、管理住宅、浴場、洗濯工場、タイヤ庫等。

| 施設名 | 所在地 | 敷地面積 | 建築構造 | 延床面積 | 竣工年月 | 開設年月 |
|-----------|----------------|----------------------|--------------|---------------------|--------------|----------|
| 中央清掃事務所 | 南区南30条西8丁目7-1 | 8,225m ² | 鉄筋コンクリート造2階建 | 878m ² | 昭和59年12月(改築) | 昭和36年12月 |
| 北清掃事務所 | 北区屯田町990-3 | 18,923m ² | 木造モルタル2階建 | 781m ² | 昭和51年10月(移築) | 昭和37年12月 |
| 東清掃事務所 | 東区丘珠町873-1 | 15,360m ² | 木造モルタル2階建 | 776m ² | 昭和51年10月 | 昭和51年10月 |
| 白石清掃事務所 | 白石区東米里2170-1 | 白石工場に併設 | 鉄筋コンクリート2階建 | 1,402m ² | 平成15年7月(移築) | 昭和43年5月 |
| 豊平・南清掃事務所 | 南区真駒内602 | 旧駒岡工場に併設 | 鉄筋コンクリート造3階建 | 2,250m ² | 昭和60年11月 | 昭和60年12月 |
| 西清掃事務所 | 西区発寒15条14丁目2-1 | 10,000m ² | 鉄筋コンクリート造2階建 | 816m ² | 昭和59年12月(新築) | 昭和40年3月 |
| 処理場管理事務所 | 東区東苗穂2条2丁目2-1 | 7,380m ² | 木造モルタル2階建 | 847m ² | 昭和53年11月(移築) | 昭和49年4月 |

(2) し尿の下水道投入施設

し尿処理場は、昭和41年に6処理場1,468kl/日をもって100%衛生処理を達成した。以来、下水道の整備普及に伴い、昭和51年3月に北光処理場を皮切りに、順次各処理場を廃止し、平成7年3月に中沼処理場の廃止をもって全てのし尿処理場を廃止した。し尿処理場に代わる新たな施設として、し尿の下水道投入施設である「クリーンセンター」が平成7年3月に竣工して処理を行っている。また、平成28年10月から石狩市・当別町のし尿受入を開始し、近隣市町村との連携に取り組みている。

| 施設名 | 所在地 | 敷地面積 | 建築構造 | 建築面積 | 延床面積 | 処理能力 | 供用開始年月 |
|----------|------------|---------------------|-------------------------|---------------------|---------------------|----------------------|--------|
| クリーンセンター | 手稲区手稲山口318 | 8,332m ² | 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階建 | 1,488m ² | 2,174m ² | 100m ³ /日 | 平成7年3月 |

(3) ごみの中間処理施設

本市のごみ焼却施設は昭和46年に発寒第二清掃工場、昭和49年に厚別清掃工場、昭和55年に篠路清掃工場、昭和60年に駒岡清掃工場、平成4年に発寒清掃工場、平成14年に白石清掃工場、令和7年度に(新)駒岡清掃工場が竣工している。これらのうち、発寒第二清掃工場及び厚別清掃工場の竣工に合わせて平成14年に廃止、(旧)駒岡清掃工場は(新)駒岡清掃工場の竣工に合わせて、令和7年度に廃止された。また、平成21年7月の家庭ごみ新ごみルール(有料化等)施行後の焼却ごみ量の減少を受け、平成23年3月末をもって篠路清掃工場を廃止とした。現在の処理能力は、駒岡・発寒・白石の3工場で日量2,100トンとなっており、粗大ごみの処理のため発寒、篠路、駒岡の清掃工場に併設した破碎施設が稼働している。

また、資源ごみの処理施設として、ごみ資源化工場では事業系の木くず、紙くず等を原料に固形燃料(RDF)の製造を行っているほか、各選別施設では分別収集された「容器包装プラスチック」「びん・缶・ペットボトル」「雑がみ」の異物除去等の選別を行っている。このほか、「枝・葉・草」については、山本処理場の埋立終了区画を利用したヤードにおいて、堆肥化等に向けた試験運用を行っている。

| 名称 | 処理能力 | 所在地 | 敷地面積 | 構造・規模等 | 竣工年月 |
|--------------------------------|---------------------------------------|------------------------------|------------------|--|-----------------|
| 発寒清掃工場 | 600t/24h (300t/24h×2戸) | 西区発寒15条14丁目1-1 | (注2) 23,896㎡ | SRC造ほか、地下2階・地上6階建(工場棟) 建築面積6,853㎡延床面積23,691㎡ | 平成4年11月 |
| 篠路清掃工場(注1) | - | 北区篠路町福移153 | 169,635㎡ | SRC造ほか、地下2階・地上6階建(工場棟) 建築面積8,126㎡延床面積17,822㎡ | 昭和55年12月 |
| 駒岡清掃工場 | 600t/24h (300t/24h×2戸) | 南区真駒内129-3 | 82,745㎡ | SRC造ほか、地下1階・地上7階建(工場棟) 建築面積8,466㎡延床面積20,880㎡ | 令和7年7月 |
| 白石清掃工場 | 900t/24h (300t/24h×3戸) 併設灰溶融施設(注3) | 白石区東米里2170-1 | (注4) 100,564㎡ | SRC造ほか、地下1階・地上7階建(工場棟) 建築面積16,839㎡延床面積47,345㎡ ※管理棟、灰溶融棟面積を含む | 平成14年11月 |
| 発寒破碎工場 (リサイクル工房併設) | 150t/5h 〔回転 〔回断 〔剪断〕〕〕 | 西区発寒15条14丁目2-30 | 12,214㎡ | SRC造一部S造、地下1階・地上4階建建築面積 6,423㎡延床面積11,512㎡ (内リサイクル工房511㎡) | 平成10年9月 |
| 篠路清掃工場併設 粗大ごみ破碎工場 | 150t/5h 〔回転 〔回断 〔剪断〕〕〕 | (篠路清掃工場敷地内) | | S造一部SRC造、平屋一部2階建 建築面積2,723㎡延床面積3,991㎡ | 昭和55年12月 |
| 駒岡清掃工場併設 粗大ごみ破碎工場 | 130t/5h 〔回転 〔回断 〔剪断〕〕〕 | (駒岡清掃工場敷地内) | | S造一部SRC造、地上4階建 建築面積6,434㎡延床面積10,282㎡ | 令和7年7月 |
| ごみ資源化工場 | 200t/日 | (篠路清掃工場敷地内) | | S造一部SRC造、地上2階建 建築面積4,200㎡延床面積6,438㎡ | 平成2年3月 |
| 中沼プラスチック選別センター (容器包装プラスチック) | 82.6t/日 | 東区中沼町45-11 | 8,744㎡ | S造一部SRC造、地上2階建 建築面積4,220㎡延床面積8,374㎡ | 平成12年6月 |
| 中沼資源選別センター (びん・缶・ペットボトル) | 110t/8h (36.7t/8h×3系列) | 東区中沼町45-24 運営主体札幌市環境事業公社 | 16,098㎡ | S造、地上2階建 建築面積4,666㎡延床面積7,187㎡ | 平成10年9月 |
| 駒岡資源選別センター (びん・缶・ペットボトル) | 77t/8h (38.5t/8h×2系列) | 南区真駒内129-30 運営主体札幌市環境事業公社 | 9,913㎡ | S造、地上2階建 建築面積3,117㎡延床面積5,291㎡ | 平成10年9月 |
| 中沼雑がみ選別センター | 85t/6h | 東区中沼町45-19 | 19,885㎡ | S造一部SRC造、地下1階・地上2階建 建築面積3,476㎡延床面積4,977㎡ | 平成21年7月 (注5) |

(注1) 篠路清掃工場は平成23年3月末廃止(同一敷地内の粗大ごみ破碎工場・ごみ資源化工場は継続稼働中) (注2) 旧発寒第二工場用地を含む (注3) 灰溶融施設は平成26年6月末に廃止

(注4) 白石清掃事務所用地含む (注5) 供用開始年月

(4) 普及啓発施設等

不用品の有効活用とリサイクル意識の向上・定着を図るための拠点施設としてリサイクルプラザを設置することとし、平成10年10月、発寒破碎工場に併設して「リサイクルプラザ発寒工房」を開設した。その後、平成12年8月、地下鉄宮の沢駅に直結する生涯学習総合センターに、展示・交流施設「リサイクルプラザ宮の沢」を開設し、リユース品の展示・提供、リサイクル情報の提供、体験教室の開催等の機能を移転した。

また、平成21年4月、厚別清掃工場跡地に「リユースプラザ」を開設した。

| 施設名 | 所在地 | 敷地面積 | 建設構造 | 延床面積 | 開設年月 |
|--------------|------------------------------|----------------------|---------------------|---------------------------|----------|
| リサイクルプラザ発寒工房 | 西区発寒15条14丁目2-30 (発寒破碎工場に併設) | 12,214m ² | SRC造 (一部S) 地下1地上4階 | 1階の一部 511m ² | 平成10年10月 |
| リサイクルプラザ宮の沢 | 西区宮の沢1条1丁目1-10 (生涯学習総合センター内) | 11,921m ² | SRC造 (一部RC) 地下1地上6階 | 1,2階の一部 352m ² | 平成12年8月 |
| リユースプラザ | 厚別区厚別東3条1丁目1-10 | 1,675m ² | S造 平屋建 | 床面積560m ² | 平成21年4月 |

(5) ごみの埋立処分場

燃やせないごみ及び清掃工場焼却灰については、山本処理場、山口処理場の2か所で順次造成を行いながら埋立処分を行っている。平成27年度に山本処理場 (山本東地区) の造成を完了し、現在は山本処理場 (東米里西地区) の基盤整備を行うとともに、ごみの減量を進め、既存の埋立地の延命化を図っている。

なお、山口処理場 (第3山口地区) の未造成地 (Eブロック) を北海道新幹線トンネル工事から発生する対策土の受入地として令和3年6月に所管換した。

また、次期埋立地となる(仮称)北部事業予定地の工事を令和4年度に開始した。

| 施設名称 | 山本処理場 | | | 山口処理場 | | |
|-------------------|--|----------------------|----------------------|-------------------------|---|-------------------------|
| | 地 区 | 所在地 | 敷地面積 | 東米里西地区 | 第2山口 | 第3山口 |
| 所在地 | 山本地区 + 山本北地区 + 山本東地区 + 東米里地区 | | | 手稲区手稲山口364他 | | |
| 総面積 | 厚別区厚別町山本1065他 | | | 359,000m ² | 242,000m ² | 435,000m ² |
| 埋立面積 | 2,328,000m ² | | | 206,800m ² | 169,300m ² | 293,200m ² |
| 造成開始年度 | 昭和58年度 | | | 平成10年度 | 昭和59年度 | 平成7年度 |
| 埋立開始年度 | 昭和59年度 | | | - | 昭和61年度 | 平成9年度 |
| 全体容量 | 10,930,000m ³ | | | 1,422,000m ³ | 2,053,000m ³ | 3,007,000m ³ |
| 令和6年度末残容量 (未造成含む) | 737,000m ³ | | | 1,422,000m ³ | 平成11年度に埋立終了済 | |
| 施設区分 | 山本 | 山本北 | 山本東 | 東米里 | 東米里西 | |
| 竣工年月 | 昭和59年3月 | 平成5年3月 | 平成9年12月 | 昭和63年3月 | 平成12年3月 | |
| 処理能力 | 300m ³ /日 | 500m ³ /日 | 600m ³ /日 | 250m ³ /日 | 500m ³ /日 | 600m ³ /日 |
| 処理方式 | 回転円板 (各施設) + 脱窒素処理 (共通1400m ³ /日 : 平成17年完成) | | | 回転円板 + 凝集沈殿 + 砂ろ過 | 手稲水再生プラザへ圧送 (最大400m ³ /日) ※水質改善に伴い、11年度に一次処理施設を廃止。 | |
| | ※山本は一部、厚別水再生プラザへ圧送。 | | | 回転円板 + 凝集沈殿 | | |

(6) その他の施設

ア 清掃事業資料室

昭和50年から厚別清掃工場内に札幌市の清掃事業の歴史がわかる貴重な道具や写真を展示する清掃事業資料室を開設し、見学者に開放してきたが、同工場の廃止に伴い、資料室を平成14年12月に新たに完成した白石清掃工場に移転するとともに、内容の充実を図った。明治から現在までの札幌市の清掃の歴史を展示しているほか、清掃工場の仕組みやごみ処理の流れを示したパネルなどがあり、札幌市の清掃事業をわかりやすく紹介している。

4 車両の現況

令和7年度清掃車両定数（令和7年10月1日現在）は総計144台で、配置は次のとおりである。

令和7年度清掃車両配置表（かっこ内は令和7年度更新予定台数）

| 用途別 事務所等の別 | ごみ 収集車 | | うち次世代 自動車 | | その他 車両 | うち次世代 自動車 | | 総計 | うち次世代 自動車 | |
|---------------|-----------|-----|--------------|-----|-----------|--------------|----|-----|--------------|-----|
| | | | | | | | | | | |
| 中央清掃事務所 | 12 | | 9 | | 5 | | | 17 | 9 | |
| 北清掃事務所 | 12 | (1) | 12 | (1) | 5 | | | 17 | (1) | |
| 東清掃事務所 | 12 | (1) | 11 | (1) | 5 | | | 17 | (1) | |
| 白石清掃事務所 | 12 | (3) | 11 | (3) | 6 | | | 18 | (3) | |
| 豊平・南清掃事務所 | 12 | | 9 | | 9 | 1 | | 21 | 10 | |
| 西清掃事務所 | 12 | (1) | 11 | (1) | 6 | | | 18 | (1) | |
| 処理場管理事務所 | | | | | 16 | 4 | | 16 | 4 | |
| 清掃工場 | | | | | 11 | 4 | | 11 | 4 | |
| 事業廃棄物課 | | | | | 1 | | | 1 | | |
| 施設管理課 | | | | | 1 | | | 1 | | |
| 業務課車両係 | | | | | 7 | (2) | 1 | (1) | 7 | (2) |
| 計 | 72 | (6) | 63 | (6) | 72 | (2) | 10 | (1) | 144 | (8) |

5 関係出資団体

(1) 一般財団法人札幌市環境事業公社

都市廃棄物の適正な処理の形態を維持することにより、市民生活における快適な環境の確保を図り、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的に財団法人札幌市環境事業公社を設立した。

ア 設立年月日 平成2年4月1日

イ 基本財産 40,000千円(令和7年10月1日現在)

(出資内訳) 札幌市 20,000千円
 一般社団法人札幌建設業協会 10,000千円
 一般財団法人札幌市環境事業公社 10,000千円

ウ 事業内容

(ア) 定款に定めるもの

- a 廃棄物の適正処理及び再資源化等の調査研究・普及啓発に関する事業
- b 廃棄物の処理、処分及び再資源化に関する事業
- c 廃棄物の収集運搬に関する事業
- d 廃棄物処理施設等の計画立案、建設、維持管理、運営及び有効利用等に関する事業
- e その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(イ) 具体的内容（令和7年度計画）

- a 調査啓発事業
 - (a) びん・缶・ペットボトル選別事業に関する調査
 - (b) リサイクルに係る広報活動、環境保全に係るイベントへの出展及び協賛等の広報活動
- b 不燃用プリペイド袋リサイクル事業
- c 資源化事業
 - (a) 剪定枝等処理事業
 - (b) びん・缶・ペットボトル選別事業
- d 施設管理受託事業
 - (a) ごみ資源化工場ほか施設管理事業
 - (b) 中沼プラスチック選別センター施設管理事業
 - (c) 中沼雑がみ選別センター施設管理事業
 - (d) 札幌市リサイクル団地管理事業
- e 事業系ごみ収集運搬事業

6 リサイクル団地

産業廃棄物は排出者責任のもと処理されるものであるが、処理施設は住民の反対、各種規制等により設置が困難となってきており、一方では広域移動の増大と不法投棄による環境汚染が発生している。

本市においても、市内から発生する建設系廃棄物が大量に近郊市町村に流出し、不適正なかたちで処理された経緯があることから、公共関与によるリサイクルを中心とした処理施設の安定的な供給や適正処理の推進を図る必要が生じた。

この対策として、本市の事業系廃棄物の適正処理、リサイクル処理の中核となるモデル的な処理施設群を形成するリサイクル団地を全国に先がけ、公共（本市）、民間業者、排出事業者が一体となって整備したものである。この団地整備事業に対しては、平成7年9月に特定施設整備促進法に基づく特定周辺整備地区の指定を、同年12月に特定施設の認定をそれぞれ国から受けている。

平成6年度においては、リサイクル団地の管理運営を行う㈱札幌リサイクル公社を設立したほか、基盤造成工事に着手し、平成7年度には、前年度に引き続き基盤造成工事を実施するとともに一部民間処理施設が事業を開始、平成8年度には団地の基盤造成工事が完了した。その後、平成9年度に建設系廃材リサイクルセンター及び生ごみリサイクルセンター、平成10年度に資源物選別センター、平成11年度にペットボトルのフレーク化・シート化施設、平成12年度にプラスチック油化施設とプラスチック選別センター、平成16年に剪定枝等のリサイクル施設等が操業して団地全体の整備が完了した。

平成20年9月に㈱札幌リサイクル公社が解散したため、同年10月からリサイクル団地の管理運営は札幌市が行っている。また、建設系廃材リサイクルセンター及び剪定枝等のリサイクル施設は雑がみ選別センターとして再整備し、平成21年7月から操業を開始した。平成23年1月にはプラスチック油化施設を運営する法人が解散し、施設を撤去した。令和元年度には、廃石膏ボード破碎施設が操業を開始、令和6年8月には、事業系生ごみのメタン発酵施設が稼働を開始した。

〈リサイクル団地の概要〉

(1) 団地の位置及び面積

| | |
|----------------------------|--------------|
| 〔位 置〕 東区中沼町45番地（旧中沼処理場跡地等） | 〔造成面積〕 約23ha |
|----------------------------|--------------|

(2) 施設の配置状況

| 法人名 | 施設名等 | 施設の内容等 |
|-------------------|--|---|
| 札幌リサイクル骨材(株) | 破砕施設 | 廃コンクリート再生施設（破砕） |
| (株)公清企業 | エコパーク 第2エコパーク | 有機汚泥の中間処理施設（脱水・乾燥） 無機汚泥の中間処理施設（脱水・乾燥） 廃油再生処理施設（油水分離） 汚泥、廃油、廃プラスチック類、その他の産業廃棄物の焼却施設 廃酸、廃アルカリの中和施設 廃石膏ボードの破砕施設 |
| 札幌バイオフィードリサイクル(株) | 食品リサイクルメタン発酵・発電施設 | 事業系生ごみの湿式中温メタン発酵施設 |
| (株)タイヤリサイクル北海道 | 廃タイヤリサイクル施設 | 廃タイヤの破砕施設 |
| (一財)札幌市環境事業公社 | 資源選別センター | 資源物選別施設 |
| 北海道ペットボトルリサイクル(株) | ペットボトルフレーク化施設 | ペットボトルのフレーク化施設 |
| アールピエ東プラ(株) | ペットボトルシート化施設 | 再生ペットフレークのシート化施設 |
| 札幌市 | プラスチック選別センター 雑がみ選別センター リサイクル資料館 ふれあいホール | 市内で分別収集した容器包装プラスチックの選別・圧縮・梱包 市内で分別収集した雑がみの選別等 リサイクルに関する各種資料の展示 団地内福利厚生施設 |

(3) 配置図



7 エコタウン事業によるリサイクル施設の整備

地域内でのゼロ・エミッションをめざした資源循環型社会の構築や、環境産業の誘致による経済活性化などを図るため、「エコタウン札幌計画」を策定し、平成10年9月に通商産業省（現・経済産業省）及び厚生省（現・環境省）の承認を受けた。

この計画のハード事業として、通商産業省の環境調和型地域振興施設整備費補助金を導入して、リサイクル団地内にペットボトルフレーク化施設・シート化施設とプラスチック油化施設を整備し、平成11年度に3施設が完成した（いずれも運営主体は民間企業）。ペットボトルフレーク化・シート化の2施設は平成11年7月から稼働し、プラスチック油化施設は平成12年4月から稼働した。なお、プラスチック油化施設は平成23年1月に廃止となった。

Ⅲ 令和7年度清掃事業

1 普及啓発

「札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例」（平成5年4月1日施行）及び札幌市一般廃棄物処理基本計画「新スリムシティさっぽろ計画」（平成30年3月策定）に基づき、ごみ減量・リサイクル並びに環境美化をさらに推し進めるため、令和7年度は次の事業に取り組んでいる。

(1) ごみ減量運動の推進

ア ごみ減量実践事業の実施

3R(リデュース、リユース、リサイクル)のうち、より効果的に天然資源投入量を削減できる2R(リデュース、リユース)に重点的に取り組み、事業者や若年層への働きかけを行うとともに、ごみ減量効果の高い取組を把握するため、実践的な事業を実施している。

〈令和6年度実施内容〉

(ア) ごみ減量イベントinチ・カ・ホ

(イ) HTB秋の大感謝祭ブース出展

(ウ) 職場でフードドライブ

(エ) GOMI減量達成度チェック

(オ) ごみ減量アイデアレシピコンテスト

イ 生ごみ堆肥化セミナーの実施及び生ごみ相談窓口の設置

生ごみの堆肥化及び堆肥の使用について、その方法やコツを教える「生ごみ堆肥化セミナー」や「生ごみ堆肥化講師派遣」を実施し、各家庭における生ごみ堆肥化の普及拡大を推進している。また、生ごみの堆肥化方法などの相談に応じる相談窓口を設置している。

ウ 生ごみ堆肥化器材等購入助成

家庭における生ごみの減量・資源化を推進するための手法の一つとして、市民の生ごみ堆肥化器材等の購入に対し、購入金額の一部を助成する制度を設け、実施している。

エ 電動生ごみ処理機購入助成

家庭における生ごみの減量・資源化を推進するための手法の一つとして、市民の電動生ごみ処理機の購入に対し、購入金額の一部を助成する制度を設け、実施している。

オ 集団資源回収奨励金制度

市民の自主的なリサイクル活動を促進するため、集団資源回収に取り組んでいる団体（町内会、PTA、子ども会、老人クラブ、マンション管理組合など）が回収する古紙、びん、金属類、布類の4品目を対象に、回収量に応じて4円/kg（令和5年3月分まで3円/kg）の奨励金を交付している。加えて、平成27年回収分からは、平成26年分と比較し、全体回収量合計の増加部分に対し3円/kg、さらにびん、金属、布の回収量合計の増加部分に対し7円/kgの加算金を交付することとしている。なお、令和6年は4,326団体が集団資源回収を実施し、奨励金の交付を受けている。

また、平成14年4月より、回収業者に対してもダンボール、布類4円/kg、新聞0円/kg、その他の品目1円/kgの奨励金を交付している。

カ 家庭系古紙の回収

古紙のリサイクルをさらに進めるため、平成16年7月に各区役所（区民センター）、平成22年度には地区センター等8か所に市民持込型の古紙回収拠点（古紙回収ボックス）を設けているほか、平成18年度からは地域住民管理による回収拠点「エコボックス」の設置を進めている。

また、平成16年から民間の古紙関係事業者などへ古紙の持込ができる古紙回収協力店制度を開始した。

平成18年8月からはコンビニエンスストアの「セイコーマート」でも古紙の受け入れが可能とな

り、平成23年4月には一部のスーパーマーケットでダンボールのみを回収するダンボール回収協力店制度を実施し、令和7年3月31日現在で、あわせて市内558か所で拠点回収を実施している。

さらに、一定条件のもと、個人宅からの回収を行う業者を紹介する「家庭系古紙引取案内」を平成23年4月に開始した。

キ 蛍光灯拠点回収

リサイクルの推進及び環境負荷低減のため、従来は燃やせないごみとして収集していた蛍光灯を、平成16年10月から家電販売店など回収協力店で回収している。令和7年3月31日現在で、回収協力店は194店舗となっている。

ク エコイベントの推進

ごみ減量・リサイクルについての市民意識の向上を図る目的でイベントを実施している。また、イベントから排出される使い捨て容器ごみの減量と参加者の環境意識の醸成を目的として、リユース食器をイベント主催団体に貸し出している。

ケ レジ袋削減や容器包装簡素化に向けた取組の推進

レジ袋有料化をはじめとする事業者の取組を支援し、より一層のレジ袋削減を進めるため、事業者・消費者団体などと協定を締結している。また、レジ袋だけではなく容器包装全体に広げた活動として、市民団体・事業者・関係行政機関で構成する「北海道容器包装の簡素化を進める連絡会」（以下「連絡会」という。）に参加し、容器包装の簡素化について取組を進めている。

連絡会では市役所ロビーにおいてパネル展を実施するとともに、容器包装の簡素化に取組む企業を表彰するなど、容器包装の簡素化について市民に広く紹介する活動を行っている。

コ 「札幌ごみ減量実践活動ネットワーク」への支援

ごみ減量を進めていくために欠かせない、市民・事業者の取組を促進・拡大するため「さっぽろスリムネット（札幌ごみ減量実践活動ネットワーク）」の一員として、ごみ減量に向けた市民・事業者の実践活動を促進し、支援している。

サ 小型家電リサイクルの実施

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」（小型家電リサイクル法）に基づき、平成25年10月から、区役所等の市有施設に設置した回収ボックスで、家庭で不用となった使用済み小型家電の無料回収を行ってきた。令和4年10月からは、リチウムイオン電池を内蔵した製品をはじめ、小型家電のより安全かつ適切な回収とリサイクルを実施するため、回収場所を対面で回収可能な市有施設6か所に集約した。その後、令和7年3月から、回収量を増加するため、試行的に東区役所及び北区役所に回収ボックスを設置した。

また、国が認めた事業者（認定事業者）による回収も行われており、無料の回収拠点21か所での回収が行われているほか、市内の一部家電量販店や宅配便による有料回収も実施されている。

回収した小型家電は、認定事業者により、有用金属等が取り出され、リサイクルされている。

シ 古着拠点回収

従来燃やせるごみとして収集していた古着を、平成26年10月から地区リサイクルセンターで無料回収し、主に衣類として再利用しており、平成27年8月からは、各清掃事務所等も回収拠点となっている。

(2) 清掃に関する市民意識の高揚

ア 新たなごみ排出ルールの周知徹底

平成21年7月からの新ごみルールの導入時には、市内各地域で、地域住民や各種団体などを対象に2,692回の事前説明会を開催した。新ごみルールスタート後は、出前講座などを活用した市民への周知を図っており、今後もホームページなども活用して、ごみ排出ルールの周知徹底を図っていく。

イ 清掃運動の実施

春・夏・秋の年3回、それぞれの一定期間を定めて全市的に展開する。

いずれも、市民総ぐるみの運動となるよう、市民参加の各種行事などに組み込み実施する。

令和7年度の取組は次のとおり。

(ア) 春の清掃運動（4月6日～5月11日）

(イ) 夏の清掃運動（7月6日～7月25日）

(ウ) 秋の清掃運動（9月21日～10月19日）

ウ ごみゼロの日キャンペーンの実施

5月30日の「ごみゼロの日」に合わせ、「ポイ捨て防止」を呼び掛けるため各区のクリーンさっぽろ衛生推進協議会の協力のもと、各区の繁華街などにおいてキャンペーンを実施する。

エ ポイ捨て等防止条例の指導啓発

札幌市たばこの吸い殻及び空き缶等の散乱の防止等に関する条例（通称：ポイ捨て等防止条例）が平成17年8月1日（過料適用は10月1日）から施行され、市内全域におけるたばこの吸い殻及び空き缶等のポイ捨ての禁止、飼い犬の糞の回収義務付け、喫煙制限区域における歩きタバコ吸い殻入れがそばに設置されていない場合の喫煙が禁止された。このルールに違反した場合には罰則（過料1,000円）が適用されるため、指導啓発を行う散乱等防止指導員が市内を巡回している。また、この条例の周知を図るため、公共交通機関への広告掲出、街頭ビジョンへの動画配信などの取組を行っている。

散乱等防止指導員による指導啓発



ごみゼロの日キャンペーン



オ 出前講座「さっぽろクリーンミーティング」の実施

環境美化・ごみ減量等に取組むボランティア組織である、クリーンさっぽろ衛生推進協議会との連携により、家庭ごみに関する出前講座「さっぽろクリーンミーティング」を積極的に開催している。

平成30年度からは、家庭で不用となった「小型家電」「古着」「水銀体温計・水銀血圧計・水銀温度計」の3品目を回収しながら、近隣の回収拠点等を紹介し、具体的なごみ減量行動につなげてもらう取組を実施している（令和5年度からは「古着」「水銀体温計・水銀血圧計・水銀温度計」の2品目を回収）。

令和2年度は、プラスチックごみ削減に向け、令和2年7月1日から、全ての事業者によるレジ袋の有料化に伴い、マイバッグを持参し、不要なレジ袋を受け取らないよう呼びかけている。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、使用済みマスクなどの捨て方について周知している。

令和4年度は、10月から小型家電の回収場所を対面回収が可能な各地区リサイクルセンター、リサイクルプラザ宮の沢、市役所本庁舎12階の6か所に統合されることを周知している。

カ スケルトン型ごみ収集車の地域イベント等への参加

内部構造を可視化したスケルトン型ごみ収集車を、子どもの環境教育や各種イベント等で啓発用教材として活用し、車両の特性を生かした効果的なごみ減量やリサイクル推進の啓発を行っている。

キ ごみ分別アプリの配信

家庭で取り組めるごみの減量・資源化のポイントなどの情報を広く市民に周知するため、平成26年度から「ごみ分別アプリ」を配信している。

令和元年度には、集団資源回収を利用しやすい環境を整えるために、資源回収日の登録ができるよ

うにするなどのごみ分別アプリの更新を行った。令和3年度には、筒型乾電池及び加熱式たばこ・電子たばこの分別区分の変更に係る更新を行った。

ク 市民向けの各種資料の発行

家庭ごみの減量について市民の理解と協力を得るため、食品ロスを削減するための冷蔵庫整理についてまとめた啓発冊子「日曜日は冷蔵庫をお片づけパンフレット」と、リユースを促進するための家の整理方法とリユースの実践についてまとめた啓発冊子「しまっておくより月イチ・リユースパンフレット」を作成し、出前講座等で配布している。

さらに、小学生を対象に、平成13年度から、環境関連の副教材を統一化した「札幌市環境副教材」を1・2年生用、3・4年生用、5・6年生用の3種類作成し、市内全小学生に配布している。この中で、ごみ処理の仕組みなどを分かりやすく紹介している。

(3) 札幌市リサイクルプラザ・札幌市リユースプラザ

不用品の有効活用とリサイクル意識の向上・定着を図るための拠点施設として、平成10年10月、発寒破砕工場に併設して修理施設「リサイクルプラザ発寒工房」を、平成12年8月末には、地下鉄宮の沢駅に直結する生涯学習総合センターに展示・交流施設「札幌市リサイクルプラザ（リサイクルプラザ宮の沢）」を開設した。

「リサイクルプラザ宮の沢」については、平成15年度から管理運営を市民団体に委託し、リユース家具等の展示・提供のほか、講座・教室の開催、ホームページや情報紙の発行等による情報提供を行ってきたが、平成18年4月からは、地方自治法の一部改正により公の施設の管理に「指定管理者制度」が導入されたことに伴い、指定管理者による運営となった。

また、平成16年度から、旧白石清掃事務所跡地において、リユース家具等を最小限の手直して格安で販売する「リユース広場」を開催していたが、平成20年9月末で終了し、新たな「普及啓発の拠点」として、厚別清掃工場跡地に「札幌市リユースプラザ」を新築し、平成21年4月に開設した。

「リユースプラザ」では、リユース家具等の展示販売のほか、ごみ減量・リサイクルに関する各種教室・講座や市民団体との協働によるエコイベントの開催等を通じた多種多様な普及啓発を行っている。また、資源回収拠点として「厚別地区リサイクルセンター」事業を行っている。

なお、厚別地区の他に、中央、北、西地区リサイクルセンターの計4か所で様々な資源物等を回収している。平成30年8月には回収品目にライターを追加、令和6年4月には小型充電式電池を追加し、合計23品目を回収する拠点となった。

リサイクルプラザ発寒工房



リサイクルプラザ宮の沢



厚別地区リサイクルセンター
(リユースプラザ併設)



リユースプラザ



(4) ごみステーションの浄化推進

昭和46年度から実施しているごみステーション方式は、現在市内の59,404か所（令和7年9月末日現在）にごみステーションが設置されており市民の日常生活に定着しているが、一方では、排出マナーの悪い一部の市民のため、ごみステーションに常時ごみが排出されるなど、付近の住民が迷惑を被ったり、街の美観を損ねるなどの弊害も生じている。

このため、広報誌（広報さっぽろ等）やチラシ、ステッカーなどを使って排出ルール等を積極的にPRし、ごみステーション方式による収集方法（大型ごみは、平成9年10月から戸別収集、平成10年1月から戸別有料収集に変更）の趣旨の徹底を図るとともに、利用者自身による管理、清掃を推進している。

また、平成6年度からは、事業系ごみの全量有料化に伴い、事業系ごみが「ごみステーション」に排出されることのないよう、指導を強化している。

更に、カラスによるごみステーション散乱が相次いでいることから、平成14年度に、その防止策として、札幌市内約200か所のごみステーションを対象に、カラスよけサークルのモニター調査を実施した。その結果が、概ね好評であったことにより、平成15年度から、カラスよけサークルの作成方法等をPRしている。

現在は、管理器材としてごみ飛散防止ネットとカラスよけサークルの併用、または折りたたみ式箱型器材を勧めている。

(5) ごみステーションに関する規程の見直し

一般廃棄物処理基本計画「スリムシティさっぽろ計画」策定のため、平成19年10月から実施したパブリックコメントや市民意見交換会等では、ごみステーション問題等について多くの意見が寄せられた。

なかでも、ごみステーションを共用している共同住宅と戸建住宅が混在した地区における、ごみ出しマナーをめぐる様々な問題に関する意見が特に多かったことから、ごみステーションに関する規程の全面的な見直しを図り、ごみの排出方法、ごみステーションの清潔保持、共同住宅のごみステーションの設置及び管理について必要な事項を定め良好な居住環境の確保を図ることを目的として、平成20年4月「札幌市ごみステーションの設置及び清潔保持等に関する要綱」を施行した。

(6) ごみステーションの管理支援

ごみステーションは利用する市民が協力して管理をすることとしているが、分別を守らないなど不適正排出者への対応は市民だけでは限界があることから、平成20年10月から、ごみステーションをパトロールし、不適正排出者への個別指導などの業務を行う職員（さっぽろごみパト隊）を各清掃事務所に配置した。令和7年度は118名体制で業務を行っている。

また、各町内会などごみステーションを管理している団体等を対象として、ごみ飛散防止ネット及びカラスよけサークルの購入助成を平成20年8月から実施、また、既存共同住宅の所有者等を対象として、平成21年12月から、箱型ごみステーションの敷地内設置費助成の事業を実施している。

平成28年4月からは折りたたみ式箱型器材を「札幌市ごみステーション管理器材購入費助成事業」の助成対象器材に追加している。

令和4年度からは限度額の見直しを行い、限度額を引き上げた。令和5年度からは、箱型ごみステーション敷地内設置費助成のうち、町内会が民有地等に共用のごみステーション器材を設置する場合について、助成率と限度額を引き上げた。

さっぽろごみパト隊の活動状況（令和6年度）

| 月 | ステーションパトロール (延べ箇所数) | 開封調査 | |
|-----|------------------------|---------|----------|
| | | 開封袋数(袋) | 排出者特定(袋) |
| 4月 | 247,192 | 1,038 | 148 |
| 5月 | 238,761 | 1,217 | 177 |
| 6月 | 207,168 | 799 | 122 |
| 7月 | 228,662 | 841 | 108 |
| 8月 | 230,861 | 919 | 102 |
| 9月 | 224,419 | 907 | 105 |
| 10月 | 249,035 | 1,001 | 126 |
| 11月 | 227,768 | 955 | 124 |
| 12月 | 242,326 | 866 | 97 |
| 1月 | 215,375 | 896 | 61 |
| 2月 | 202,637 | 838 | 69 |
| 3月 | 209,504 | 856 | 70 |
| 計 | 2,723,708 | 11,133 | 1,309 |

ごみステーション管理器材の購入助成状況

| 区 分 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| ごみ飛散防止 ネット(枚) | 1,362 | 973 | 886 | 668 | 550 |
| カラスよけ サークル(基) | 548 | 353 | 248 | 150 | 129 |
| 折りたたみ式 箱型器材 | 2,566 | 2,201 | 2,039 | 1,182 | 1,103 |
| 助成金額(円) | 38,528,900 | 31,561,600 | 55,178,600 | 36,706,400 | 33,508,800 |

※ ネット…購入価格の2分の1（限度11,000円）を助成（令和3年度まで限度5,000円）
 サークル…購入価格の2分の1（限度16,000円）を助成（令和3年度まで限度7,000円）
 折りたたみ式箱型管理器材…購入価格の2分の1（限度30,000円）を助成（令和3年度まで限度12,000円）

箱型ごみステーション敷地内設置費助成状況

| 区 分 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| 助成金交付件数(件) | 715 | 355 | 440 | 305 | 327 |
| 助成金額(円) | 8,441,900 | 4,255,100 | 16,160,200 | 12,267,800 | 13,430,500 |

※ 箱型・物置型

ア. 町内会が民有地等に共用のごみステーション器材を設置する場合

…本体価格の4分の3（限度75,000円）を助成（令和5年度より）

イ. ア以外の場合

…本体価格の2分の1（限度50,000円）を助成（令和3年度まで限度12,000円）

一部開放型…本体価格の2分の1（限度16,000円）を助成（令和3年度まで限度7,000円）

ごみステーション数

| 区 分 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| S T 数 | 55,737 | 56,767 | 57,674 | 58,370 | 59,146 |
| 増 加 数 | 1,381 | 1,030 | 907 | 696 | 776 |

※ S T：ごみステーション
各年度末の箇所数

ごみステーションの増減内訳及び専用共用区分

| 区 分 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 年度当初S T数(A) | 54,536 | 55,737 | 56,767 | 57,674 | 58,370 |
| 新設 (B) | 1,176 | 994 | 637 | 716 | 854 |
| 分離 (C) | 592 | 348 | 577 | 291 | 219 |
| 廃止 (D) | 387 | 312 | 307 | 311 | 297 |
| 年度末S T数 (A+B+C-D) | 55,737 | 56,767 | 57,674 | 58,370 | 59,146 |
| 専用S T数 | 30,071 | 30,807 | 31,528 | 32,110 | 32,787 |
| 共用S T数 | 25,666 | 25,960 | 26,146 | 26,260 | 26,359 |

※ S T：ごみステーション
S T数、専用S T数、共用S T数は、各年度末の箇所数

2 ごみ処理

(1) 収集計画

ア 作業対象と収集計画量

| 全 市 | | 作 業 対 象 | | 実施率 | 収集量 | 日 量 | 1人1日当 たり排出量 | 稼働日 数 |
|------------|-------------|------------|-------------|--------|-----------|---------|----------------|----------|
| 人 口 | 世 帯 | 人 口 | 世 帯 | | | | | |
| 1,967,804人 | 1,011,956世帯 | 1,967,804人 | 1,011,956世帯 | 100.0% | 362,900 t | 1,401 t | 505 g | 259日 |

※全市人口及び世帯数は令和7年6月1日現在の推計人口。

イ 収集体制

| 区分 | 収集計画量 (t) | 車 両 体 制 | | | |
|-------------|--------------|------------|--------|------|---|
| | | 市有車 (台) | 委託車(台) | 計(台) | 車 種 |
| 燃やせるごみ | 238,300 | 72 | 63 | 134 | 8 m ³ パッカー車及びプレス車 |
| 燃やせないごみ | 11,500 | — | 11 | 11 | 8 m ³ プレス車 |
| びん・缶・ペットボトル | 32,200 | (72) | 34 | 34 | 8 m ³ パッカー車 |
| 容器包装プラスチック | 29,800 | — | 48 | 48 | 8 m ³ プレス車 |
| 雑がみ | 18,700 | — | 19 | 19 | 8 m ³ パッカー車 |
| 枝・葉・草 | 19,500 | — | 12 | 12 | 8 m ³ プレス車 |
| 大型ごみ | 11,400 | — | 13 | 13 | 8 m ³ プレス車及び平ボディー車 |
| 地域清掃ごみ | 1,500 | — | 6 | 6 | 8 m ³ パッカー車、プレス車及び 平ボディー車 |
| 合計 | 362,900 | 72 | 206 | 278 | |

※直営車は、「燃やせるごみ」のほかに、「びん・缶・ペットボトル」を収集している（直営台数には予備車及び随時作業車を含む。）。

(2) 収集方法等

ア 燃やせるごみ

台所ごみ等の可燃ごみ収集で、収集方法は、昭和46年8月から全市立会い不要のステーション方式を実施している。

イ 燃やせないごみ

不燃ごみ、焼却不適ごみ収集で、昭和49年10月から実施している（平成5年3月までは大型ごみを含む）。

ウ びん・缶・ペットボトル

平成10年10月（南区は8月）から、リサイクルの推進とごみの減量化を図るため、びん・缶・ペットボトルの資源物収集を実施している。集めた資源物は、2か所の資源選別センター（東区中沼・南区真駒内）において、材質や色別に選別され、それぞれの再生工場で再商品化されている。

また、資源物として収集したびんと缶の売却収入により積み立てたリサイクル推進基金から生じる運用益を活用して、ごみ減量・リサイクルの普及啓発や市民のリサイクル活動の支援を行っている。

エ 容器包装プラスチック

平成12年度からの容器包装リサイクル法の全面施行に伴い、平成12年7月（東区は4月）から、容器包装プラスチックの分別収集を開始した。集めたプラスチックは、中沼プラスチック選別センターで不適物を除去し、圧縮・梱包した後、（公財）日本容器包装リサイクル協会を通じて再商品化事業者へ引き渡している。

オ 雑がみ

平成21年7月から、リサイクルの推進とごみの減量を図るため、雑がみ収集を実施している。集めた雑がみは、10か所の民間施設及び中沼雑がみ選別センター（東区中沼）等において、再生紙及び固形燃料の原料として再資源化されている。

また、平成23年4月から、新聞、雑誌、ダンボールは、雑がみの対象から外して集団資源回収または回収拠点等を利用することとし、やむを得ずごみステーションに出す場合は燃やせるごみとして排出することとした。

カ 枝・葉・草

平成21年7月から、リサイクルの推進とごみの減量を図るため、枝・葉・草収集を実施している。集めた枝・葉・草は、今後の有効利用に向けた実証試験として山本処理場（厚別区山本）において堆肥化等されている。

また、平成23年度からは、「札幌市定山溪地域バイオマスタウン構想」に基づき、収集量の一部を定山溪にある民間の生ごみ堆肥化施設に搬入して、循環利用を行っている。

キ 大型ごみ

平成5年4月から大型家具類などの粗大ごみ収集を実施していたが、平成9年10月からは申し込みによる戸別収集、平成10年1月からは有料制を実施し、10月からは木製家具等のリユース収集も実施している。

令和5年11月からはインターネット受付による収集を行っている。

ク 地域清掃ごみ

町内会清掃ごみや不法投棄ごみ等の収集を、住民からの連絡等によりその都度実施している。

ケ 使用済み乾電池

昭和59年2月から、燃やせないごみの日に別袋で排出された使用済みの筒型乾電池を収集している。令和3年10月から、排出機会拡大による適正排出の促進を図るため、週1回のびん・缶・ペットボトルの日に別袋で使用済みの筒型乾電池を収集するよう変更した。収集した筒型乾電池は、昭和61年度から（公社）全国都市清掃会議の使用済の筒型乾電池広域回収処理事業を活用し広域回収・処理センターである野村興産㈱イトムカ鉱業所へリサイクル処理を委託している。

令和6年度の収集実績は400.43 tである。

コ 廃スプレー缶

平成15年11月から、燃やせないごみの日に別袋で排出された廃スプレー缶を収集している。「燃やせないごみの日に、別袋で、穴を開けて排出する」方法から、「燃やせるごみの日に、別袋で、穴を開けずに排出する」方法に変更した際の排出状況等を調査するため、平成28年4月から清田区をモデル地区とした検証実験を実施し、平成29年7月から排出ルールを全市で変更した。

収集したスプレー缶はリサイクル処理を委託している。

令和6年度の収集実績は499.2 tである。

サ 廃蛍光管

平成16年10月から、家電量販店や小規模電気小売店の協力を得て、店頭で廃蛍光管の拠点回収を行っている。収集した蛍光管は、（公社）全国都市清掃会議の廃蛍光管広域回収処理事業を活用して、広域回収・処理センターである野村興産㈱イトムカ鉱業所へリサイクル処理を委託している。

令和6年度の収集実績は114.95 tである。

シ 動物の死体処理

道路等に遺棄された犬・ねこ等の死体処理は、市民からの通報等により委託業者が収集し、動物管理センターで焼却処理している。

令和6年度の処理件数は2,946件である。

(3) 札幌市要介護者等ごみ排出支援事業（さわやか収集）

平成21年7月から、要介護者や障がい者で一定の要件に該当する方に対して、玄関先からのごみの収集や大型ごみを家屋内から運び出して収集する支援事業を行っている。

平成26年4月からは、対象要件を拡大して実施しており、希望者には、収集の際に、声掛けによる安否確認も実施している。（平成24年10月から平成26年3月までは西区でモデル事業として実施した。）

平成29年4月からは、事業対象者（札幌市介護予防・日常生活支援総合事業の対象者）を対象要件に追加している。

平成31年3月からは、ごみ出しが困難な年齢にある児童や障がい児がいる世帯への利用を緩和している。

| 区 分 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| さわやか収集件数 | 4,713 | 5,062 | 5,304 | 5,289 | 5,492 |

※令和7年6月に過去分の集計誤りが判明したため、令和4、5年度の数値を遡及して修正した。

(4) 家庭ごみ収集方法等に関する検討

ごみ収集やごみステーションに関する課題を分析することを目的に、平成22年度に「家庭ごみ収集方法等に関する調査研究委員会」を設置し、ごみ収集等に関する現状や課題を把握するための意識調査及び他都市調査、戸別収集や小規模ごみステーション方式を実施した場合に必要な車両台数や経費等を推計するためのシミュレーション調査などを実施した。

平成23年度は、この調査結果等を踏まえ、家庭ごみの収集方法等に関するあり方を検討することを目的に、第三者委員会である「家庭ごみ収集方法等に関するあり方検討委員会」を設置した。委員会では、平成24年2月に、ごみステーションの管理負担軽減や、さわやか収集のあり方に関する対応策などをまとめた最終報告を作成した。

これを踏まえ、札幌市では、「今後の家庭ごみ収集方法等の見直しに向けての方針」を定め、ごみステーション問題の改善に向けた重点化の取組、共同住宅のごみ出しルール違反に対する取組、さわやか収集制度の見直し等を行った。

ア ごみステーション問題の改善に向けた重点化の取組

平成24年度から平成29年度まで、排出状況が特に悪いごみステーション4,241か所を特定し、町内会と協力して3,563か所を改善した。

イ 共同住宅のごみ出しルール違反に対する取組

平成28年10月から平成29年3月まで「札幌市共同住宅ごみ排出マナー改善対策連絡協議会」会員の共同住宅管理会社と「共同住宅ごみ排出マナー改善重点指導実施プロジェクト」を実施した。

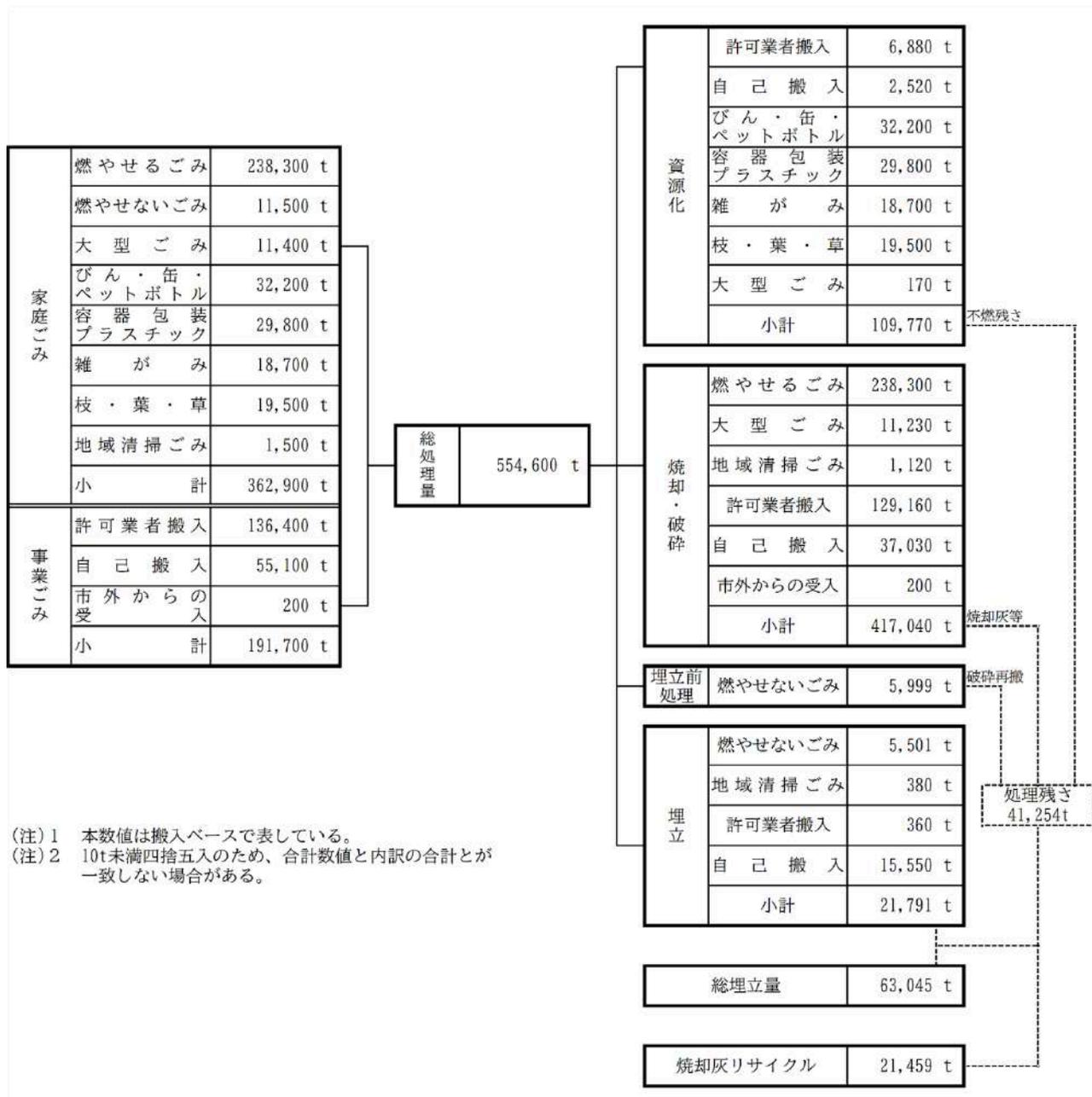
ウ さわやか収集制度の見直し

平成26年4月から、従来の対象要件である「介護保険の要介護2以上または障害福祉サービスの障害支援区分3以上」に、「介護保険の要支援1・2または障害支援区分1・2で、世帯内の一人以上がホームヘルプサービスを利用していること」「障害福祉サービスの同行援護を利用していること」を追加して要件を緩和するとともに、希望者には安否確認を行うこととした。

(5) 処理処分計画

令和7年度のごみ総処理量は554,600t（函館市からのごみ受入計画量200t含む）と推計している。3清掃工場で417,040t(75.2%)を焼却処理するほか、ごみ資源化工場・資源選別センター・プラスチック選別センター・雑がみ選別センター等で109,770t(19.8%)を資源化、埋立前処理として3破碎工場で5,999t(1.1%)を破碎、残余21,791t(3.9%)については山本処理場等2か所の最終処分場で埋立処分する計画である。また、最終処分場の延命化と焼却灰の再資源化を目的として、焼却灰リサイクルを21,459t実施する予定である。

(令和7年度ごみ処理計画)



(注)1 本数値は搬入ベースで表している。
 (注)2 10t未満四捨五入のため、合計数値と内訳の合計とが一致しない場合がある。

(6) 試験調査実施計画

処理施設の適正な維持管理と生活環境の保全を目的として、次の試験検査を行う。

ア 水質（一般水質及び重金属ほか）検査関係

- (ア) 最終処分場の原水、流入水、放流水及び周縁地下水の検査を行う。
- (イ) クリーンセンターのし尿の検査を行う。
- (ウ) 清掃工場の放流水の検査を行う。

イ ごみ質分析関係

清掃工場ピットごみの組成（9分類）、3成分分析、発熱量測定を行う。

ウ 排ガス測定関係

清掃工場の排ガス中のばいじん、硫酸化物、塩化水素、窒素酸化物、ダイオキシン類、水銀の測定を行う。

エ 焼却灰等検査関係

清掃工場の焼却灰、飛灰について重金属分析を行う。

オ その他

処理施設維持管理上の各種調査を行う。

(7) 自己搬入

一般廃棄物及び市が処分する産業廃棄物について、排出者自らの運搬により処理施設（清掃工場・破碎工場・ごみ資源化工場・埋立処分場）へ搬入された廃棄物を受入している。不適切な搬入の防止及びごみの減量を図るため、平成16年度から埋立地に、平成21年度からは清掃工場・破碎工場に搬入指導員を配置している。

一般廃棄物処理手数料（令和7年4月1日現在）

| 手数料の種類 | 取扱区分 | 手数料額 |
|--------|-----------|------------|
| 焼却手数料 | 清掃工場・破碎工場 | 200円 /10kg |
| | ごみ資源化工場 | 130円 /10kg |
| 埋立手数料 | 埋立処分場 | 200円 /10kg |

産業廃棄物処分費用（令和7年4月1日現在）

| 取扱区分 | 分類 | 処分費用額 |
|-----------|--------|--------------|
| 清掃工場・破碎工場 | | 201.3円 /10kg |
| ごみ資源化工場 | | 130.1円 /10kg |
| 埋立処分場 | 廃石綿等以外 | 200円 /10kg ※ |
| | 廃石綿等 | 360円 /10kg ※ |

※埋立処分場では、上記処分費用と併せて10円/10kgの循環資源利用促進税を徴収。

3 し尿処理

本市の一般し尿収集作業は、委託により実施している。

(1) し尿収集計画

ア 要収集対象と収集計画量

| 全 市 | | 要収集世帯 | | 要収集率 | 収集量 | 日量 | 1人1日当 たり排泄量 | 稼働日 数 |
|------------|-----------|--------|---------|-------|----------|--------|----------------|----------|
| 人 口 | 世 帯 | 人 口 | 世 帯 | | | | | |
| 1,965,305人 | 997,411世帯 | 6,014人 | 2,980世帯 | 0.31% | 15,265kL | 63.1kL | 5.67L | 242日 |

※ 収集量には工事現場等の仮設便所も含むが、1人1日当たり排泄量では除外している。

※ 人口は令和7年4月1日現在の推計である。

イ 収集体制

| | | |
|------|----------|------|
| 委託収集 | 15,265kL | 100% |
|------|----------|------|

(2) し尿収集方法

本市の収集方法は申込み制を採用し、電話で受け付けをしている。

ア 申込みによる収集

クリーンセンターの専用電話で受付し、くみ取り申込書を作成している。

申込書は、5枚複写で内3枚はセンター、受け付け、作業責任者の控えとし、くみ取り済み書はくみ取り世帯に、残りの1枚はくみ取り手数料収納事務のため、処理場管理事務所に送付している。くみ取り手数料は1単位(27L)につき350円(令和2年4月1日料金改定)、工事現場等で使用する仮設トイレは650円(令和2年4月1日料金改定)である。

イ 外交による収集

収集作業の効率向上を図るため、収集場所付近の世帯の収集も併せて行っている。

(3) 浄化槽

市内には、500基の浄化槽が設置されており、それにかかわる汚泥・汚水及びビルピット汚泥(し尿を含むもの)を合わせた浄化槽汚泥の処理計画量は下表のとおりである。

なお、これらの汚泥の収集は、本市の許可業者が実施している。

(4) 処理計画

石狩市及び当別町のし尿及び浄化槽汚泥は、石狩市のし尿処理施設で処理してきたが、当該施設の老朽化に伴い両市町から本市に対して受け入れの協議申し入れがあり、本市としては、道内連携の推進、既存施設(札幌市クリーンセンター)の有効活用に貢献できることから、平成28年10月1日から受け入れを行うこととした。

令和7年度の一般し尿等の総収集量を、26,317kLと推計し、これをクリーンセンター(処理能力100kL/日)でし渣(し尿のごみ)を除去後、水で希釈し、手稲水再生プラザにポンプ圧送する。

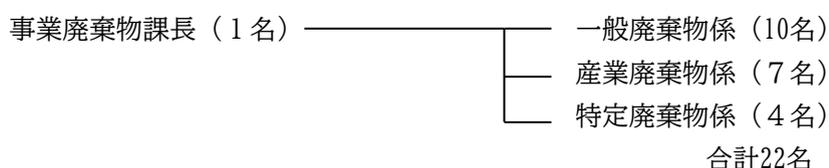
(令和7年度し尿処理計画)

| | | |
|-----------|--|-------------|
| 一般し尿 | | 14,782 kL/年 |
| 水洗し尿 | | 242 kL/年 |
| 浄化槽汚泥 | | 2,850 kL/年 |
| 石狩市・当別町受入 | | 8,443 kL/年 |

| |
|---------------------|
| 総収集量 26,317 kL/年 |
|---------------------|

4 事業系廃棄物

(1) 監視指導体制



(2) 事業系一般廃棄物の減量施策及び処理状況

ア 排出抑制及び資源化の促進

(ア) 事業者に対する指導

事業系廃棄物の適正処理・排出抑制・再利用の促進に向けて、5名の事業ごみ指導員が立入指導や普及啓発を行っている。

事業の用に供する部分が500m²以上又は3階以上の建築物を新設又は増築する場合には、事業者より「事業系廃棄物保管場所等設置計画書」の提出を受け、適切な廃棄物保管場所面積の確保に努めている。

事業の用に供する部分が1,000m²以上の大規模建築物の所有者からは、毎年「事業系廃棄物減量計画書・処理実績報告書」の提出を受けており、そのデータや立入開封調査の結果を元に、個々の大規模建築物について、廃棄物の排出状況やリサイクル余地等を解析（診断）し、処理費用削減効果等と合わせて事業者に提示する「見える化支援」を行うことにより、事業者の具体的なリサイクル活動を促進している。

小規模事業所については、各事業所からの排出量が少ないためにリサイクルが進みづらい状況にあり、この課題の解消に向けて、商店街等地域団体単位でリサイクルを行う「商店街古紙回収事業」を行っている（令和7年4月1日時点で市内4区5地区8商店街）。

事業系ごみ排出量は、ここ数年新型コロナウイルス感染症による影響で減少傾向を示しているが、今後も継続的な指導や普及啓発に取り組んでいく。

保管場所に対する指導実績

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 対象建築物数 | 87件 | 90件 | 96件 | 65件 | 55件 |

大規模事業所に対する指導実績

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 対象事業所数 | 4,625件 | 4,609件 | 4,611件 | 4,592件 | 4,616件 |
| 減量計画書提出事業所数 | 4,075件 | 4,294件 | 4,295件 | 4,242件 | 4,275件 |
| 減量計画書提出率 | 88.1% | 93.2% | 93.1% | 92.4% | 92.6% |
| (参考)事業系ごみ排出量 | 194,430t | 177,422t | 189,240t | 187,949t | 193,292t |

大規模事業所における資源化の状況

| | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度 | | 令和6年度 | | |
|------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------|
| | 排出量 (t) | 構成比 (%) | |
| 資源物 | 古紙 | 65,223 | 66.3 | 71,601 | 64.9 | 72,231 | 65.5 | 61,569 | 60.7 | 58,278 | 58.7 |
| | びん・缶・ペット | 8,803 | | 9,807 | | 9,853 | | 10,178 | | 10,919 | |
| | | 7,582 | | 6,989 | | 5,864 | | 6,052 | | 5,318 | |
| | | 20,545 | | 20,086 | | 16,687 | | 16,153 | | 16,372 | |
| 一般ごみ | 51,750 | 33.7 | 58,553 | 35.1 | 55,117 | 34.5 | 60,922 | 39.3 | 64,053 | 41.3 | |
| 合計 | 153,903 | 100.0 | 167,036 | 100.0 | 159,752 | 100.0 | 154,874 | 100.0 | 154,940 | 100.0 | |

※排出量は事業者からの報告によるもの。数値は作成時点での集計値。

事業ごみ指導員による不適正排出事業者指導

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--|-------------|------------|-------------|------------|------------|
| 不適正排出事業者指導件数 (うち家庭ごみステーションへの 不適正排出指導件数) ※同案件への重複指導を除く | 12件 (8件) | 5件 (2件) | 11件 (8件) | 6件 (6件) | 7件 (6件) |

(イ) 収集体制の効率化

事業系一般廃棄物の減量、再資源化を促進するため、多分別収集等に対応した一元的な収集運搬業の許可体制を維持し、より効果的な収集体制の整備を図っていく。

(ウ) 事業系紙ごみの資源化

事業系ごみの中の紙ごみの分別の徹底を図り、「古紙回収協力店制度」をはじめ、古紙回収業者等による回収及びごみ資源化工場での固形燃料化を促進する。

(エ) 事業系生ごみの資源化

病院、学校、ホテル、デパート・スーパー等から排出される良質な生ごみについて、4か所の生ごみリサイクルセンターを活用し、飼・肥料材への再生処理を促進する。

(オ) パンフレット、ホームページ等による普及啓発

事業者向けに「オフィス・店舗向け 事業ごみ分別・処理ガイドブック」やホームページ、「見える化支援」などで、廃棄物の適正な処理方法、分別の仕方について周知していく。

イ 処理状況

(ア) 事業系一般廃棄物の許可業者による収集運搬量と処理方法（令和6年度）

| | | | |
|--|---------------------|-------------|-----------|
| 許可収集運搬量 （（一財）環境事業公社） 155,379 t ※収集事業所数 （収集箇所数） 34,955 件 | 市処理量 | 134,849 t | |
| | | 資源化 1) | 3,295 t |
| | | 焼却・破碎 | 131,218 t |
| | | 埋立 | 336 t |
| | 木くずチップ化量 2) | 328 t | |
| | 生ごみ再生処理量 3) | 18,671 t | |
| | びん・缶・ペットボトル再生処理量 3) | 1,531 t | |
| 許可（抜根伐採物限定） 収集運搬量 8,168 t | 市処理量 | 7,331 t | |
| | | 焼却・破碎 | 5,347 t |
| | | 埋立 | 1,984 t |
| | | 木くずチップ化量 2) | 837 t |
| | 木くず等堆肥化量 5) | 0 t | |

- (注) 1 燃料工場（紙くず等の固形燃料化） 北）篠路町福移153 篠路清掃工場敷地内
 2 チップ工場 北）篠路町福移153 篠路清掃工場敷地内
 3 札幌飼料化リサイクルセンター 東）中沼町45リサイクル団地内
 定山溪環生舎 南）定山溪896
 環生舎 石狩市新港中央2丁目757-11
 4 中沼資源選別センター 東）中沼町45リサイクル団地内
 駒岡資源選別センター 南）真駒内129番地30駒岡清掃工場隣接
 5 定山溪環生舎 南）定山溪896

| | | |
|-------------------------|--------------------|----|
| (イ) 一般廃棄物処理施設数（設置許可施設数） | （令和7年3月31日現在） | |
| 市）焼却施設 | 3 びん・缶・ペットボトル選別施設 | 2 |
| 市）破碎施設 | 3 ペットボトル破碎施設 | 1 |
| 市）管理型最終処分場（埋立地） | 2 チップ化施設（移動式） | 11 |
| 市）固形燃料化施設（紙くず等） | 1 家電テレビ・パソコン選別破碎施設 | 1 |
| 市）チップ化施設（木くず） | 1 生ごみ等リサイクル施設 | 3 |
| 市）雑がみ選別施設 | 1 自動車用タイヤ破碎施設 | 1 |
| 市）不燃物破碎施設 | 1 焼却施設 | 2 |
| 市）プラスチック選別施設（容器包装） | 1 | |

計 34

(ウ) 一般廃棄物（抜根伐採限定）収集運搬許可業者数（令和7年3月31日現在） 162

(3) 浄化槽

ア 設置状況（令和7年3月31日現在） 注：（ ）内は個人住宅への設置分

| | 単独処理 | 合併処理 | 計 | | 単独処理 | 合併処理 | 計 |
|-----|------|--------|--------|-----|--------|----------|----------|
| 中央区 | 4(4) | 16(8) | 20(12) | 豊平区 | 1(0) | 11(6) | 12(6) |
| 北区 | 9(6) | 75(43) | 84(49) | 清田区 | 14(4) | 12(1) | 26(5) |
| 東区 | 9(7) | 46(27) | 55(34) | 南区 | 42(34) | 181(121) | 223(155) |
| 白石区 | 5(3) | 28(9) | 33(12) | 西区 | 2(1) | 8(3) | 10(4) |
| 厚別区 | 2(2) | 10(2) | 12(4) | 手稲区 | 2(1) | 23(12) | 25(13) |
| | | | | 全市計 | 90(62) | 410(232) | 500(294) |

イ 許可・登録業者数（令和7年3月31日現在）

| | |
|------------|----|
| 浄化槽清掃業 | 19 |
| 浄化槽保守点検登録業 | 29 |

ウ 重点指導項目

- (ア) 立入指導、定期検査、維持管理状況報告を徴収するなどの監視指導を行う。
- (イ) 浄化槽設置者に対し、保守点検業者との書面契約を促進するなど、適正な維持管理の指導を行う。

(4) 自動車リサイクル法

年間約330万台排出される使用済自動車のリサイクル・適正処理を図るために自動車リサイクル法に基づく処理がされている。

※ 許可・登録業者数（令和7年3月31日現在）

| | |
|---------|-----|
| 引取業 | 190 |
| フロン類回収業 | 54 |
| 解体業 | 24 |
| 破碎業 | 3 |

(5) 産業廃棄物の指導計画及び処理状況

ア 第5次札幌市産業廃棄物処理指導計画

(ア) 計画概要

a 計画期間

令和3年度から令和12年度までの10年間

b 基本目標

市民、事業者、処理業者及び行政が協働しながら、第2次札幌市環境基本計画で掲げる「資源を持続可能に活用する循環型社会の実現」を目指します。

c 基本方針

(a) 基本方針1 再生利用及び適正処理の推進

持続可能な循環型社会の実現のため、産業廃棄物の再生利用を促進し、可能な限り最終処分を抑制します。また、排出された産業廃棄物については、廃棄物処理法等に基づいた適正な処理を推進します。

(b) 基本方針2 社会変化に対応した処理体制の推進

震災や豪雨等の大規模災害や新型コロナウイルス感染症の影響、国際情勢による影響等、様々な社会環境の変化は、廃棄物処理においても大きな影響を及ぼすものと考えられますが、このような状況下においても対応できる廃棄物処理体制を推進します。

(イ) 計画目標

a 最終処分量の削減

令和12年度の最終処分量を平成30年度の10.8万トンから0.8万トン減の10万トン以下に削減する。

b 再生利用の推進

令和12年度の再生利用率を平成30年度の79.8%から1.2ポイント増の81%以上に増加する。

(ウ) 実施計画の内容

a 施策1 再資源化の推進

- (a) 建設系廃棄物選別施設の活用
- (b) 札幌市リサイクル団地の処理施設整備

b 施策2 立入指導及び普及啓発

- (a) 建設工事現場等の排出事業場への立入指導
- (b) 処理施設等への立入指導
- (c) 適正処理等に係る普及啓発

c 施策3 手続き等の電子化の推進及び情報提供

- (a) 電子化の推進
- (b) 産業廃棄物の排出・処理状況の情報提供

d 施策4 循環型社会の実現に向けた市域内処理の検討

- (a) 市域内処理のあり方を検討
- (b) 札幌市が受け入れている産業廃棄物の見直し
- (c) 市内処理施設による再生利用の推進

e 施策5 不法投棄等の防止対策の推進

- (a) 不法投棄パトロール
- (b) 市民及び事業者との協力体制の推進

f 施策6 特別管理産業廃棄物の適正処理

- (a) PCB廃棄物の期限内処理の推進
- (b) 感染性廃棄物の適正処理
- (c) 廃石綿等の適正処理

g 施策7 災害廃棄物処理体制の充実

- (a) 札幌市災害廃棄物（がれき）処理マニュアルの見直し
- (b) 関係団体等との連携
- (c) 災害対応事例の収集と対応の検討

h 施策8 社会環境の変化への対応

- (a) 環境変化による廃棄物処理に対する影響の把握及び取組の検討
- (b) 地域循環共生圏の形成に向けた実態調査
- (c) 気候変動対策の推進

イ 処理状況

(ア) 排出事業所数〔令和3年経済センサス〕

| 業種 | 建設業 | 製造業 | 卸売・小売業 | 不動産・物品賃貸業 | 宿泊・飲食サービス業 | 医療・福祉 | その他 | 計 |
|------|-------|-------|--------|-----------|------------|-------|--------|--------|
| 事業所数 | 6,908 | 2,342 | 17,071 | 7,267 | 8,789 | 7,677 | 23,522 | 73,576 |

(イ) 産業廃棄物種類別排出量（令和5年度）（単位：千トン）

| 産業廃棄物の種類 | 排出量 |
|--------------------------------|---------------------------|
| 金属くず | 38 (1.3%) |
| 廃プラスチック類 | 107 (3.7%) |
| ガラス・コンクリート・陶磁器くず (うち廃石膏ボード) | 110 (3.8%) (10 (0.4%)) |
| がれき類 | 505 (17.6%) |
| 汚泥 | 1,947 (68.0%) |
| その他 | 158 (5.5%) |
| 計 | 2,864 (100%) |

(ウ) 処理業許可業者数（令和7年3月31日現在）

| | 産業廃棄物許可業者 | 特別管理産業廃棄物許可業者 |
|------|-----------|---------------|
| 収集運搬 | 48 | 16 |
| 中間処理 | 44 | 1 |
| 最終処分 | 1 | 0 |

(エ) 産業廃棄物処理施設数（設置許可施設数）（令和7年3月31日現在）
《中間処理施設》 《最終処分施設》

| | 施設数 |
|---------------|-----|
| 汚泥の脱水施設 | 4 |
| 汚泥の乾燥施設 | 2 |
| 廃油の油水分離施設 | 1 |
| 廃酸、廃アルカリの中和施設 | 1 |
| 廃プラスチック類の破碎施設 | 4 |
| 木くず・がれき類の破碎施設 | 21 |
| 焼却施設 | 1 |

| | 施設数 |
|----------|-----|
| 安定型最終処分場 | 1 |
| 管理型最終処分場 | 6 |

合 計 41施設

ウ 大規模震災等の発生時における協力体制

平成26年2月に小樽市、江別市、北広島市、石狩市、当別町及び新篠津村と「札幌圏震災等廃棄物処理に係る相互支援協定」を締結し、大規模震災等の発生時における相互協力体制を構築した。協定締結団体数はその後令和元年度から令和2年度にかけて拡大し、令和2年12月には上記団体に恵庭市、岩見沢市、千歳市、南幌町、長沼町、由仁町及び南空知公衆衛生組合を加えた全14団体にて同協定を再締結した。

また、平成26年3月に公益社団法人北海道産業廃棄物協会（現：公益社団法人北海道産業資源循環協会）と「震災等廃棄物処理の支援に関する協定」を締結し、大規模災害時に市内外の民間産業廃棄物処理業者の協力を得る体制を構築した。

(6) 特別管理産業廃棄物の適正処理

PCB（ポリ塩化ビフェニル）廃棄物については、令和6年度は499件の立入調査を実施し、適正な保管と処分を指導している。

感染性廃棄物や廃石綿等（アスベスト）については、現場への立入調査等を実施して適正に処理させている。

(7) 不法投棄や野外焼却などの不適正処理対策

不法投棄や野外焼却などの不適正処理に対しては、他部局、警察及び近隣市町村と連携しながら対応を行っており、今後とも厳しい指導を進めていく。

ア 不法投棄の状況

令和6年度の不法投棄発生件数は516件であり、過去最大の件数となった平成18年度の1,855件と比較すると約7割減少している。主な投棄物はタイヤ、テレビ、冷蔵庫などであり、投棄者が特定できた場合には警察に通報し、捜査を依頼している。特に、テレビや冷蔵庫等の家電リサイクル法対象品目の投棄台数は、令和6年度は248台であり、過去最大の台数となった平成18年度の5,541台に比べると大幅に減少しているものの、非常に多くの不法投棄がなされている。

イ 不法投棄防止対策

不法投棄監視指導員4名が車両2台により市内を巡回し、不法投棄情報に基づく調査、不法投棄者の発見・指導、不法投棄防止に関する啓発活動を行うほか、ヘリコプターによる空からの監視を行っている。夜間や土日・祝日については警備会社への委託による監視パトロールを行っている。不法投棄多発地帯には、パトロールの重点実施に加えて、監視カメラの設置やその土地所有者に対して不法投棄防止啓発用幟旗の提供等を行っている。また、平成17年度からは市民の協力を得て不法投棄を監視するため札幌市不法投棄ボランティア監視員（令和6年度末現在305名）を委嘱しているほか、平成22年度からは事業者の協力を得て不法投棄を監視する協定の締結を推進しており、行政、市民、事業者の協働による不法投棄されない環境づくりを進めている。

ウ 野外焼却について

野外焼却については、日常の監視パトロールの中で指導を行っている。令和6年度の野外焼却指導件数は34件である。平成13年4月の廃棄物処理法の改正により野外焼却は、改善命令などを経ることなく直接罰することができることとなったことから、悪質な場合は警察に通報している。

5 車両整備

清掃事業に欠かせない清掃車両の安全な運行を行うため、計画的かつ効率的な車両整備を実施している。

また、効率的な業務の遂行には清掃車両の稼働率の維持は不可欠であり、各清掃事務所に整備管理者を配置することで、保有車両のコンディションを維持しており、突発的な故障時にも迅速に修理対応を行うことで、稼働台数を確保している。

なお、車両修繕は、平成24年4月の整備工場閉鎖以後、軽易な修理・交換及び架装部分の定期点検を除き外注整備としている（車検・法定点検及びシャシ・板金塗装等）。

(1) 清掃車両整備計画（令和7年度）

（単位：台）

| 整備区分 | 自家・外注区分 | 自家整備 | 外注整備 | 計 |
|------|---------|------|------|-----|
| 車検 | | — | 120 | 120 |
| 定期 | | 570 | 294 | 864 |
| 計 | | 570 | 414 | 984 |

（整備対象車は、ごみ収集車両72台・その他車両72台の計144台）

（定期整備のうち、自家整備570台は、ごみ収集車の架装装置1か月点検であり延べ台数を示す。）

(2) 整備作業体制



6 施設整備

(1) 清掃工場等建設・整備

本市のごみ焼却施設は昭和46年に発寒第二清掃工場、昭和49年に厚別清掃工場、昭和55年に篠路清掃工場、昭和60年に旧駒岡清掃工場、平成4年に発寒清掃工場、平成14年に白石清掃工場、令和7年に駒岡清掃工場が竣工している。これらのうち、発寒第二清掃工場及び厚別清掃工場は白石清掃工場の竣工に合わせ平成14年に廃止された。また、平成21年7月の家庭ごみ新ごみルール（有料化等）施行後の焼却ごみ量の減少を受け、平成23年3月末をもって篠路清掃工場を廃止とした。現在の処理能力は、駒岡・発寒・白石の3工場で日量2,100トンとなっており、大型ごみの処理のため発寒、篠路、駒岡の清掃工場に併設した破碎施設が稼働している。

これらの清掃工場において焼却により発生する熱は、場内の暖房・給湯・ロードヒーティング等を始め、自家発電にも利用され、余剰電力は電力会社に売却している。ほかには、地域暖房・保養センター等への外部熱供給としても利用されている。

また、循環型社会の形成を目指しリサイクル施設の整備を行っており、平成2年に廃木材・紙類などで固形燃料を生産するごみ資源化工場を北区篠路、平成10年に「びん・缶・ペットボトル」を選別する資源選別センターを（一財）札幌市環境事業公社の事業として東区中沼・南区真駒内の2か所、平成12年に「容器包装プラスチック」を選別するプラスチック選別センターを東区中沼、平成21年に「雑がみ」を選別する雑がみ選別センターを東区中沼に竣工した。また、平成21年より山本処理場の埋立終了区画の一部を枝・葉・草資源化ヤードとして整備し、「枝・葉・草」のリサイクルに向けた試験運用を行っている。

3清掃工場の中で、最も年数が経過し老朽化が進んでいた旧駒岡清掃工場について、更新事業を進め、令和7年度に新清掃工場が稼働した。同様に老朽化が進んでいる篠路破碎工場についても、令和10年度の新破碎工場稼働を目標として、白石清掃工場に併設して更新する事業を進めている。

駒岡清掃工場更新事業及び白石破碎工場更新事業は、新工場の設計・建設及び運営・維持管理（20年間）を民間事業者に包括的に委託するDBO方式により実施している。

なお、既存の施設については適正なごみ処理を行うため、計画的に老朽化した部分の改修等を実施している。

(2) ごみ埋立処分場造成・整備

本市のごみ埋立処分場は、現在、手稲山口の山口処理場と厚別町山本の山本処理場があり、清掃工場から排出される焼却灰やリサイクルできない不燃物などの埋立処分を行っている。今後も安定した埋立処分を継続するため、ごみ減量・リサイクルを進めて既存埋立処分場の延命化を図るとともに、計画的な用地取得や整備などにより、埋立容量を確保していく必要がある。

埋立ごみ量の減少に伴い、平成12年度以降の埋立処分場造成は先送りしていたが、山本処理場の既存埋立区画の残存容量が残り少なくなってきたため、平成16年度から山本処理場山本東地区において基盤整備に着手し、平成22年度から新たな埋立区画の貯留施設造成を再開した。当該地区の造成は平成27年度に完了し、現在は山本処理場東米里西地区の基盤整備を行っている。山本、山口の次の埋立地として（仮称）北部事業予定地での埋立処分場の造成を進めており、令和4年度から工事を開始した。

また、既存の埋立処分場においては、埋立の進捗状況に合わせて、築堤嵩上げ等の整備を行っている。

7 令和7年度清掃事業関係予算

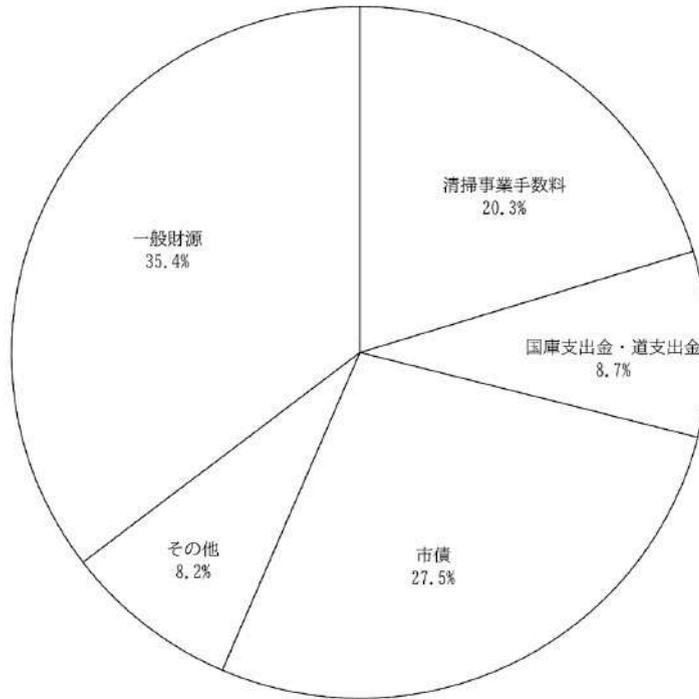
(1) 歳入歳出額

(単位：千円)

| 歳入 | | 歳出 | |
|-------------------|-------------------|-------------------|------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 環境費使用料・環境庁舎施設等使用料 | 15,326 | ごみ処理費 | 16,691,227 |
| 環境費手数料・清掃事業手数料 | 7,726,388 | 清掃車両等管理・購入費 | 407,205 |
| (家庭ごみ処理手数料) | 3,633,572 | ごみ処理施設等建設・整備費 | 15,778,839 |
| (ごみ処分手数料) | 3,807,289 | (ごみ処理費計) | 32,877,271 |
| (し尿処理手数料) | 267,629 | し尿処理費 | 398,872 |
| (その他) | 17,898 | (し尿処理費計) | 398,872 |
| 国庫支出金・環境費交付金 | 3,301,030 | (清掃事業費計) | 33,276,143 |
| 道支出金 | 1,087 | 職員費・職員給与(清掃関係職員分) | 4,832,118 |
| 財産収入 | 82,164 | | |
| (貸家料) | 17,137 | | |
| (貸地料) | 57,232 | | |
| (生産物売払収入) | 7,795 | | |
| 特別会計繰入金・基金会計 | 6,820 | | |
| 延滞金加算金及び過料・過料 | 137 | | |
| 受託事業収入・清掃受託金 | 73,931 | | |
| 環境費雑入 | 2,931,934 | | |
| (資源物リサイクル事業収入) | 1,050,258 | | |
| (清掃事業収入) | 1,862,996 | | |
| (環境その他雑入) | 18,680 | | |
| 市債 | 10,490,000 | | |
| 特定財源計 | 24,628,817 | | |
| 一般財源 | 13,479,444 | | |
| 一般財源計 | 13,479,444 | | |
| 合計 | 38,108,261 | 合計 | 38,108,261 |

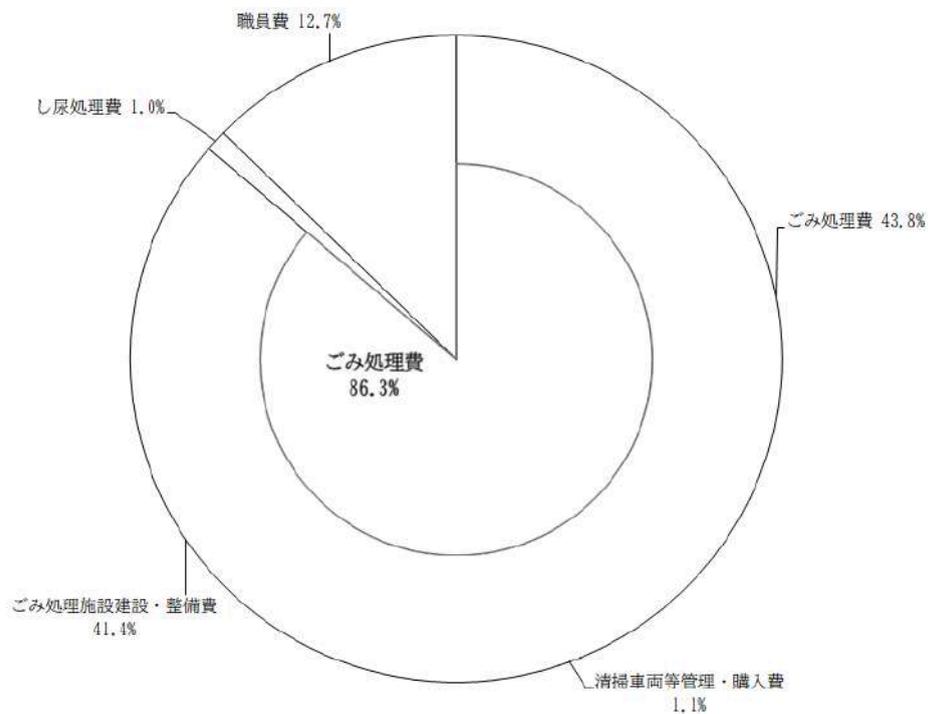
(当初予算額)

<歳入の割合>



| | | |
|-------|-----------|-------|
| その他内訳 | 3,110,312 | 8.16% |
| 環境費雑入 | 2,931,934 | 7.69% |
| 使用料 | 15,326 | 0.04% |
| 財産収入 | 82,164 | 0.22% |
| 基金 | 6,820 | 0.02% |
| 過料 | 137 | 0.00% |
| 清掃受託金 | 73,931 | 0.19% |
| 負担金 | | 0.00% |

<歳出の割合>



(2) 歳入歳出予算額の推移

①歳入予算額

(単位：千円)

| | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 環境費手数料・清掃事業手数料 | 7,841,965 | 7,575,941 | 7,701,318 | 8,023,592 | 8,041,346 | 7,726,043 | 7,922,685 | 8,084,011 | 7,682,057 | 7,726,388 |
| 家庭ごみ処理手数料 | 3,542,488 | 3,281,135 | 3,311,099 | 3,489,406 | 3,464,713 | 3,520,847 | 3,689,289 | 3,715,899 | 3,635,795 | 3,633,572 |
| ごみ処分手数料 | 4,091,818 | 4,098,544 | 4,186,465 | 4,314,774 | 4,342,417 | 3,990,435 | 4,002,761 | 4,131,229 | 3,802,397 | 3,807,289 |
| し尿処理手数料 | 191,956 | 181,104 | 189,708 | 203,186 | 217,747 | 197,593 | 215,234 | 221,311 | 226,203 | 267,629 |
| その他 | 15,703 | 15,158 | 14,046 | 16,226 | 16,469 | 17,168 | 15,401 | 15,572 | 17,662 | 17,898 |
| 国庫支出金・道支支出金 | 13,560 | 13,554 | 46,992 | 4,950 | 7,104 | 101,514 | 1,025,313 | 5,735,799 | 4,740,843 | 3,302,117 |
| その他 | 2,514,276 | 2,234,797 | 2,433,344 | 2,403,839 | 2,280,919 | 4,764,714 | 2,232,369 | 2,544,679 | 3,026,608 | 3,110,312 |
| 市債 | 2,459,000 | 2,216,000 | 2,913,000 | 2,565,000 | 2,594,000 | 2,697,000 | 5,247,000 | 13,224,000 | 16,826,000 | 10,500,000 |
| 一般財源 | 9,497,816 | 9,915,909 | 9,273,274 | 8,905,119 | 9,180,097 | 6,849,063 | 11,536,282 | 13,392,727 | 14,769,756 | 13,494,444 |
| 合計 | 22,326,617 | 21,956,201 | 22,367,928 | 21,902,500 | 22,103,466 | 22,138,334 | 27,963,649 | 42,981,216 | 47,039,385 | 38,133,261 |

※予算額には繰越額・補正額を含む。ただし、最新の年度については当初予算額に繰越額のみ含めている。

※一般財源には前年度からの繰越金を含む。

②歳出予算額

(単位：千円)

| | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| ごみ処理費 | 16,884,326 | 16,552,843 | 17,068,392 | 16,602,977 | 16,842,365 | 16,974,247 | 22,886,170 | 37,867,159 | 41,853,046 | 32,902,271 |
| ごみ処理費 | 11,985,372 | 11,856,427 | 11,874,038 | 12,125,558 | 12,034,707 | 11,863,808 | 13,032,245 | 14,542,485 | 15,029,725 | 16,702,227 |
| 清掃車両等管理・購入費 | 359,245 | 340,265 | 365,035 | 398,772 | 385,092 | 379,596 | 442,976 | 304,594 | 471,229 | 407,205 |
| ごみ処理施設等建設・整備費 | 4,539,709 | 4,356,151 | 4,726,319 | 4,054,647 | 4,422,566 | 4,730,843 | 9,410,949 | 23,020,080 | 26,357,971 | 15,792,839 |
| その他ごみ処理関係費 | 0 | 0 | 103,000 | 24,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| し尿処理費 | 360,442 | 358,071 | 348,570 | 355,447 | 364,755 | 376,054 | 375,483 | 379,024 | 389,478 | 398,872 |
| し尿処理費 | 360,442 | 358,071 | 348,570 | 355,447 | 364,755 | 376,054 | 375,483 | 379,024 | 389,478 | 398,872 |
| 職員費・職員給与(清掃関係分) | 5,081,849 | 5,045,287 | 4,950,966 | 4,944,076 | 4,896,346 | 4,788,033 | 4,701,996 | 4,735,033 | 4,796,861 | 4,832,118 |
| 合計 | 22,326,617 | 21,956,201 | 22,367,928 | 21,902,500 | 22,103,466 | 22,138,334 | 27,963,649 | 42,981,216 | 47,039,385 | 38,133,261 |

※予算額には繰越額・補正額を含む。ただし、最新の年度については当初予算額に繰越額のみ含めている。

IV 令和6年度清掃事業実績

1 普及活動

(1) 行事实績

| 月 | 行 事 | 内 容 |
|----|-----------------------------|--|
| 4 | 春の清掃運動 4月6日～5月11日 | 町内会などの地域ぐるみの清掃の実施 |
| 5 | ごみゼロの日 5月30日 | ポイ捨てのない「クリーンさっぽろ」の実現を呼びかけるため、市内各地において街頭キャンペーンを実施 |
| 7 | 夏の清掃運動 7月6日～7月25日 | 町内会などの地域ぐるみの清掃の実施 |
| 10 | 秋の清掃運動 9月21日～10月19日 | 町内会などの地域ぐるみの清掃の実施 |
| | 大都市共同キャンペーン 10月1日～10月31日 | 3R推進月間に合わせ、政令都市等の共同作成3R啓発ポスターを掲出 |
| 通年 | ごみ減量・リサイクルの啓発活動 | 札幌市内の各種イベント等において実施 |
| | 説明会の開催 | 町内会、連合町内会単位での、ごみ分別など適正排出に向けた説明会の開催 |

(2) 集団資源回収奨励金支給実績

| 年（暦年） | | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |
|---------------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 項 目 | | | | | | |
| 支給団体数 | | 4,281 | 4,303 | 4,301 | 4,316 | 4,326 |
| 支給 団体 別 | 町内会 | 1,410 | 1,412 | 1,405 | 1,394 | 1,392 |
| | P T A | 216 | 210 | 205 | 206 | 205 |
| | 子ども会 | 77 | 76 | 74 | 70 | 69 |
| | 老人クラブ | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 |
| | 管理組合他 | 2,496 | 2,523 | 2,536 | 2,564 | 2,578 |
| | 拠点回収 | 32 | 32 | 31 | 32 | 32 |
| 回収量（t） | | 45,390 | 41,255 | 39,760 | 37,726 | 31,510 |
| 品 目 別 | 紙類 | 40,693 | 39,177 | 37,152 | 33,876 | 30,940 |
| | びん類 | 81 | 73 | 70 | 67 | 65 |
| | 金属類 | 394 | 391 | 400 | 369 | 404 |
| | 布類 | 87 | 119 | 104 | 107 | 101 |
| 奨 励 金（千円） | | 177,660 | 165,518 | 160,833 | 153,474 | 163,404 |
| 支給 団体 別 | 町内会 | 70,227 | 67,950 | 65,173 | 73,751 | 71,754 |
| | P T A | 12,997 | 12,400 | 11,315 | 13,164 | 12,673 |
| | 子ども会 | 3,829 | 3,614 | 3,403 | 3,696 | 3,543 |
| | 老人クラブ | 2,764 | 2,650 | 2,507 | 2,850 | 2,796 |
| | 管理組合他 | 35,869 | 35,058 | 33,002 | 37,644 | 36,973 |
| | 拠点回収 | 1,047 | 1,010 | 990 | 1,181 | 1,240 |
| | 回収業者 | 38,785 | 38,151 | 37,085 | 35,764 | 34,425 |

(注) 1 登録団体への奨励金は平成3年9月より実施。

(注) 2 回収業者への奨励金は平成14年4月より実施。

(注) 3 平成27年7月に登録団体への奨励金の見直しを行った。

(3) リサイクルプラザ事業実績

| | | | |
|---------|------|---------|---------|
| 開館日数 | 307日 | 来館者総数 | 86,828人 |
| 提供個数 | 822個 | 展示品申込者数 | 7,835人 |
| 教室等開催回数 | 195回 | 教室等参加者数 | 19,558人 |

(4) リユースプラザ事業実績

| | | | |
|---------|--------|----------|----------------|
| 開館日数 | 307日 | 来館者総数 | 51,685人 |
| 提供個数 | 1,950個 | イベント参加者数 | 2,325人 (5回) |
| 教室等開催回数 | 30回 | 教室等参加者数 | 616人 |

(注) 来館者総数には、併設している厚別地区リサイクルセンターのみの利用者数も含まれている。

(5) びん・缶・ペットボトルの選別後の量の推移

(単位：トン)

| 品目 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| びん | 10,970 | 10,652 | 10,457 | 10,024 | 9,408 |
| 無色びん | 3,972 | 3,757 | 3,614 | 3,470 | 3,317 |
| 茶色びん | 3,517 | 3,381 | 3,443 | 3,309 | 3,168 |
| その他びん | 3,482 | 3,515 | 3,400 | 3,245 | 2,923 |
| スチール缶 | 2,163 | 2,110 | 1,997 | 1,805 | 1,667 |
| アルミ缶 | 4,064 | 4,328 | 4,226 | 4,108 | 4,054 |
| ペットボトル | 8,002 | 8,621 | 8,669 | 8,856 | 8,810 |
| 合計 | 25,199 | 25,711 | 25,349 | 24,793 | 23,939 |

(注) 1トン未満四捨五入のため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

(6) 缶の売却額の推移

(単位：千円)

| 品目 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| スチール缶 | 62,917 | 112,414 | 112,238 | 96,801 | 82,178 |
| アルミ缶 | 324,588 | 620,623 | 718,355 | 694,860 | 836,995 |
| 合計 | 387,505 | 733,036 | 830,593 | 791,661 | 919,173 |

(注) 千円未満四捨五入のため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

(7) 容器包装プラスチックの選別後の量の推移

(単位：トン)

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 選別後の量 | 28,588 | 27,897 | 28,207 | 27,138 | 26,827 |

(8) リサイクル推進基金年度別推移

(単位：円)

| 項目 | 年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|---------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 基金造成額 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 基金造成累計額 | | 810,000,000 | 810,000,000 | 810,000,000 | 810,000,000 | 810,000,000 |
| 運用利子額 | | 6,175,771 | 5,997,486 | 5,883,384 | 5,954,698 | 6,642,893 |
| 決算余剰 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 一般会計繰入額 | | 6,175,771 | 5,997,486 | 5,883,384 | 5,954,698 | 6,642,893 |
| 年度末残高 | | 713,137,507 | 713,137,507 | 713,137,507 | 713,137,507 | 713,137,507 |

(9) 雑がみの選別後の量の推移

(単位：トン)

| 品目 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 雑がみ | 15,053 | 14,528 | 14,560 | 13,857 | 12,950 |
| 主要古紙 | 1,545 | 1,357 | 1,359 | 1,504 | 1,519 |
| 固形燃料原料 | 4,675 | 4,327 | 4,159 | 4,074 | 3,718 |

(注) 平成21年7月から収集開始。

(10) 雑がみの売却額の推移

(単位：千円)

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|
| 売却額 | 177,069 | 200,044 | 262,673 | 212,241 | 218,579 |

(注) 平成21年7月から収集開始。

(11) ごみステーション浄化に関する普及・指導状況

| | | | | | | |
|--|---------|-----------|---------------|------|-------|-------|
| ミさ ーっ てぽ いろ んク グリー ン | 件数 | 196 | 個別 指導 | 指導件数 | | 1,231 |
| | 参加人員 | 11,795 | | 注意書 | 1 | |
| | | | | 指導書 | 0 | |
| | | | | 警告書 | 0 | |
| パステ ロー ーシ ョン | 実施回数 | 14,797 | 注意書等の 発行件数 | その他 | 1,230 | |
| | ステーション数 | 2,723,708 | 啓発看板等設置数 | | 87 | |

(12) 出前講座「さっぽろクリーンミーティング」の開催件数

| 区 分 | 件 数 | 人 数 | 区 分 | 件 数 | 人 数 |
|------|-----|--------|----------|-----|--------|
| 小学校 | 136 | 10,068 | 町内会 | 17 | 414 |
| 中学校 | 3 | 43 | 連合町内会 | 16 | 426 |
| 高校 | 2 | 20 | クリーンさっぽろ | 2 | 67 |
| 大学 | 1 | 152 | 企業 | 0 | 0 |
| 専門学校 | 1 | 30 | その他団体 | 18 | 575 |
| | | | 計 | 196 | 11,795 |

(13) 苦情の処理件数

| 内 容 | 件 数 | 内 容 | 件 数 | |
|--------------|-------|----------------------|-----|-------|
| ごみの排出マナーが悪い | 1,645 | 有料化に関する事 | 48 | |
| 収集後のごみの放置 | 2,201 | 管理器材助成に関する事 | 156 | |
| 不適正排出 | 2,083 | ごみ減量施策に関する事 | 5 | |
| 分別に関する事 | 985 | 共同住宅のごみステーション設置に関する事 | 260 | |
| カラス、犬、猫による散乱 | 584 | ごみステーションパトロールに関する事 | 181 | |
| 引越しごみの排出 | 181 | 資源物等の持ち去りに関する事 | 63 | |
| 事業系ごみの排出 | 98 | 収集日カレンダーに関する事 | 549 | |
| 大型ごみに関する事 | 432 | その他 | 428 | |
| | | | 計 | 9,899 |

(14) 要望の処理件数

| 内 容 | 件 数 | 内 容 | 件 数 |
|----------------|-------|---------------|-------|
| ごみステーションの移設・新設 | 1,091 | 収集日カレンダーに関する事 | 964 |
| ごみの排出個別指導 | 471 | その他 | 4,145 |
| 町内会清掃（ごみ収集依頼） | 1,767 | 計 | 8,438 |

(15) 清掃に関する問い合わせ件数

| 内 容 | 件 数 | 内 容 | 件 数 |
|-----------------------|--------|----------------|--------|
| 収集日の問い合わせ | 5,061 | 引越しごみの出し方 | 541 |
| 大型ごみに関すること | 5,647 | スプレー缶の出し方 | 1,567 |
| 分別に関すること | 23,529 | 乾電池の出し方 | 787 |
| 有料化に関すること | 33 | 祝日のごみ収集 | 316 |
| 管理器材助成に関すること | 1,028 | 処分場の場所、受け入れるごみ | 1,214 |
| ごみ減量施策に関すること | 78 | 処理困難物の出し方 | 457 |
| 共同住宅のごみステーション設置に関すること | 946 | 事業系ごみの問い合わせ | 206 |
| ごみステーションパトロールに関すること | 659 | その他 | 9,380 |
| | | 計 | 51,449 |

1 ごみ処理関係

(1) ごみ量

ア 年度別推移

| 項目 | 年度 | 26 (実績) | 27 (実績) | 28 (実績) | 29 (実績) | 30 (実績) | 元 (実績) | |
|-----|------------------------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 世帯 | 全市世帯 | 932,974 | 919,198 | 930,169 | 943,055 | 953,039 | 963,666 | |
| 注1 | 作業対象世帯 | 932,974 | 919,198 | 930,169 | 943,055 | 953,039 | 963,666 | |
| 人口 | 全市人口 (人) | 1,942,648 | 1,953,784 | 1,959,833 | 1,962,918 | 1,965,940 | 1,970,052 | |
| 注1 | 作業対象人口 (人) | 1,942,648 | 1,953,784 | 1,959,833 | 1,962,918 | 1,965,940 | 1,970,052 | |
| | 実施率 (%) | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | |
| 注2 | 市収集量 | 燃やせるごみ (t) | 253,582 | 250,536 | 246,141 | 247,997 | 248,572 | 251,349 |
| | | 燃やせないごみ (t) | 19,412 | 17,855 | 16,347 | 15,321 | 16,213 | 14,278 |
| | | びん・缶・ペットボトル (t) | 34,344 | 34,106 | 33,857 | 33,496 | 33,677 | 33,778 |
| | | プラスチック (t) | 29,164 | 29,151 | 29,072 | 29,262 | 29,685 | 30,053 |
| | | 雑がみ (t) | 24,796 | 23,984 | 23,224 | 22,948 | 22,392 | 22,147 |
| | | 枝・葉・草 (t) | 19,541 | 20,425 | 19,968 | 20,410 | 19,281 | 18,226 |
| | | 大型ごみ (t) | 11,164 | 11,026 | 10,578 | 10,882 | 11,768 | 11,403 |
| | | 地域清掃ごみ (t) | 3,355 | 3,497 | 3,020 | 2,658 | 4,311 | 2,048 |
| | | 小計 (t) | 395,358 | 390,581 | 382,207 | 382,974 | 385,898 | 383,283 |
| | | 日量 (t) | 1,532 | 1,508 | 1,476 | 1,490 | 1,502 | 1,480 |
| | その他 | 許可業者収集 (t) | 142,034 | 142,950 | 143,642 | 148,028 | 149,290 | 145,593 |
| | | 自己搬入量 (t) | 65,181 | 65,128 | 65,612 | 66,553 | 71,113 | 73,344 |
| | | 小計 (t) | 207,215 | 208,078 | 209,254 | 214,581 | 220,402 | 218,937 |
| | | 合計 (t) | 602,573 | 598,658 | 591,462 | 597,555 | 606,300 | 602,220 |
| 注3 | 処理区分 | 焼却 (t) | 440,642 (73%) | 445,805 (74%) | 440,165 (74%) | 446,275 (75%) | 450,691 (74%) | 447,483 (74%) |
| | | 埋立 (t) | 41,216 (7%) | 32,711 (5%) | 33,501 (6%) | 33,606 (6%) | 39,170 (6%) | 39,285 (7%) |
| | | 資源化 (t) | 12,741 (2%) | 12,345 (2%) | 11,563 (2%) | 11,432 (2%) | 11,396 (2%) | 11,121 (2%) |
| | | 資源物選別 (t) | 107,974 (18%) | 107,797 (18%) | 106,233 (18%) | 106,242 (18%) | 105,043 (17%) | 104,332 (17%) |
| | | 焼却灰等 (t) | 52,968 | 50,762 | 53,649 | 49,292 | 50,287 | 48,590 |
| | | 焼却灰リサイクル (t) | 9,809 | 14,509 | 14,507 | 14,833 | 14,502 | 14,511 |
| 注4 | 一人一日当たり排出量 | 市収集量に対するもの | 558 | 546 | 534 | 535 | 538 | 532 |
| | | 燃やせるごみ | 358 | 350 | 344 | 346 | 346 | 349 |
| | | 燃やせないごみ | 27 | 25 | 23 | 21 | 23 | 20 |
| | | びん・缶・ペットボトル | 48 | 48 | 47 | 47 | 47 | 47 |
| | | プラスチック | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 42 |
| | | 雑がみ | 35 | 34 | 32 | 32 | 31 | 31 |
| | | 枝・葉・草 | 28 | 29 | 28 | 28 | 27 | 25 |
| | | 大型ごみ | 16 | 15 | 15 | 15 | 16 | 16 |
| | | 地域清掃ごみ | 5 | 5 | 4 | 4 | 6 | 3 |
| | | 総量に対するもの | 850 | 837 | 827 | 834 | 845 | 835 |
| (g) | 家庭から出る廃棄ごみ量 (1人1日当たり) に対するもの | 405 | 395 | 386 | 386 | 391 | 387 | |
| 注5 | 稼働日数 (日) | 258 | 259 | 259 | 257 | 257 | 259 | |
| 注6 | 燃やせるごみ | 直営車 (台) | 101 | 87 | 77 | 75 | 71 | 71 |
| | | 委託車 (台) | 41 | 49 | 55 | 57 | 61 | 63 |
| | 燃やせないごみ | 直営車 (台) | - | - | - | - | - | - |
| | | 委託車 (台) | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 11 |
| | びん・缶・ペットボトル | 直営車 (台) | 101 | 87 | 77 | 75 | (71) | (71) |
| | | 委託車 (台) | 31 | 30 | 32 | 33 | 33 | 34 |
| | プラスチック | 直営車 (台) | 101 | 87 | - | - | - | - |
| | | 委託車 (台) | 45 | 46 | 47 | 47 | 47 | 47 |
| | 雑がみ | 直営車 (台) | - | - | - | - | - | - |
| | | 委託車 (台) | 21 | 20 | 20 | 20 | 19 | 19 |
| | 枝・葉・草 | 直営車 (台) | - | - | - | - | - | - |
| | | 委託車 (台) | 13 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| | 大型ごみ | 委託車 (台) | 15 | 12 | 12 | 12 | 11 | 11 |
| | 地域清掃ごみ | 委託車 (台) | 5 | 5 | 4 | 4 | 5 | 5 |
| 合計 | (台) | 486 | 446 | 348 | 347 | 342 | 344 | |

注 1. 世帯・人口 ① 世帯及び人口 (実績) は、10月1日現在における国勢調査ベースの数値。(週及修正はしていない。)

2. 収集量 ① 自己搬入量に公社 (ごみ資源化工場) 受入の許可収集分を含む。
 ② 平成21年7月以降、雑がみ及び枝・葉・草の収集を開始する等、分別区分を変更した。
 ③ 枝・葉・草の収集期間は、5月から12月上旬まで (平成21年は7月から11月まで) である。
 ④ 自己搬入の令和6年度には市外搬入 (函館市) を含む。

3. 処理区分 ① 処理区分は、工場・埋立地への処理量を示す。
 ② 焼却灰等は、焼却灰・飛灰及び破碎工場・資源化工場の不燃物を合わせた量。
 ③ 焼却灰リサイクルは平成23年度から開始。

| 項目 | 年度 | 2 (実績) | 3 (実績) | 4 (実績) | 5 (実績) | 6 (実績) | 7 (計画) | |
|----------------------------------|--|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 世帯 | 全市世帯 | 966,009 | 977,768 | 987,855 | 995,320 | 1,003,062 | 1,011,956 | |
| | 注1 作業対象世帯 | 966,009 | 977,768 | 987,855 | 995,320 | 1,003,062 | 1,011,956 | |
| 人口 | 全市人口 (人) | 1,975,065 | 1,973,331 | 1,973,011 | 1,969,912 | 1,969,215 | 1,967,804 | |
| | 注1 作業対象人口 (人) | 1,975,065 | 1,973,331 | 1,973,011 | 1,969,912 | 1,969,215 | 1,967,804 | |
| 実施率 (%) | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | |
| 注2 収集量 | 市 収 集 量 | 燃やせるごみ (t) | 257,899 | 254,807 | 248,825 | 239,482 | 235,478 | 238,300 |
| | | 燃やせないごみ (t) | 15,424 | 13,876 | 13,061 | 12,204 | 11,687 | 11,500 |
| | | びん・缶・ペットボトル (t) | 35,647 | 35,429 | 34,617 | 33,057 | 31,896 | 32,200 |
| | | プラスチック (t) | 31,248 | 31,755 | 31,234 | 30,217 | 29,486 | 29,800 |
| | | 雑がみ (t) | 21,494 | 20,620 | 20,629 | 19,050 | 18,417 | 18,700 |
| | | 枝・葉・草 (t) | 21,233 | 19,437 | 19,143 | 20,012 | 18,277 | 19,500 |
| | | 大型ごみ (t) | 12,763 | 12,139 | 12,189 | 11,302 | 11,188 | 11,400 |
| | | 地域清掃ごみ (t) | 1,678 | 1,320 | 1,518 | 1,572 | 1,576 | 1,500 |
| | | 小計 (t) | 397,386 | 389,384 | 381,216 | 366,896 | 358,005 | 362,900 |
| | | 日量 (t) | 1,540 | 1,503 | 1,472 | 1,417 | 1,382 | 1,401 |
| | そ の 他 | 許可業者収集 (t) | 123,004 | 123,783 | 131,655 | 133,835 | 134,849 | 136,640 |
| | | 自己搬入量 (t) | 71,427 | 53,639 | 57,585 | 54,113 | 58,654 | 56,108 |
| | | 小計 (t) | 194,430 | 177,422 | 189,240 | 187,949 | 193,503 | 192,748 |
| | | 合計 (t) | 591,817 | 566,806 | 570,456 | 554,845 | 551,508 | 555,648 |
| 注3 処理区分 | ご み | 焼却 (t) | 433,547 (73%) | 428,851 (76%) | 429,573 (75%) | 420,693 (76%) | 416,650 (76%) | 423,994 (76%) |
| | | 埋立 (t) | 39,161 (7%) | 22,676 (4%) | 25,923 (5%) | 22,461 (4%) | 27,573 (5%) | 21,884 (4%) |
| | | 資源化 (t) | 9,278 (2%) | 8,823 (2%) | 9,158 (2%) | 9,207 (2%) | 9,099 (2%) | 9,400 (2%) |
| | | 資源物選別 (t) | 109,830 (19%) | 106,455 (19%) | 105,802 (19%) | 102,484 (18%) | 98,186 (18%) | 100,370 (18%) |
| | | 焼却灰等 (t) | 45,757 | 46,350 | 44,873 | 44,021 | 44,511 | 41,237 |
| 焼却灰リサイクル (t) | 18,505 | 17,512 | 17,937 | 17,525 | 19,412 | 21,459 | | |
| 注4 一人一日当たり排出量 | 市 収 集 量 に 対 する もの (数値の単位未満の算出方法は4捨5入を原則としたため、合計数値とその内訳の計が一致しない場合がある) | 燃やせるごみ | 551 | 541 | 529 | 509 | 498 | 505 |
| | | 燃やせないごみ | 358 | 354 | 346 | 332 | 328 | 332 |
| | | びん・缶・ペットボトル | 21 | 19 | 18 | 17 | 16 | 16 |
| | | プラスチック | 49 | 49 | 48 | 46 | 44 | 45 |
| | | 雑がみ | 43 | 44 | 43 | 42 | 41 | 41 |
| | | 枝・葉・草 | 30 | 29 | 29 | 26 | 26 | 26 |
| | | 大型ごみ | 29 | 27 | 27 | 28 | 25 | 27 |
| | | 地域清掃ごみ | 18 | 17 | 17 | 16 | 16 | 16 |
| | | 地域清掃ごみ | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | 総量に対するもの | 821 | 787 | 792 | 770 | 767 | 774 |
| (g) 家庭から出る廃棄ごみ量 (1人1日当たり) に対するもの | 399 | 391 | 382 | 374 | 362 | 366 | | |
| 注5 | 稼働日数 (日) | 258 | 259 | 259 | 259 | 259 | 259 | |
| 注6 車両 | 燃やせるごみ | 直営車 (台) | 71 | 71 | 71 | 71 | 71 | 72 |
| | | 委託車 (台) | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 |
| | 燃やせないごみ | 直営車 (台) | - | - | - | - | - | - |
| | | 委託車 (台) | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 |
| | びん・缶・ペットボトル | 直営車 (台) | (71) | (71) | (71) | (71) | (71) | (72) |
| | | 委託車 (台) | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 | 34 |
| | プラスチック | 直営車 (台) | - | - | - | - | - | - |
| | | 委託車 (台) | 47 | 47 | 47 | 47 | 48 | 48 |
| | 雑がみ | 直営車 (台) | - | - | - | - | - | - |
| | | 委託車 (台) | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 |
| | 枝・葉・草 | 直営車 (台) | - | - | - | - | - | - |
| | | 委託車 (台) | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| | 大型ごみ | 委託車 (台) | 12 | 12 | 12 | 12 | 13 | 13 |
| | 地域清掃ごみ | 委託車 (台) | 5 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 |
| 合計 | (台) | 274 | 274 | 274 | 274 | 277 | 278 | |

注 4. 一人一日当たり排出量

- ① 「市収集量に対するもの」は、市収集量と作業対象人口及び年度日数から算出。
- ② 「総量に対するもの」は、収集量「総量に対するもの」は、収集量合計と全市人口及び年度日数から算出。
- ③ 「家庭から出る廃棄ごみ量 (1人1日当たり) に対するもの」は、燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみ (資源化分除く)、地域清掃ごみの収集量合計と全市人口及び年度日数から算出。

5. 稼働日数

- ① 最も稼働日数が多いごみ種の稼働日数を示している。

6. 車両

- ① 直営車は、予備車及び随時作業車を含んだ稼働可能台数。
- ② 直営車が収集するごみの種別は以下のとおり。
 ~H21 燃やせるごみ、燃やせないごみ、びん・缶・ペットボトル、容器包装プラスチック
 H22~ 燃やせるごみ、びん・缶・ペットボトル、容器包装プラスチック
 H28~ 燃やせるごみ、びん・缶・ペットボトル
- ③ 委託車は、ごみ種ごとの年度総台数を稼働日数で除して算出。

イ 市直営・委託別収集推移

| ごみ区分 | 年度 | 26 (実績) | | 27 (実績) | | 28 (実績) | | 29 (実績) | | 30 (実績) | | 元 (実績) | |
|----------|----|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
| | | 数量 | (%) |
| 燃やせるごみ | 直営 | 164,553 | (65%) | 133,187 | (53%) | 114,779 | (47%) | 110,709 | (45%) | 102,092 | (41%) | 101,495 | (40%) |
| | 委託 | 89,029 | (35%) | 117,348 | (47%) | 131,362 | (53%) | 137,288 | (55%) | 146,480 | (59%) | 149,854 | (60%) |
| 燃やせないごみ | 直営 | 0 | (0%) | 8 | (0%) | 3 | (0%) | 2 | (0%) | 45 | (0%) | - | |
| | 委託 | 19,412 | (100%) | 17,847 | (100%) | 16,345 | (100%) | 15,320 | (100%) | 16,168 | (100%) | 14,278 | (100%) |
| びん・缶・ペット | 直営 | 10,921 | (32%) | 10,476 | (31%) | 8,540 | (25%) | 8,051 | (24%) | 7,588 | (23%) | 7,338 | (22%) |
| | 委託 | 23,423 | (68%) | 23,630 | (69%) | 25,317 | (75%) | 25,445 | (76%) | 26,088 | (77%) | 26,439 | (78%) |
| プラスチック | 直営 | 1,608 | (6%) | 232 | (1%) | 57 | (0%) | 94 | (0%) | 114 | (0%) | 82 | (0%) |
| | 委託 | 27,556 | (94%) | 28,920 | (99%) | 29,015 | (100%) | 29,168 | (100%) | 29,570 | (100%) | 29,972 | (100%) |
| 雑がみ | 直営 | 20 | (0%) | 5 | (0%) | 11 | (0%) | 1 | (0%) | 16 | (0%) | 3 | (0%) |
| | 委託 | 24,776 | (100%) | 23,979 | (100%) | 23,212 | (100%) | 22,946 | (100%) | 22,375 | (100%) | 22,144 | (100%) |
| 枝・葉・草 | 直営 | 54 | (0%) | 50 | (0%) | 47 | (0%) | 130 | (1%) | 142 | (1%) | 60 | (0%) |
| | 委託 | 19,487 | (100%) | 20,376 | (100%) | 19,922 | (100%) | 20,281 | (99%) | 19,139 | (99%) | 18,166 | (100%) |
| 大型ごみ | 委託 | 11,164 | (100%) | 11,026 | (100%) | 10,578 | (100%) | 10,882 | (100%) | 11,768 | (100%) | 11,403 | (100%) |
| 地域清掃ごみ | 直営 | 2,598 | (77%) | 2,722 | (78%) | 2,259 | (75%) | 1,965 | (74%) | 2,766 | (64%) | 1,618 | (79%) |
| | 委託 | 757 | (23%) | 775 | (22%) | 760 | (25%) | 693 | (26%) | 1,544 | (36%) | 430 | (21%) |
| 計 | 直営 | 179,754 | (45%) | 146,679 | (38%) | 125,697 | (33%) | 120,952 | (32%) | 112,763 | (29%) | 110,596 | (29%) |
| | 委託 | 215,604 | (55%) | 243,901 | (62%) | 256,511 | (67%) | 262,022 | (68%) | 273,133 | (71%) | 272,686 | (71%) |
| | 計 | 395,358 | (100%) | 390,581 | (100%) | 382,207 | (100%) | 382,974 | (100%) | 385,896 | (100%) | 383,283 | (100%) |

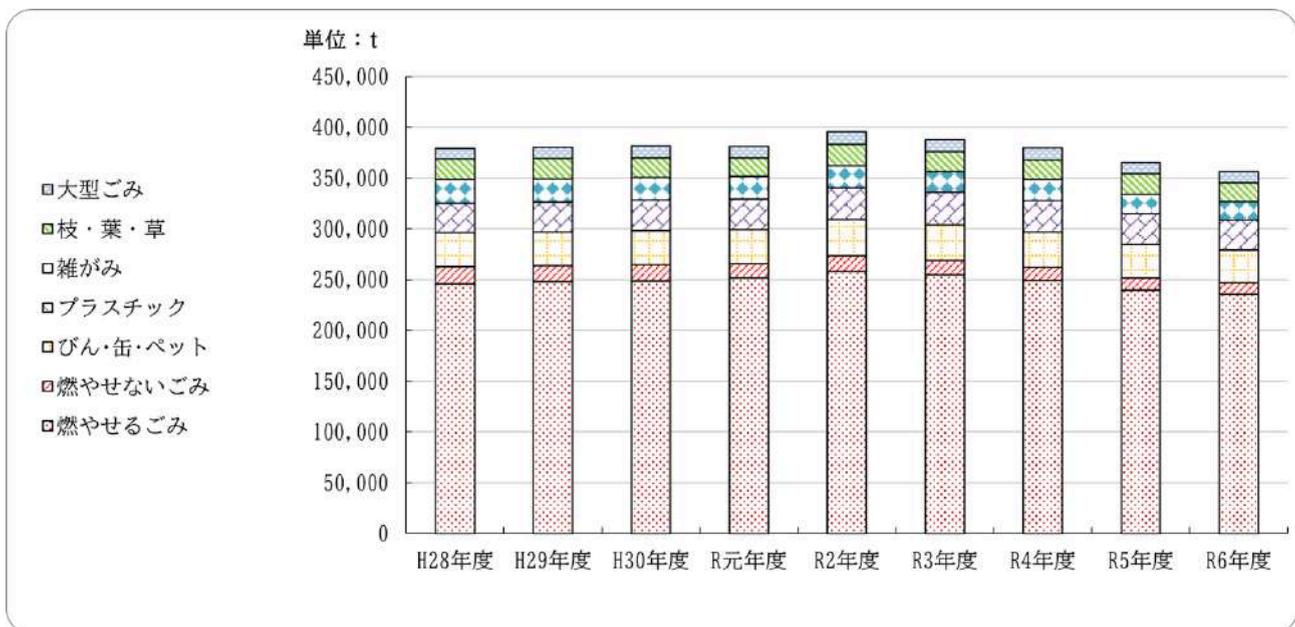
ウ 令和7年度事務所別収集計画 [令和6年度稼働日数 259日 令和7年度稼働日数 259日]

| 区分 | 事務所 | 中央 | 北 | 東 | 白石 | 豊平・南 | 西 | 合計 |
|---|---------|--------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| | | 作業対象人口 | 255,147 (254,586) | 287,591 (287,979) | 263,593 (263,615) | 333,592 (333,606) | 469,820 (470,233) | 358,061 (358,246) |
| 燃やせるごみ、燃やせないごみ、びん・缶・ペット、プラスチック、雑がみ、枝・葉・草、地域清掃ごみ収集量(大型を除く) | 年間量 (t) | 45,173 (44,820) | 51,732 (51,027) | 45,894 (45,236) | 59,174 (58,279) | 85,464 (84,172) | 64,223 (63,281) | 351,659 (346,815) |
| | 日量 (t) | 174 (173) | 200 (197) | 177 (175) | 228 (225) | 330 (325) | 248 (244) | 1,358 (1,339) |
| 一人一日当たり排出量 (g) | | 485 (482) | 493 (485) | 477 (470) | 486 (479) | 498 (490) | 491 (484) | 490 (483) |

- ・上段数値は令和7年度計画、下段の()書き数値は令和6年度実績である。
- ・白石には厚別区、豊平・南には清田区、西には手稲区を含む。
- ・平成30年4月に豊平と南が統合し、豊平・南清掃事務所となった。
- ・各事務所の地域清掃ごみの収集計画量は、全市収集計画量及び前年度の事務所別収集量比率から算出。
- ・日量は、年間量を稼働日数で除したものである。
- ・一人一日当たり排出量は、年間量を作業対象人口及び年間日数で除したものである。
- ・各事務所の大型戸別収集件数(計画)は、全市計画件数及び前年度の事務所別排出比率から算出。
- ・数値の単位未満の算出方法は四捨五入を原則としたため、合計数値とその内訳の計が一致しない場合がある。

| ごみ区分 | | 年度 | 2 (実績) | | 3 (実績) | | 4 (実績) | | 5 (実績) | | 6 (実績) | | 7 (計画) | |
|----------|-----|----|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
| 燃やせるごみ | 直 営 | | 102,483 | (40%) | 102,090 | (40%) | 99,056 | (40%) | 95,364 | (40%) | 92,225 | (39%) | 95,320 | (40%) |
| | 委 託 | | 155,416 | (60%) | 152,718 | (60%) | 149,769 | (60%) | 144,118 | (60%) | 143,253 | (61%) | 142,980 | (60%) |
| 燃やせないごみ | 直 営 | | 0 | (0%) | 31 | (0%) | 2 | (0%) | 3 | (0%) | 0 | (0%) | - | |
| | 委 託 | | 15,423 | (100%) | 13,844 | (100%) | 13,059 | (100%) | 12,201 | (100%) | 11,687 | (100%) | 11,500 | (100%) |
| びん・缶・ペット | 直 営 | | 7,719 | (22%) | 7,549 | (21%) | 7,230 | (21%) | 6,948 | (21%) | 6,727 | (21%) | 6,762 | (21%) |
| | 委 託 | | 27,928 | (78%) | 27,881 | (79%) | 27,387 | (79%) | 26,109 | (79%) | 25,169 | (79%) | 25,438 | (79%) |
| プラスチック | 直 営 | | 66 | (0%) | 93 | (0%) | 65 | (0%) | 81 | (0%) | 98 | (0%) | - | |
| | 委 託 | | 31,182 | (100%) | 31,661 | (100%) | 31,170 | (100%) | 30,136 | (100%) | 29,388 | (100%) | 29,800 | (100%) |
| 雑がみ | 直 営 | | 0 | (0%) | 1 | (0%) | 11 | (0%) | - | | 5 | (0%) | - | |
| | 委 託 | | 21,494 | (100%) | 20,620 | (100%) | 20,618 | (100%) | 19,050 | (100%) | 18,412 | (100%) | 18,700 | (100%) |
| 枝・葉・草 | 直 営 | | 12 | (0%) | 51 | (0%) | 11 | (0%) | 27 | (0%) | 22 | (0%) | - | |
| | 委 託 | | 21,220 | (100%) | 19,386 | (100%) | 19,132 | (100%) | 19,985 | (100%) | 18,255 | (100%) | 19,500 | (100%) |
| 大型ごみ | 委 託 | | 12,763 | (100%) | 12,139 | (100%) | 12,189 | (100%) | 11,302 | (100%) | 11,188 | (100%) | 11,400 | (100%) |
| 地域清掃ごみ | 直 営 | | 1,454 | (87%) | 1,193 | (90%) | 1,389 | (91%) | 1,471 | (94%) | 1,472 | (93%) | 1,350 | (90%) |
| | 委 託 | | 224 | (13%) | 127 | (10%) | 129 | (9%) | 101 | (6%) | 103 | (7%) | 150 | (10%) |
| 計 | 直 営 | | 111,735 | (28%) | 111,008 | (29%) | 107,764 | (28%) | 103,895 | (28%) | 100,548 | (28%) | 103,432 | (29%) |
| | 委 託 | | 285,651 | (72%) | 278,376 | (71%) | 273,452 | (72%) | 263,001 | (72%) | 257,455 | (72%) | 259,468 | (71%) |
| | 計 | | 397,386 | (100%) | 389,384 | (100%) | 381,216 | (100%) | 366,896 | (100%) | 358,003 | (100%) | 362,900 | (100%) |

エ ごみ収集実績量（燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみ、びん・缶・ペットボトル、プラスチック）の推移



(2) 処理実績

(令和6年度)

| 区分 | 施設 | | 搬入区分 | 年間量 | 合計 | 1日平均 | 処理割合 |
|-----------|----------------|---------|---------|---------|--------|------|------|
| | | | | (t) | (t) | (t) | (%) |
| 焼却・ 破碎 | 発寒 | 家庭ごみ | 81,372 | 137,511 | 377 | 24.9 | |
| | | 事業ごみ | 56,140 | | | | |
| | 篠路 | 家庭ごみ | 3,041 | 12,130 | 33 | 2.2 | |
| | | 事業ごみ | 9,089 | | | | |
| | 駒岡 | 家庭ごみ | 71,179 | 113,064 | 310 | 20.5 | |
| | | 事業ごみ | 41,885 | | | | |
| | 白石 | 家庭ごみ | 96,058 | 153,945 | 422 | 27.9 | |
| | | 事業ごみ | 57,887 | | | | |
| 計 | 家庭ごみ | 251,650 | 416,650 | 1,142 | 75.5 | | |
| | 事業ごみ | 165,000 | | | | | |
| 資源化 | 資源選別センター | 中沼 | 家庭ごみ | 21,108 | 21,108 | 58 | 3.8 |
| | | | 事業ごみ | 0 | | | |
| | 駒岡 | 家庭ごみ | 10,788 | 10,788 | 30 | 2.0 | |
| | | 事業ごみ | 0 | | | | |
| | 小計 | 家庭ごみ | 31,896 | 31,896 | 87 | 5.8 | |
| | | 事業ごみ | 0 | | | | |
| | ごみ資源化工場 | 家庭ごみ | 0 | 9,099 | 25 | 1.6 | |
| | | 事業ごみ | 9,099 | | | | |
| | 中沼プラスチック選別センター | 家庭ごみ | 29,486 | 29,486 | 81 | 5.3 | |
| | | 事業ごみ | 0 | | | | |
| | 中沼雑がみ選別センター | 家庭ごみ | 6,910 | 6,910 | 19 | 1.3 | |
| | | 事業ごみ | 0 | | | | |
| | 民間古紙ヤード(雑がみ) | 家庭ごみ | 11,507 | 11,507 | 32 | 2.1 | |
| | | 事業ごみ | 0 | | | | |
| | 枝・葉・草資源化ヤード | 家庭ごみ | 18,277 | 18,277 | 50 | 3.3 | |
| | | 事業ごみ | 0 | | | | |
| | リサイクルプラザ | 家庭ごみ | 111 | 111 | - | - | |
| | | 事業ごみ | 0 | | | | |
| 計 | 家庭ごみ | 98,186 | 107,285 | 294 | 19.5 | | |
| | 事業ごみ | 9,099 | | | | | |
| 埋立 | 山本 | 家庭ごみ | 6,071 | 6,489 | 18 | 1.2 | |
| | | 事業ごみ | 417 | | | | |
| | 山口 | 家庭ごみ | 2,098 | 21,084 | 58 | 3.8 | |
| | | 事業ごみ | 18,987 | | | | |
| | 計 | 家庭ごみ | 8,169 | 27,573 | 76 | 5.0 | |
| | | 事業ごみ | 19,404 | | | | |
| 合計 | 家庭ごみ | 358,005 | 551,508 | 1,507 | 100.0 | | |
| | 事業ごみ | 193,503 | | | | | |

(注) 1 家庭ごみとは、燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみ、びん・缶・ペットボトル、容器包装プラスチック、雑がみ、枝・葉・草、地域清掃ごみの収集したごみをいう。

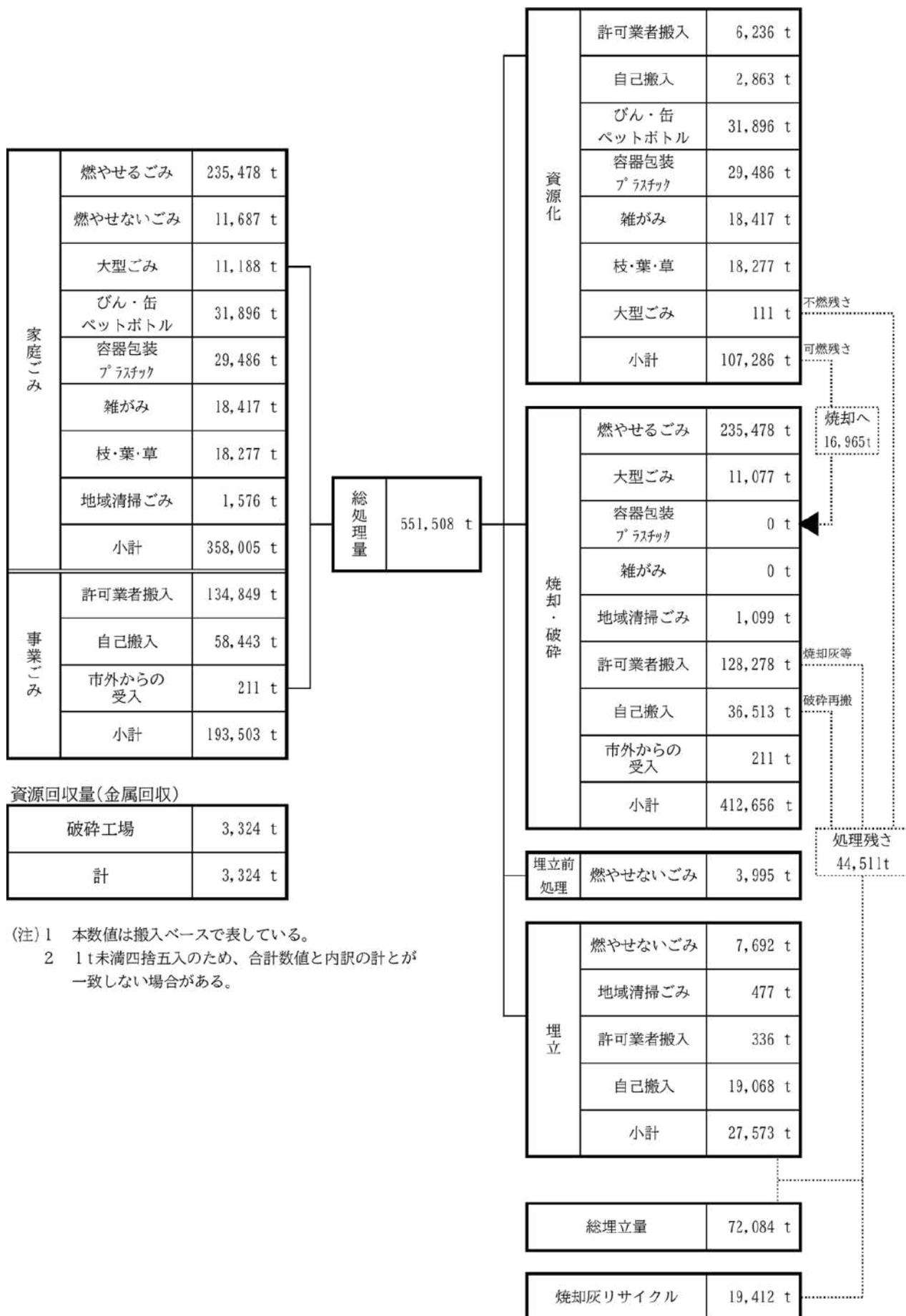
2 事業ごみとは、許可業者搬入、自己搬入のごみをいう。

3 1日平均は、年間量を365日で除した。

4 小数点以下四捨五入のため、合計数値の内訳と計が一致しない場合がある。

5 篠路清掃工場はH23.3末に廃止し、破碎施設のみ継続稼働中。

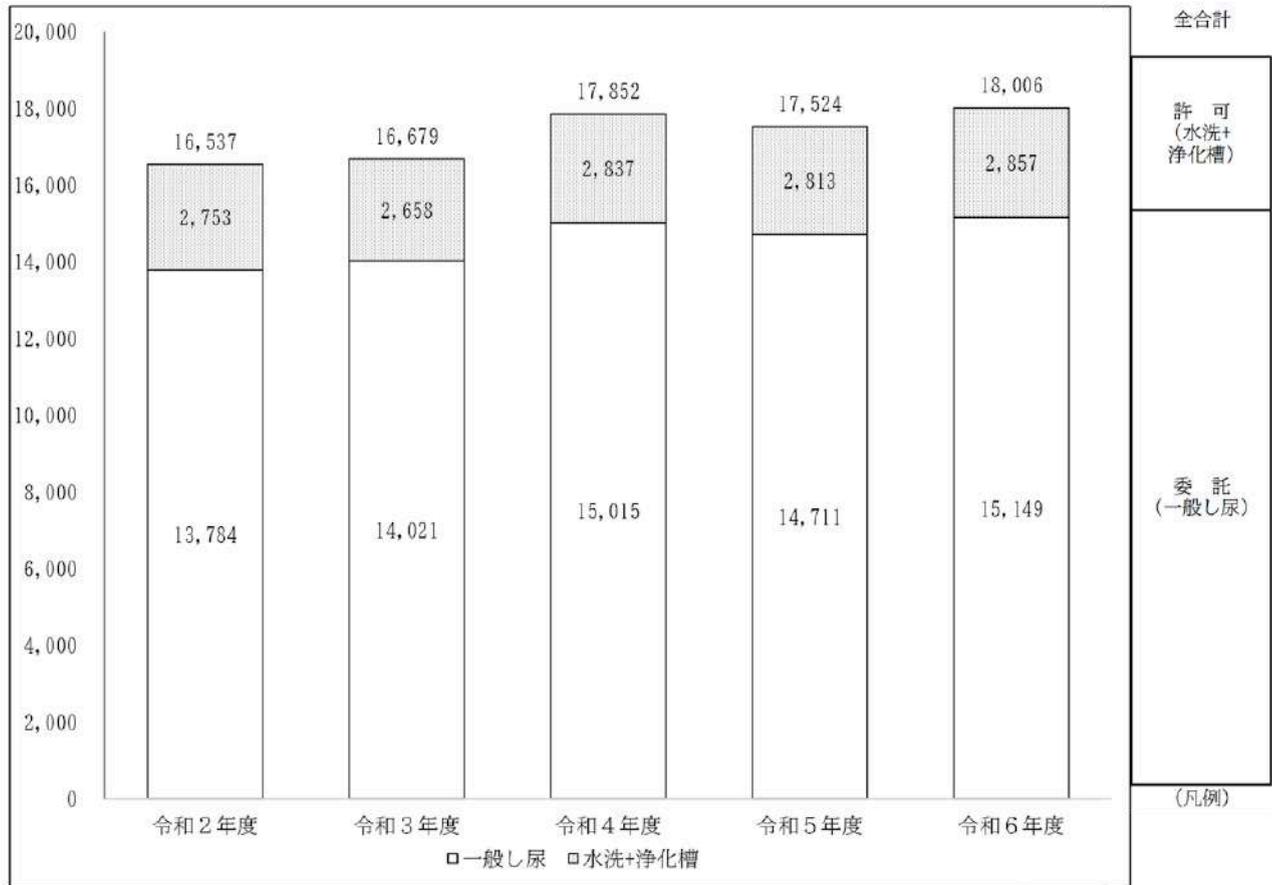
(令和6年度ごみ処理実績)



(注) 1 本数値は搬入ベースで表している。
 2 1 t未満四捨五入のため、合計数値と内訳の計とが一致しない場合がある。

3 し尿処理関係

(1) 処理量の推移



| 項目 | | 年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|---------|------------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 人口 | 全市人口(人) | | 1,969,686 | 1,974,212 | 1,970,407 | 1,969,004 | 1,953,181 |
| | (浄化槽人口) | | (1,292) | (1,409) | (1,457) | (1,445) | (1,403) |
| 要収集率(%) | 要収集率(%) | | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.4 |
| | 委託 | | 13,784 | 14,021 | 15,015 | 14,711 | 15,149 |
| 収集量 | 許可 | | 2,753 | 2,658 | 2,837 | 2,813 | 2,857 |
| | 計 | | 16,537 | 16,679 | 17,852 | 17,524 | 18,006 |
| 排泄量 | 1人当たり/年(L) | | 1,771 | 1,811 | 2,014 | 2,533 | 2,519 |
| | 1人当たり/日(L) | | 4.84 | 4.96 | 5.52 | 6.94 | 6.90 |
| 収集車稼働日数 | 委託(台) | | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| | 許可(台) | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 処理 | 消化科学処理 | | — | — | — | — | — |
| | 下水道に投入 | | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% |

備考

- 4月1日現在の国勢調査ベース推計人口。
- 委託は、一般し尿の収集である。
- 許可は、浄化槽汚泥及び水洗式くみ取り便所の収集である。
- 1人当たりの排泄量は、仮設分・許可分を除く。

(2) 処理量の内訳

(令和6年度)

| 処理区分 | 処理場 | 自治体 | 種別 | 年間量内訳 (kL) | 1日平均 (kL) | 処理割合 (1) | 処理割合 (2) |
|--------|----------|-----|-------|---------------|--------------|-------------|-------------|
| 下水道に投入 | クリーンセンター | 札幌市 | 一般し尿 | 15,149 | 41 | 84.1% | 68.4% |
| | | | 水洗し尿 | 305 | 1 | 1.7% | |
| | | | 浄化槽汚泥 | 2,552 | 7 | 14.2% | |
| | | | 小計 | 18,006 | 49 | 100.0% | |
| | | 石狩市 | し尿 | 4,247 | 12 | 79.3% | 20.4% |
| | | | 浄化槽汚泥 | 1,110 | 3 | 20.7% | |
| | | | 小計 | 5,357 | 15 | 100.0% | |
| | | 当別町 | し尿 | 2,226 | 6 | 75.6% | 11.2% |
| | | | 浄化槽汚泥 | 717 | 2 | 24.4% | |
| | | | 小計 | 2,943 | 8 | 100.0% | |
| 合計 | | | | 26,306 | 72 | | 100.0% |

注 ○ 1日平均処理量は366日で除した。
○ 1kL以下は四捨五入のため、合計数値と内訳とが一致しない場合がある。
○ 平成28年10月より石狩市、当別町のし尿受入開始。

4 清掃車両整備実績

(単位：台)

| 項目 | 年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|----|------|-------|--------|-------|-------|
| | | 整備対象車 | ごみ収集車両 | 71 | 71 |
| | | その他車両 | 72 | 72 | 72 |
| | | 計 | 143 | 143 | 143 |
| 車検 | 自家整備 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 外注整備 | 121 | 135 | 119 | 131 |
| | 計 | 121 | 135 | 119 | 131 |
| 定期 | 自家整備 | 546 | 538 | 529 | 543 |
| | 外注整備 | 321 | 269 | 280 | 260 |
| | 計 | 867 | 807 | 809 | 803 |
| 臨時 | 自家整備 | 936 | 1,045 | 1,074 | 1,234 |
| | 外注整備 | 196 | 210 | 203 | 222 |
| | 計 | 1,132 | 1,255 | 1,277 | 1,456 |
| 計 | 自家整備 | 1,482 | 1,583 | 1,603 | 1,777 |
| | 外注整備 | 638 | 614 | 602 | 613 |
| | 総計 | 2,120 | 2,197 | 2,205 | 2,390 |

5 清掃車両稼働実績

令和6年度 車種別整備実績表

| 用途 | 区分 車種 | 車両台数 | 走行キロ数 | | 燃料費 | | | |
|------------|-------------|------|--------------|---------------|---------|--------------|------------------|-----------------|
| | | | 計(km) (A) | 1台当たりの キロ数 | 消費量(ℓ) | 金額(円) (B) | 1台当たりの 消費量(ℓ) | 1台当たりの 金額(円) |
| | ごみ収集車 | 71 | 1,256,018 | 17,690 | 410,441 | 73,694,546 | 5,781 | 1,037,951 |
| 処理場管理 | 汚泥ポンプ車 | 1 | 929 | 929 | 245 | 43,990 | 245 | 43,990 |
| | ダンプ車 | 2 | 37,179 | 18,590 | 17,539 | 3,149,122 | 8,770 | 1,574,561 |
| | 処理場管理車 | 2 | 27,562 | 13,781 | 1,653 | 296,796 | 827 | 148,398 |
| | 埋立地人員輸送車 | 8 | 41,574 | 5,197 | 5,865 | 1,053,059 | 733 | 131,632 |
| | 補修資材運搬車 | 1 | 19,225 | 19,225 | 7,374 | 1,323,999 | 7,374 | 1,323,999 |
| | 施設管理車 | 1 | 17,094 | 17,094 | 2,174 | 390,341 | 2,174 | 390,341 |
| 各種指導 | 清掃指導車 | 8 | 35,899 | 4,487 | 4,454 | 799,714 | 557 | 99,964 |
| | サンプリング車 | 1 | 1,763 | 1,763 | 193 | 34,653 | 193 | 34,653 |
| | 事業廃棄物指導車 | 1 | 7,341 | 7,341 | 1,419 | 254,781 | 1,419 | 254,781 |
| | 巡回サービス車 | 1 | 1,617 | 1,617 | — | — | — | — |
| | 清掃パトロール車 | 15 | 106,200 | 7,080 | 15,523 | 2,787,150 | 1,035 | 185,810 |
| | 美化パトロール車 | 17 | 263,188 | 15,482 | 44,761 | 8,036,823 | 2,633 | 472,754 |
| 清掃工場管理 | 清掃工場管理車 | 4 | 28,659 | 7,165 | 1,299 | 233,235 | 325 | 58,309 |
| | 清掃工場作業車 | 1 | 1,254 | 1,254 | 63 | 11,312 | 63 | 11,312 |
| 普及啓発 | 展示車(スケルトン車) | 2 | 3,327 | 1,664 | — | — | — | — |
| 小 計 | | 136 | 1,848,829 | | 513,003 | 92,109,519 | | |

| | | | | | | | | |
|------------|---------|---|--|--|--|--|--|--|
| 特殊作業 | フォークリフト | 2 | | | | | | |
| | ショベルローダ | 5 | | | | | | |
| 小 計 | | 7 | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|------------|--|-----|--|--|---------|------------|--|--|
| 合 計 | | 143 | | | 513,003 | 92,109,519 | | |
|------------|--|-----|--|--|---------|------------|--|--|

※令和6年度より、巡回サービス車・展示車（スケルトン車）の燃料費について集計を行っていない。

| 整備費 | | | 清掃車両等用品費 | | 整備費等 (円) | | 1台当 りの維 持費 (円) | 1km当 たりの 整備費 等 (円) | 1km当 たりの 維持費 (円) |
|------------|-------------|-------------|------------------|--------------------------|------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 外注費 | | | 計 (円) (C) | 1台当 たりの 整備費 (円) | 計 (円) (D) | 1台当 たりの 費用 (円) | | | |
| 車検(円) | 定期整備 (円) | 臨時修繕 (円) | | | | | | | |
| 58,992,902 | 19,529,877 | 20,695,295 | 99,218,074 | 1,397,438 | 21,961,395 | 309,315 | 194,874,015 | 2,744,704 | 155 |
| 448,305 | 30,866 | 13,200 | 492,371 | 492,371 | 273,900 | 273,900 | 810,261 | 810,261 | 872 |
| 2,619,551 | 406,725 | 445,631 | 3,471,907 | 1,735,954 | 1,069,646 | 534,823 | 7,690,675 | 3,845,337 | 207 |
| 378,378 | 14,927 | 0 | 393,305 | 196,653 | 88,000 | 44,000 | 778,101 | 389,050 | 28 |
| 3,045,209 | 548,630 | 98,103 | 3,691,942 | 461,493 | 387,050 | 48,381 | 5,132,051 | 641,506 | 123 |
| 1,628,803 | 352,550 | 493,869 | 2,475,222 | 2,475,222 | 495,000 | 495,000 | 4,294,221 | 4,294,221 | 223 |
| 241,351 | 13,310 | 84,466 | 339,127 | 339,127 | 1,052 | 1,052 | 730,520 | 730,520 | 43 |
| 1,484,043 | 75,622 | 167,189 | 1,726,854 | 215,857 | 214,720 | 26,840 | 2,741,288 | 342,661 | 76 |
| 150,810 | 0 | 0 | 150,810 | 150,810 | 0 | 0 | 185,463 | 185,463 | 105 |
| 377,965 | 4,262 | 426,415 | 808,642 | 808,642 | 0 | 0 | 1,063,423 | 1,063,423 | 145 |
| 187,000 | 23,507 | 0 | 210,507 | 210,507 | 0 | 0 | 210,507 | 210,507 | 130 |
| 4,165,986 | 306,350 | 84,612 | 4,556,948 | 303,797 | 1,371,603 | 91,440 | 8,715,701 | 581,047 | 82 |
| 5,136,802 | 525,630 | 727,782 | 6,390,214 | 375,895 | 1,591,150 | 93,597 | 16,018,187 | 942,246 | 61 |
| 0 | 134,916 | 0 | 134,916 | 33,729 | 6,693 | 1,673 | 374,844 | 93,711 | 13 |
| 297,000 | 21,186 | 0 | 318,186 | 318,186 | 0 | 0 | 329,498 | 329,498 | 263 |
| 1,206,436 | 369,930 | 0 | 1,576,366 | 788,183 | 0 | 0 | 1,576,366 | 788,183 | 474 |
| 80,360,541 | 22,358,288 | 23,236,562 | 125,955,391 | | 27,460,209 | | 245,525,119 | | |

| | | | | | | | | | |
|---|---------|--------|---------|---------|---------|--------|-----------|---------|--|
| 0 | 191,147 | 0 | 191,147 | 95,574 | 0 | 0 | 191,147 | 95,574 | |
| 0 | 657,899 | 40,278 | 698,177 | 139,635 | 374,000 | 74,800 | 1,072,177 | 214,435 | |
| 0 | 849,046 | 40,278 | 889,324 | | 374,000 | | 1,263,324 | | |

| | | | | | | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|--|------------|--|-------------|--|--|
| 80,360,541 | 23,207,334 | 23,276,840 | 126,844,715 | | 27,834,209 | | 246,788,443 | | |
|------------|------------|------------|-------------|--|------------|--|-------------|--|--|

6 令和6年度清掃事業関係決算

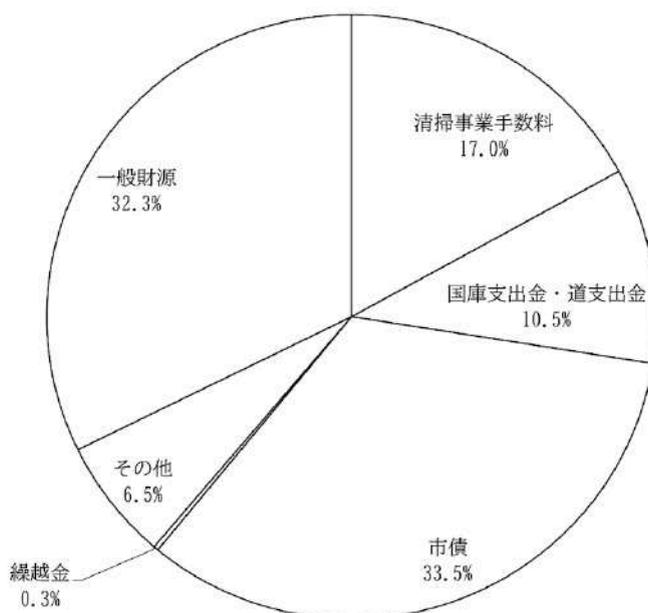
(1) 歳入歳出額

(単位：円)

| 歳入 | | 歳出 | |
|-------------------|-----------------------|-------------------|-----------------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 分担金及び負担金 | 84,340,094 | ごみ処理費 | 14,308,453,029 |
| 環境費使用料・環境庁舎施設等使用料 | 14,344,599 | 清掃車両等管理・購入費 | 482,464,192 |
| 環境費手数料・清掃事業手数料 | 7,669,543,440 | ごみ処理施設等建設・整備費 | 25,371,933,692 |
| (家庭ごみ処理手数料) | 3,605,756,200 | (ごみ処理費計) | 40,162,850,913 |
| (ごみ処分手数料) | 3,816,520,492 | | |
| (し尿処理手数料) | 228,401,808 | し尿処理費 | 377,669,061 |
| (その他) | 18,864,940 | (し尿処理費計) | 377,669,061 |
| 国庫支出金・環境費交付金 | 4,715,409,000 | | |
| 道支出金 | 245,992 | (清掃事業費計) | 40,540,519,974 |
| 財産収入 | 80,600,344 | | |
| (貸家料) | 16,083,968 | 職員費・職員給与(清掃関係職員分) | 4,538,671,682 |
| (貸地料) | 57,231,510 | | |
| (生産物売払) | 7,284,866 | | |
| 環境費寄附金 | 1,000,000 | | |
| 特別会計繰入金・基金会計 | 6,642,893 | | |
| 繰越金 | 115,000,000 | | |
| 延滞金加算金及び過料 | 63,000 | | |
| 受託事業収入及び清掃受託金 | 70,326,309 | | |
| 環境費雑入 | 2,682,808,919 | | |
| (資源物リサイクル事業収入) | 1,212,540,517 | | |
| (清掃事業収入) | 1,450,850,398 | | |
| (環境その他雑入) | 19,418,004 | | |
| 市債 | 15,099,000,000 | | |
| 特定財源計 | 30,539,324,590 | | |
| 一般財源 | 14,539,867,066 | | |
| 一般財源計 | 14,539,867,066 | | |
| 合計 | 45,079,191,656 | 合計 | 45,079,191,656 |

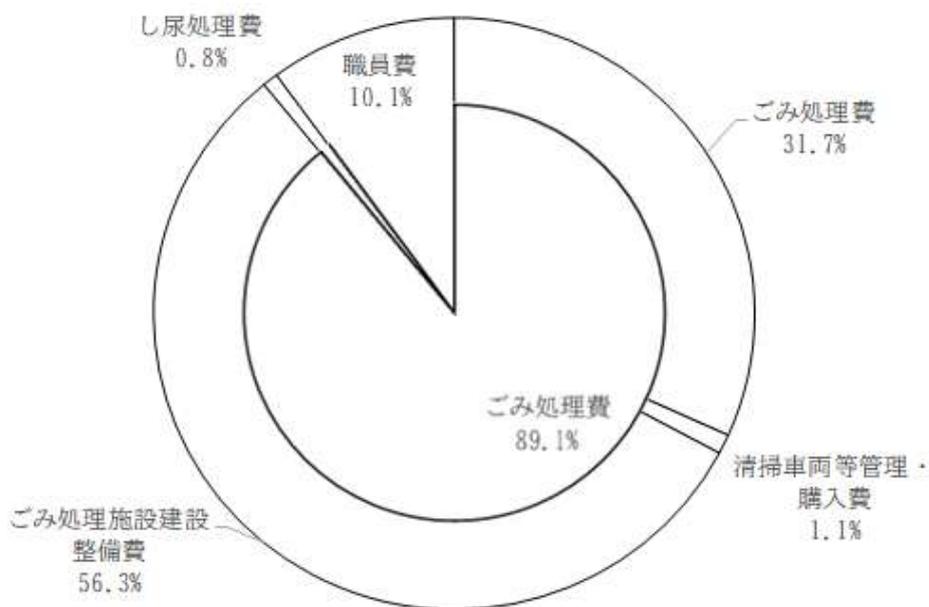
(決算額)

〈歳入の割合〉



| その他内訳 | 金額 | 割合 |
|-------|---------------|-------|
| 負担金 | 84,340,094 | 0.19% |
| 使用料 | 14,344,599 | 0.03% |
| 財産収入 | 80,600,344 | 0.18% |
| 寄附金 | 1,000,000 | 0.00% |
| 基金 | 6,642,893 | 0.01% |
| 過料 | 63,000 | 0.00% |
| 清掃受託金 | 70,326,309 | 0.16% |
| 環境費雑入 | 2,682,808,919 | 5.95% |

〈歳出の割合〉



(2) 歳入歳出決算額の推移

①歳入決算額

(単位：円)

| | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 環境費手数料・清掃事業手数料 | 7,610,695,115 | 7,847,412,283 | 7,988,790,142 | 8,045,386,512 | 7,648,531,914 | 7,526,207,287 | 7,655,625,185 | 7,528,451,804 | 7,669,543,440 | 7,726,388,000 |
| 家庭ごみ処理手数料 | 3,310,459,860 | 3,424,482,640 | 3,459,188,360 | 3,582,206,600 | 3,595,632,200 | 3,811,731,000 | 3,691,699,400 | 3,596,592,500 | 3,605,756,200 | 3,633,572,000 |
| ごみ処分手数料 | 4,098,538,654 | 4,212,395,876 | 4,313,905,652 | 4,254,777,682 | 3,826,320,004 | 3,485,146,607 | 3,720,287,665 | 3,690,665,339 | 3,816,520,492 | 3,807,289,000 |
| し尿処理手数料 | 188,230,841 | 192,031,517 | 199,662,380 | 191,916,890 | 211,691,060 | 214,222,240 | 226,838,010 | 223,754,435 | 228,401,808 | 267,629,000 |
| その他 | 13,465,760 | 18,502,250 | 16,033,750 | 16,485,340 | 14,888,650 | 15,107,440 | 16,800,110 | 17,439,530 | 18,864,940 | 17,898,000 |
| 国庫支出金・道支出金 | 9,062,800 | 5,646,900 | 6,399,560 | 8,933,914 | 8,281,600 | 95,266,622 | 1,059,625,629 | 5,776,253,178 | 4,715,654,992 | 3,302,117,000 |
| その他 | 2,145,774,778 | 2,680,761,792 | 2,633,020,488 | 2,313,334,432 | 2,295,637,757 | 4,960,662,773 | 3,030,714,822 | 3,871,720,785 | 2,940,126,158 | 3,110,312,000 |
| 市債 | 2,244,000,000 | 2,039,000,000 | 2,855,000,000 | 1,302,000,000 | 1,672,000,000 | 2,300,000,000 | 4,629,000,000 | 12,330,000,000 | 15,099,000,000 | 10,500,000,000 |
| 繰越金 | 0 | 0 | 0 | 2,000,000 | 25,590,000 | 278,000 | 0 | 95,807,000 | 115,000,000 | 0 |
| 一般財源 | 9,890,254,889 | 8,794,235,384 | 8,465,195,408 | 9,251,409,634 | 9,268,287,683 | 6,818,075,176 | 10,802,757,347 | 12,007,452,935 | 14,539,867,066 | 13,494,444,000 |
| 合計 | 21,899,787,582 | 21,367,056,359 | 21,948,405,598 | 20,923,064,492 | 20,918,328,954 | 21,700,489,858 | 27,177,722,983 | 41,609,685,702 | 45,079,191,656 | 38,133,261,000 |

※令和7年度の数値は当初予算額である。

②歳出決算額

(単位：円)

| | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| ごみ処理費 | 16,311,617,552 | 15,866,613,057 | 16,818,474,850 | 15,796,646,324 | 15,999,500,588 | 16,902,696,802 | 22,275,716,373 | 36,811,617,815 | 40,162,850,913 | 32,902,271,000 |
| ごみ処理費 | 11,798,372,317 | 11,680,259,257 | 11,943,283,046 | 11,929,123,885 | 11,936,496,164 | 12,570,525,261 | 13,380,807,830 | 14,194,428,584 | 14,308,453,029 | 16,702,227,000 |
| 清掃車両等管理・購入費 | 313,096,057 | 304,459,738 | 317,582,332 | 311,474,192 | 292,514,997 | 327,082,130 | 367,631,250 | 279,682,119 | 482,464,192 | 407,205,000 |
| ごみ処理施設等建設・整備費 | 4,200,149,178 | 3,881,894,062 | 4,483,347,243 | 3,546,497,247 | 3,770,489,427 | 4,005,089,411 | 8,527,277,293 | 22,337,507,112 | 25,371,933,692 | 15,792,839,000 |
| その他ごみ処理関係費 | 0 | 0 | 74,262,229 | 9,551,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| し尿処理費 | 309,357,004 | 307,220,271 | 316,331,460 | 311,747,037 | 335,202,102 | 328,184,350 | 365,202,782 | 382,376,713 | 377,669,061 | 398,872,000 |
| し尿処理費 | 309,357,004 | 307,220,271 | 316,331,460 | 311,747,037 | 335,202,102 | 328,184,350 | 365,202,782 | 382,376,713 | 377,669,061 | 398,872,000 |
| 職員費・職員給与(清掃関係分) | 5,278,813,026 | 5,193,223,031 | 4,837,599,288 | 4,814,671,131 | 4,583,626,264 | 4,469,608,706 | 4,536,803,828 | 4,415,691,174 | 4,538,671,682 | 4,832,118,000 |
| 合計 | 21,899,787,582 | 21,367,056,359 | 21,972,405,598 | 20,923,064,492 | 20,918,328,954 | 21,700,489,858 | 27,177,722,983 | 41,609,685,702 | 45,079,191,656 | 38,133,261,000 |

※令和7年度の数値は当初予算額である。

(3) 手数料収入

ア ごみ処分手数料の収入実績表

(単位：千円)

| 年度 | 現年度手数料 | | | 過年度手数料 | | |
|----|-----------|-----------|--------|--------|-----|------|
| | 調定額 | 収入額 | 収入率 | 調定額 | 収入額 | 収入率 |
| 2 | 3,826,320 | 3,826,320 | 100.0% | 6 | 0 | 0.0% |
| 3 | 3,485,147 | 3,485,147 | 100.0% | 6 | 0 | 0.0% |
| 4 | 3,720,288 | 3,720,288 | 100.0% | 0 | 0 | 0.0% |
| 5 | 3,690,665 | 3,690,665 | 100.0% | 0 | 0 | 0.0% |
| 6 | 3,816,520 | 3,816,520 | 100.0% | 0 | 0 | 0.0% |

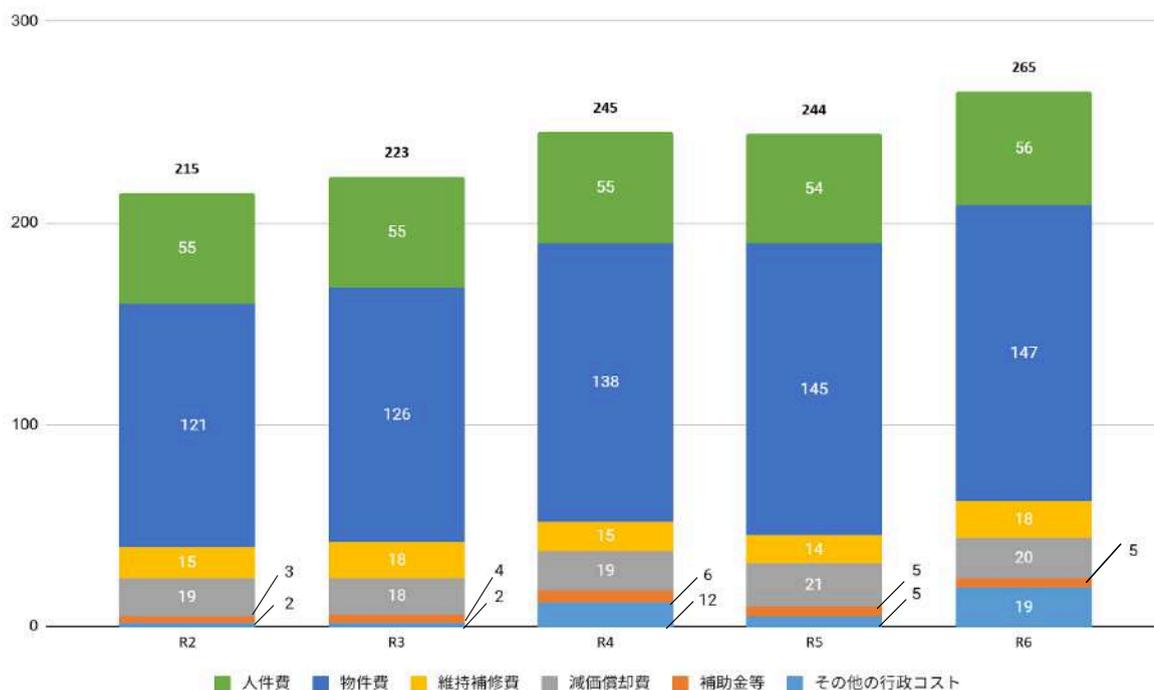
イ し尿処理手数料の収入実績表

(単位：千円)

| 年度 | 現年度手数料 | | | 過年度手数料 | | |
|----|---------|---------|-------|--------|-------|-------|
| | 調定額 | 収入額 | 収入率 | 調定額 | 収入額 | 収入率 |
| 2 | 211,340 | 190,824 | 90.3% | 1,931 | 1,098 | 56.9% |
| 3 | 214,213 | 213,496 | 99.7% | 1,420 | 726 | 51.1% |
| 4 | 227,133 | 226,130 | 99.6% | 1,306 | 708 | 54.2% |
| 5 | 223,851 | 222,995 | 99.6% | 1,529 | 760 | 49.7% |
| 6 | 228,790 | 227,585 | 99.5% | 1,537 | 817 | 53.2% |

(4) ごみ処理に係る行政コストの経年比較

行政コストは、一会計年度の費用の総額を示すものです。令和6年度のごみ処理に係る行政コストは、約265億円です。



従来から自治体の会計は、現金の収支を重視する現金主義が採用されていますが（66頁参照）、単年度の決算のみでは清掃工場等の施設建設の有無などにより年度間で大きく異なるため、経年比較等の分析は困難です。

このため、ごみ処理にかかるコストを分析し、より適切にごみ処理事業を運営していくため、企業会計が採用する発生主義に基づく会計資料を作成しています。発生主義に基づくことで、減価償却費など

の現金支出を伴わない費用を含めた正確なコストを把握するとともに、現金主義会計資料を補完しています。

(5) ごみ種別の1トンあたりの処理原価（令和6年度決算見込み）

処理原価は、費用の総額（(4)行政コスト参照）から、管理部門の費用（各種計画策定、普及啓発など）や臨時に発生する費用（施設の解体、災害復旧など）を除き計上したものです。



※自己搬入は、清掃工場等に直接搬入されるごみを処理する場合を指します。

<参考>

上記(4)「行政コスト」、(5)「処理原価」は、令和3年に環境省が策定した「(改訂)一般廃棄物会計基準」に則し算定しています。

7 ごみの組成

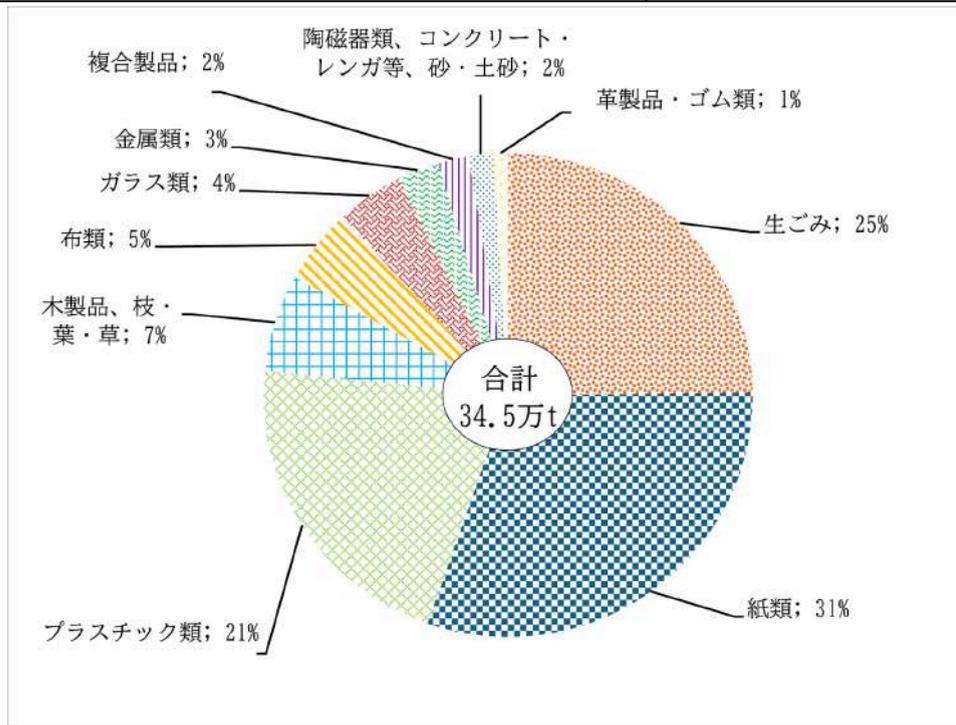
(1) 家庭ごみ

令和6年度家庭系一般廃棄物組成調査に基づく推計値

(対象：ごみステーションに排出されたもの)

ア 組成比率及び排出量（推計）

| 大分類 | 排出量（推計） |
|-------------------------|---------------|
| 1 生ごみ | 8.6万t (25%) |
| 2 紙類 | 10.5万t (31%) |
| 3 プラスチック類 | 7.3万t (21%) |
| 4 木製品、枝・葉・草 | 2.3万t (7%) |
| 5 布類 | 1.7万t (5%) |
| 6 ガラス類 | 1.5万t (4%) |
| 7 金属類 | 0.9万t (3%) |
| 8 複合製品 | 0.7万t (2%) |
| 9 陶磁器類、コンクリート・レンガ等、砂・土砂 | 0.6万t (2%) |
| 10 革製品・ゴム類 | 0.3万t (1%) |
| 合計 | 34.5万t (100%) |



※端数を四捨五入したため、合計が100%にならない場合があります。

イ 排出量（推計）の推移

| 大分類 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|
| 1 生ごみ | 9.9万t 26% | 9.6万t 26% | 10.5万t 28% | 9.9万t 27% | 10.3万t 28% | 10.6万t 28% | 9.4万t 25% | 8.9万t 24.1万t | 8.9万t 25% | 8.6万t 25% |
| 2 紙類 | 10.6万t 28% | 10.8万t 29% | 10.0万t 27% | 9.9万t 27% | 10.4万t 28% | 10.5万t 28% | 11.3万t 30% | 11.3万t 31% | 10.6万t 30% | 10.5万t 31% |
| 3 プラスチック類 | 6.9万t 18% | 7.1万t 19% | 6.3万t 17% | 6.8万t 18% | 6.8万t 18% | 7.0万t 18% | 7.7万t 20% | 7.5万t 20% | 7.4万t 21% | 7.3万t 21% |
| 4 木製品、枝・葉・草 | 2.5万t 7% | 2.4万t 7% | 2.9万t 8% | 2.6万t 7% | 2.1万t 6% | 2.5万t 6% | 2.6万t 7% | 2.4万t 7% | 2.6万t 7% | 2.3万t 7% |
| 5 布類 | 2.8万t 7% | 2.0万t 5% | 2.0万t 5% | 1.8万t 5% | 1.7万t 4% | 1.7万t 4% | 1.9万t 5% | 2.1万t 6% | 1.8万t 5% | 1.7万t 5% |
| 6 ガラス類 | 2.0万t 5% | 2.0万t 5% | 2.2万t 6% | 1.8万t 5% | 1.7万t 5% | 1.7万t 4% | 1.7万t 4% | 1.6万t 4% | 1.5万t 4% | 1.5万t 4% |
| 7 金属類 | 1.2万t 3% | 1.1万t 3% | 1.0万t 3% | 1.1万t 3% | 1.0万t 3% | 1.1万t 3% | 1.3万t 3% | 1.3万t 3% | 1.0万t 3% | 0.9万t 3% |
| 8 複合製品 | 0.7万t 2% | 0.8万t 2% | 0.8万t 2% | 0.7万t 2% | 0.7万t 2% | 0.8万t 2% | 0.8万t 2% | 0.6万t 2% | 0.6万t 2% | 0.6万t 2% |
| 9 陶磁器類、コンクリート・レンガ等、砂・土砂 | 0.8万t 2% | 0.6万t 2% | 0.9万t 3% | 2.0万t 6% | 1.9万t 5% | 2.0万t 5% | 0.8万t 2% | 0.5万t 1% | 0.6万t 2% | 0.7万t 2% |
| 10 革製品・ゴム類 | 0.4万t 1% | 0.5万t 1% | 0.4万t 1% | 0.4万t 1% | 0.4万t 1% | 0.4万t 1% | 0.3万t 1% | 0.5万t 1% | 0.3万t 1% | 0.3万t 1% |
| 合計 | 37.6万t 100% | 36.9万t 100% | 36.9万t 100% | 37.0万t 100% | 37.0万t 100% | 38.2万t 100% | 37.6万t 100% | 36.8万t 100% | 35.4万t 100% | 34.5万t 100% |

ウ 分別協力率（びん・缶・ペットボトル、容器包装プラスチック、雑がみ、枝・葉・草）

※適正排出量とは、札幌市の収集区分に対して適正に排出された量

| 収集区分 | 排出量（推計） | 適正排出量（推計） | 分別協力率 |
|-------------|---------|-----------|-------|
| びん・缶・ペットボトル | 29,646t | 28,733t | 97% |
| びん | 13,074t | 12,787t | 98% |
| 缶 | 6,361t | 6,106t | 96% |
| ペットボトル | 10,211t | 9,840t | 96% |
| 容器包装プラスチック | 50,877t | 27,096t | 53% |
| 雑がみ | 20,282t | 11,764t | 58% |
| 枝・葉・草 | 20,527t | 17,716t | 86% |

エ 分別協力率の推移

| 収集区分 | 分別協力率 | | | | | | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
| びん・缶・ペットボトル | 96% | 94% | 96% | 95% | 97% | 97% | 96% | 94% | 97% | 97% |
| びん | 97% | 95% | 97% | 95% | 96% | 96% | 96% | 99% | 96% | 98% |
| 缶 | 94% | 96% | 96% | 96% | 95% | 95% | 97% | 97% | 98% | 96% |
| ペットボトル | 96% | 93% | 95% | 95% | 98% | 98% | 95% | 86% | 97% | 96% |
| 容器包装プラスチック | 55% | 53% | 68% | 57% | 59% | 59% | 57% | 59% | 56% | 53% |
| 雑がみ | 61% | 58% | 52% | 59% | 54% | 52% | 56% | 58% | 57% | 58% |
| 枝・葉・草 | 89% | 86% | 83% | 85% | 91% | 92% | 90% | 87% | 82% | 86% |

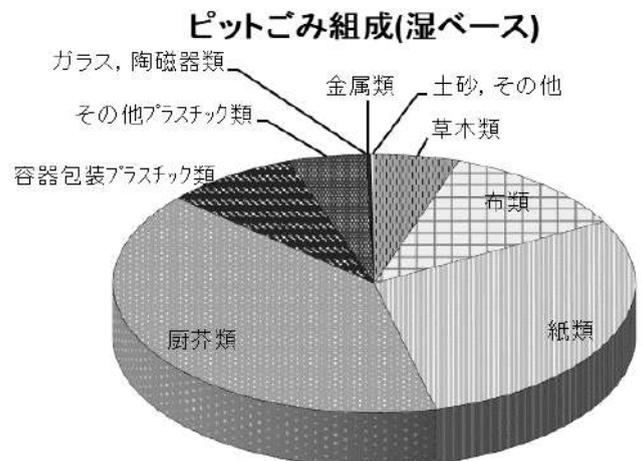
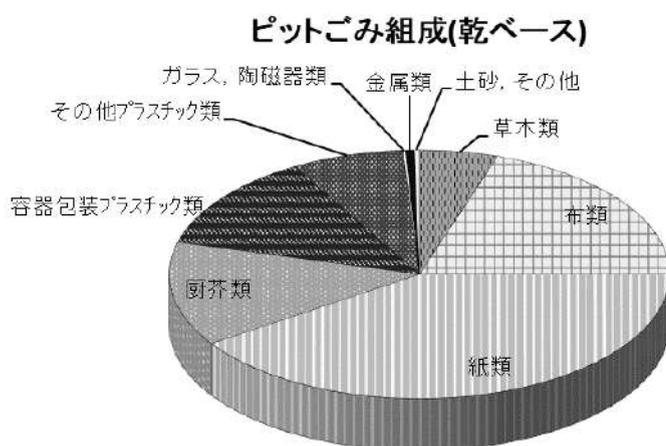
(2) ピットごみ（清掃工場に搬入されたもの） 【令和6年度検査結果より】

ア ピットごみ物質組成

| 清 掃 工 場 名 | | 湿ベース | | | | 乾ベース | | | |
|--------------------|-----------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 発寒 | 駒岡 | 白石 | 平均 | 発寒 | 駒岡 | 白石 | 平均 |
| 可燃物 | 草木類 (%) | 5.9 | 5.6 | 4.3 | 5.3 | 5.6 | 4.9 | 4.6 | 5.1 |
| | 布類 (%) | 12.8 | 11.1 | 11.6 | 11.8 | 21.4 | 19.5 | 18.9 | 19.9 |
| | 紙類 (%) | 27.7 | 29.3 | 30.4 | 29.1 | 36.9 | 41.7 | 43.2 | 40.6 |
| | 厨芥類 (%) | 39.7 | 41.0 | 40.1 | 40.3 | 15.0 | 13.1 | 12.6 | 13.6 |
| プラスチック類 | 容器包装プラスチック類 (%) | 7.5 | 7.9 | 9.2 | 8.2 | 11.6 | 11.9 | 14.1 | 12.5 |
| | その他プラスチック類 (%) | 5.8 | 4.5 | 4.0 | 4.8 | 8.3 | 7.6 | 5.9 | 7.2 |
| 不燃物 | ガラス, 陶磁器類 (%) | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.2 |
| | 金属類 (%) | 0.3 | 0.4 | 0.2 | 0.3 | 0.5 | 0.7 | 0.5 | 0.5 |
| | 土砂, その他 (%) | 0.3 | 0.3 | 0.1 | 0.2 | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.3 |
| 単位容積重量(見かけ) (t/m3) | | 0.16 | 0.15 | 0.14 | 0.15 | | | | |

※湿ベース：水分を含んだ状態

※乾ベース：水分を除いた状態（熱風循環式乾燥器に入れ、乾燥させた状態）



イ ピットごみの発熱量及び三成分

| 清 掃 工 場 名 | | 発寒 | 駒岡 | 白石 | 平均 |
|-----------|---------|-------|-------|-------|-------|
| 低位発熱量 | (kJ/kg) | 8,510 | 8,550 | 8,810 | 8,620 |
| 水分 | (%) | 49.5 | 49.9 | 47.7 | 49.0 |
| 可燃分 | (%) | 48.1 | 47.7 | 49.9 | 48.6 |
| 不燃分 | (%) | 2.4 | 2.3 | 2.6 | 2.4 |

※水分：湿ベースのごみの含水率。ごみの乾燥前後で減少した水分量より算出。

※不燃分：ごみの中の金属・石・ガラス類の不燃物の割合と、不燃物を除いたごみを燃焼（800℃で2時間）させた後に残る灰分の割合を合わせたもの。

※可燃分：可燃物を800℃で強熱した際に揮発又は分解焼却する成分であり、全体の割合から水分及び灰分の割合を除いたもの。

V 勤務時間等の現況

1 勤務時間・職員定数等

(1) 勤務時間

| | | 勤務時間 | 休憩時間 | 週休日 | 休暇 | | | |
|---|---------------------------------|------------------|--------------------|--|---|--|--|--|
| | | | | | 年次休暇 | 病気休暇 | 特別休暇 | 介護休暇 |
| 本庁勤務の職員 | | 8時45分～ 17時15分 | 12時15分～ 13時 | (1)日曜日 (2)土曜日 | 1年度につき 20日（繰越有 効1年度） *採用された 年度は、採用 月に応じ以下 の日数 4月＝20日 5月＝18日 6月＝17日 7月＝15日 8月＝13日 9月＝12日 10月＝10日 11月＝8日 12月＝7日 1月＝5日 2月＝3日 3月＝2日 | 負傷又は 疾病によ る療養の ための休 暇 （年度に 関わらず 連続する 90日以 内。週休 日等は算 入す る。） | 結婚休暇、忌 引休暇、父母 等の祭日、生 理休暇、出産 休暇、育児時 間、妊婦の通 勤緩和措置、 妊産婦の保健 指導又は健康 診査、妊娠障 害休暇、配偶 者の出産、子 育て参加休 暇、出生サ ポート休暇、 短期介護休 暇、子の看護 等休暇、骨髄 バンクへの登 録等、ボラン ティア休暇、 公民権の行 使、証人等と しての官公署 への出頭、伝 染病予防法の 規定による出 勤困難、地震 等による出勤 困難、地震等 による現住居 の滅失又は破 壊、夏季休暇 | 配偶者、父 母、子等で 負傷、疾病 又は老齢に より日常生 活を営むの に支障があ る者の介護 をするため の休暇 |
| 本庁勤務の職員以外の職員 （清掃事務所に勤務する職 員、処理場管理事務所の山 本処理場又は山口処理場に 勤務する職員のうち環境事 業部施設担当部長が指定す る職員及び清掃工場のうち 交替勤務の職員及び搬入指 導業務に従事する職員を除 く。） | | 8時30分～ 17時 | 12時～ 12時45分 | (1)日曜日 (2)土曜日 | | | | |
| 清掃事務所（中央、北、 東、白石、豊平・南、西） に勤務する職員 | | 8時～ 16時30分 | 12時～ 12時45分 | (1)日曜日 (2)土曜日 | | | | |
| 処理場管理事務所の山本処 理場又は山口処理場に勤務 する職員のうち環境事業部 施設担当部長が指定する職 員 | | 8時30分～ 17時 | 勤務時間の途 中に45分間 | (1)日曜日 (2)土曜日 | | | | |
| 清 掃 工 場 勤 務 の 職 員 | 交 代 勤 務 の 職 員 | 昼間 勤務 | 8時30分～ 17時 | 勤務時間の途 中に45分間 | | | | |
| | | 夜間 勤務 | 16時15分～ 翌日9時15分 | 勤務時間の途 中に1時間30 分間 | | | | |
| | 搬入指導業務 に従事する職 員 | 8時30分～ 17時 | 勤務時間の途 中に45分間 | (1) 日曜日 (2) 4週間 を通じて4 日の割合で 清掃工場長 が定める日 | | | | |

(2) 課所別・職種別人員配置（定数）

| | 総計 | 事務・技術職員 | | | | | 技能・業務職員 | | | | | | |
|-----------|--------|---------|-----|----|----|----|---------|-----|-----|-----|-----|-----------|-----|
| | | 総計 | 管理職 | 係長 | 事務 | 技術 | 総計 | 技能 | | | | 業務 清掃員 | |
| | | | | | | | | 小計 | 運転手 | 管理工 | 整備工 | | 営繕工 |
| 環境事業部 | 674 | 196 | 21 | 48 | 62 | 65 | 478 | 241 | 106 | 122 | 6 | 7 | 237 |
| 総務課 | 計 | 17 | 17 | 5 | 2 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 庶務係 | 13 | 13 | 5 | 1 | 7 | | 0 | 0 | | | | |
| | 労務係 | 4 | 4 | | 1 | 3 | | 0 | 0 | | | | |
| 循環型社会推進課 | 計 | 15 | 15 | 1 | 4 | 9 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 企画係 | 7 | 7 | 1 | 1 | 4 | 1 | 0 | 0 | | | | |
| | 調査担当 | 1 | 1 | | 1 | | | 0 | 0 | | | | |
| | 減量推進係 | 3 | 3 | | 1 | 2 | | 0 | 0 | | | | |
| | 資源化推進係 | 4 | 4 | | 1 | 3 | | 0 | 0 | | | | |
| 業務課 | 計 | 23 | 17 | 1 | 4 | 10 | 2 | 6 | 6 | 0 | 0 | 6 | 0 |
| | 業務係 | 7 | 7 | 1 | 1 | 5 | | 0 | 0 | | | | |
| | 作業計画係 | 4 | 4 | | 1 | 3 | | 0 | 0 | | | | |
| | 普及担当 | 1 | 1 | | 1 | | | 0 | 0 | | | | |
| | 車両係 | 11 | 5 | | 1 | 2 | 2 | 6 | 6 | | | 6 | |
| 事業廃棄物課 | 計 | 22 | 17 | 1 | 3 | 1 | 12 | 5 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| | 一般廃棄物係 | 11 | 6 | 1 | 1 | | 4 | 5 | 1 | 1 | | | 4 |
| | 産業廃棄物係 | 7 | 7 | | 1 | 1 | 5 | 0 | 0 | | | | |
| | 特定廃棄物係 | 4 | 4 | | 1 | | 3 | 0 | 0 | | | | |
| 中央清掃事務所 | 計 | 59 | 7 | 1 | 2 | 4 | 0 | 52 | 16 | 16 | 0 | 0 | 36 |
| | 副所長 | 58 | 6 | 1 | 1 | 4 | | 52 | 16 | 16 | | | 36 |
| | 普及担当 | 1 | 1 | | 1 | | | 0 | 0 | | | | |
| 北清掃事務所 | 計 | 54 | 6 | 1 | 2 | 3 | 0 | 48 | 16 | 16 | 0 | 0 | 32 |
| | 副所長 | 53 | 5 | 1 | 1 | 3 | | 48 | 16 | 16 | | | 32 |
| | 普及担当 | 1 | 1 | | 1 | | | 0 | 0 | | | | |
| 東清掃事務所 | 計 | 52 | 6 | 1 | 2 | 3 | 0 | 46 | 16 | 16 | 0 | 0 | 30 |
| | 副所長 | 51 | 5 | 1 | 1 | 3 | | 46 | 16 | 16 | | | 30 |
| | 普及担当 | 1 | 1 | | 1 | | | 0 | 0 | | | | |
| 白石清掃事務所 | 計 | 57 | 6 | 1 | 2 | 3 | 0 | 51 | 16 | 16 | 0 | 0 | 35 |
| | 副所長 | 56 | 5 | 1 | 1 | 3 | | 51 | 16 | 16 | | | 35 |
| | 普及担当 | 1 | 1 | | 1 | | | 0 | 0 | | | | |
| 豊平・南清掃事務所 | 計 | 73 | 6 | 1 | 2 | 3 | 0 | 67 | 16 | 16 | 0 | 0 | 51 |
| | 副所長 | 72 | 5 | 1 | 1 | 3 | | 67 | 16 | 16 | | | 51 |
| | 普及担当 | 1 | 1 | | 1 | | | 0 | 0 | | | | |
| 西清掃事務所 | 計 | 57 | 6 | 1 | 2 | 3 | 0 | 51 | 16 | 16 | 0 | 0 | 35 |
| | 副所長 | 56 | 5 | 1 | 1 | 3 | | 51 | 16 | 16 | | | 35 |
| | 普及担当 | 1 | 1 | | 1 | | | 0 | 0 | | | | |

| | | 總計 | 事務・技術職員 | | | | | 技能・業務職員 | | | | | | |
|----------|--------|----|---------|-----|----|----|----|---------|----|-------------|-------------|-------------|------------------------|-------------|
| | | | 總計 | 管理職 | 係長 | 事務 | 技術 | 總計 | 技能 | | | | 業務 清 務 員 掃 | |
| | | | | | | | | | 小計 | 運 轉 手 | 管 理 工 | 整 備 工 | | 營 繕 工 |
| 施設管理課 | 課計 | 31 | 31 | 2 | 8 | 3 | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 管理係 | 7 | 7 | 2 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | | | | | |
| | 施設計画係 | 5 | 5 | | 1 | | 4 | 0 | 0 | | | | | |
| | 処理計画担当 | 1 | 1 | | 1 | | | 0 | 0 | | | | | |
| | 試験調査係 | 5 | 5 | | 1 | | 4 | 0 | 0 | | | | | |
| | 施設建設担当 | 13 | 13 | | 4 | | 9 | 0 | 0 | | | | | |
| 施設整備課 | 課計 | 13 | 13 | 1 | 3 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 營繕係 | 6 | 6 | 1 | 1 | | 4 | 0 | 0 | | | | | |
| | 造成担当係 | 1 | 1 | | 1 | | | 0 | 0 | | | | | |
| | 整備係 | 6 | 6 | | 1 | | 5 | 0 | 0 | | | | | |
| 処理場管理事務所 | 課計 | 54 | 13 | 1 | 4 | 5 | 3 | 41 | 27 | 9 | 11 | 0 | 7 | 14 |
| | 管理係 | 32 | 7 | 1 | 1 | 5 | | 25 | 18 | 9 | 2 | | 7 | 7 |
| | 整備担当 | 3 | 3 | | 1 | | 2 | 0 | 0 | | | | | |
| | 山本処理場 | 8 | 2 | | 1 | | 1 | 6 | 6 | | 6 | | | |
| | 山口処理場 | 11 | 1 | | 1 | | | 10 | 3 | | 3 | | | 7 |
| 発寒清掃工場 | 課計 | 71 | 13 | 1 | 3 | 2 | 7 | 58 | 58 | 0 | 58 | 0 | 0 | 0 |
| | 管理係 | 24 | 6 | 1 | 1 | 2 | 2 | 18 | 18 | | 18 | | | |
| | 破碎担当 | 1 | 1 | | 1 | | | 0 | 0 | | | | | |
| | 運轉係 | 46 | 6 | | 1 | | 5 | 40 | 40 | | 40 | | | |
| 駒岡清掃工場 | 課計 | 7 | 7 | 1 | 1 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 管理係 | 7 | 7 | 1 | 1 | 1 | 4 | 0 | 0 | | | | | |
| 白石清掃工場 | 課計 | 69 | 16 | 1 | 4 | 2 | 9 | 53 | 53 | 0 | 53 | 0 | 0 | 0 |
| | 管理係 | 6 | 6 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 | | | | | |
| | 運轉係 | 56 | 7 | | 1 | | 6 | 49 | 49 | | 49 | | | |
| | 整備担当 | 1 | 1 | | 1 | | | 0 | 0 | | | | | |
| | 篠路担当 | 6 | 2 | | 1 | | 1 | 4 | 4 | | 4 | | | |

2 被服の貸与等

(1) 被服の貸与状況

| 品 目 | | 規則別表1及び2により貸与するもの | | | | | | | |
|---------------------|----------------------|-------------------|------|--|-------------------|-------------|-----|---|----------|
| | | 第1種被服 | | | | 第2種被服 | | | |
| | | 盛夏 上衣 | 作業帽 | 夏・冬 作業衣 | 防寒衣 | オーバー オール | 白 衣 | | 盛夏 上衣 |
| 6 清掃事務所 | 課所・対象 | | | | | | | | |
| | 事務職 | 1 | 1 | | 1 | | | | |
| | 運転手（ごみパト隊を除く） | 2 | 1 | ※③ 各1 | ※ 1 | | | | |
| | 清掃業務員（ごみパト隊を除く） | 2 | 1 | ※③ 各1 | ※ 1 | | | | |
| | ごみパト隊 | | 1 | ※③ 各1 | ※ 1 | | | 1 | |
| 処理場管理事務所 | 事務職 | 1 | 1 | | 1 | | | | |
| | 技術職 | 1 | 1 | | 1 | | | | |
| | 運転手 | 1 | 1 | ※② 各1 | ※ 1 | | | | |
| | 管理工 | 1 | 1 | ※② 各1 | 1 | | | | |
| | 清掃業務員 | 1 | 1 | ※② 各1 | ※ 1 | | | | |
| 3 清掃工場 | 事務職 | | | | | | | 1 | |
| | 技術職 | | | | | | | 1 | |
| | 管理工 | 1 | 1 | ※② 各1 | 1 | | | | |
| 循環型社会推進課 | 減量推進係・資源化推進係 | | | | | | | | |
| 業務課 | 業務係・作業計画係 | | | | | | | | |
| | 車両係 | 事務・技術職 | 事故担当 | | | 1 | | | |
| | | 検査主任 | | | | | | | 1 |
| | | その他 | | | | | | | 1 |
| | 整備管理者 | 1 | | ※① 1 | 1 | 1 | | | |
| 事業廃棄物課 | 一般廃棄物係・産業廃棄物係・特定廃棄物係 | 1 | 1 | | 1 | | | | |
| | 事業ごみ指導員 | | | | | | | 1 | |
| 施設管理課 (施設建設担当課含) | 管理係（技術職） | | | | | | | 1 | |
| | 施設計画係・担当係長 | | | | | | | 1 | |
| | 試験調査係 | 1 | 1 | | | | 1 | | |
| | 施設建設担当係・担当係長 | 1 | 1 | 各1 | 1 | | | | |
| 施設整備課 | 営繕係・整備係 | 1 | 1 | 各1 | 1 | | | | |
| 貸与期限 | | 2年 | 1年 | 各2年 | 3年 | 消耗の都度更新 | 2年 | | |
| 標準着用月数 | | 8月 | 12月 | 各12月 | 18月 | | 4月 | | |
| 備 考 | | | | ※①貸与期限1年、標準着用月数12月 ※②貸与期限各1年、標準着用月数各6月 ※③貸与期限各1年（返納日1年延長）標準着用月数各6月 | ※貸与期限2年、標準着用月数12月 | | | | |

| 規則第11条の規定に基づき特殊な制服として貸与するもの | | | | | | | | | | | 規則別表1 根拠規定 | |
|-----------------------------|---|-----|-------------------|-----------------|----|------|-----|--------|-----|---------|--------------------------------------|---|
| 個人貸与 | | | | | | 共用貸与 | | | | | | |
| 作業帽 | 夏・冬作業衣 | 防寒衣 | 防寒ズボン | オーバーオール | 雨衣 | 安全靴 | 作業帽 | 夏・冬作業衣 | 防寒衣 | 雨衣 | | 防寒ズボン |
| | ※① 1 | | | | 1 | | | | | | 3 | 別表1 エ清掃指導員 |
| | | | | | 1 | | | | | | | |
| | | | | | 1 | | | | | | | |
| | | | ※1 | | 1 | | | | | | | |
| | ※① 1 | | | | 1 | | | | | | | 別表1 エ清掃指導員 |
| | ※① 1 | | | | 1 | 1 | | | | | | 別表1 エ清掃指導員 |
| | | | | ※1 | 1 | ※1 | | | | | ※① 1 | |
| | | | | 1 | | ※1 | | | | 1 | | |
| | | | | ※1 | 1 | ※1 | | | | | ※① 1 | |
| 1 | ※② 1 | | | | | | | | | | | |
| 1 | ※③各1 | 1 | | 1 | | 1 | | | | 1 | | |
| | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | ※② 1 | |
| | | | | | | | 1 | 1 | | | | |
| | | | | | | | 1 | 1 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | 別表1 テ1事故担当職員 |
| 1 | ※② 1 | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | |
| 1 | ※② 1 | | | | | | | | 1 | | | |
| | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | ※② 1 | | | | | | | | | | 1 | 別表1 エ清掃指導員 |
| 1 | ※② 1 | 1 | | | | | | | | | | |
| 1 | 各1 | 1 | | | | | | | | | | |
| 1 | 各1 | 1 | | | | | | | | | | |
| | ※② 1 | | | | | 1 | | | 1 | 1 | | 別表1 エ清掃指導員 |
| | | | | | | | | | | | | 別表1サ9工事現場監督員・検査員 |
| | | | | | | 1 | | | | | | 別表1サ9工事現場監督員・検査員 |
| 1年 | 各2年 | 3年 | 3年 | 消耗の都度更新 | | | 2年 | 2年 | 3年 | 消耗の都度更新 | 3年 | 〔現業職〕 別表1コ 清掃現業職員のうち環境事業部長が指定するもの |
| 12月 | 各12月 | 18月 | 18月 | | | | 24月 | 24月 | 18月 | | 18月 | |
| | ※①貸与期限2年、標準着用月数24月 ※②貸与期限1年、標準着用月数12月 ※③貸与期限各1年、標準着用月数各6月 | | ※貸与期限2年、標準着用月数12月 | ※埋立地関係業務に従事する職員 | | | | | | | ※①埋立地関係業務に従事する職員 ※②搬入指導の業務に従事する職員 | 〔※③貸与・返却例〕 貸与 夏 30.4 31.4 返却 R2.4 返却延長 貸与 冬 30.10 31.10 返却 R2.10 返却延長 |

(2) 消耗品の支給状況

| 課所・対象 | 品目 | 個人支給 | | | | | | | | | | | 共用備品 | | |
|----------|--|----------------|----------------|-----------------------|----|----------|-----------|---------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|-----|
| | | 長靴 | | ブーツ シューズ (夏作業靴) | 軍手 | ゴム 手袋 | ノー ス手袋 | 革手袋 | 保護 眼鏡 | ヘル メット | 衛生 タオル | 化粧 石けん | ゴム 長靴 | ゴム 手袋 | 革手袋 |
| | | ゴム | 紳士 防寒防 雪 | | | | | | | | | | | | |
| 6 清掃事務所 | 事務職 | ※① 1 | ※① 1 | | 2 | | | | | | 1 | | | | |
| | 運転手 (ごみパト隊を除く) | ※① 1 | ※① 1 | 1 | 4 | 18 | | | | 3 | 1 | | | | |
| | 清掃業務員 (ごみパト隊を除く) | ※① 1 | ※① 1 | 1 | 4 | 18 | | | 1 | 3 | 1 | | | | |
| | ごみパト隊 | ※① 1 | ※① 1 | 1 | 4 | 18 | | | | 3 | 1 | | | | |
| 処理場管理事務所 | 事務・技術職 | | 1 | | 2 | | | | | 1 | 1 | | | | |
| | 運転手 | ※② 1 | ※② 1 | ※ 1 | 2 | ※① 1 | | ※ 1 | | 3 | 1 | | | | |
| | 管理工 | ※② 1 | ※② 1 | ※ 1 | 2 | ※② 1 | ※ 1 | 1 | | 3 | 1 | | | | |
| | 清掃業務員 | ※② 1 | ※② 1 | ※ 1 | 2 | ※① 1 | ※ 1 | ※ 1 | | 3 | 1 | | | | |
| 3 清掃工場 | 技術職 | | | | 2 | | | 年4 | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 管理工 | | | | 2 | | | 年4 | | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | |
| 循環型社会推進課 | 企画係・調査担当係長 | | 1 | | | ※① 1 | | | | 1 | | | | | |
| | 減量推進係・資源化推進係 | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 業務課 | 業務係・作業計画係 | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| | 車両係 | 事務・技術職 検査主任 | 1 | | 1 | 2 | | | | | | 1 | | | |
| | | その他 | 1 | | | 1 | | | | | | 1 | | | |
| | | 整備管理者 | ※① 1 | ※ 1 | 1 | 2 | | | | | 3 | 1 | | | |
| 事業廃棄物課 | 一般廃棄物係・産業廃棄物係・特定廃棄物係 | | 1 | | | 1 | | | | | 1 | | | | |
| | 事業ごみ指導員 | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | | |
| 施設管理課 | 管理係 | 事務職 | | | | | | | | | | 1 | | | |
| | | 技術職 | 1 | | | 1 | | | | | 1 | | | | |
| | 施設計画係・担当係長 | | 1 | | | 1 | | | | | 1 | | | | |
| | 試験調査係 | | 1 | | | 2 | | | 年1 | | 1 | 1 | | | |
| 施設整備課 | 営繕係・整備係 | | 1 | | | 1 | | | | 1 | 1 | | | | |
| 支給期限 | | 1年 | 1年 | 1年 | 1月 | 1年 | 1月 | 消耗の都度支給 | | 1年 | 1月 | 消耗の都度支給 | | | |
| 備考 | ※埋立地関係業務に従事する職員は除く。ただし、 ※埋立地関係業務に従事する職員(消耗の都度支給) ※消耗の都度支給 ※埋立地関係業務に従事する職員 ※埋立地関係業務に従事する職員 ※埋立地関係業務に従事する職員 ※6月一括支給 ※消耗の都度支給 ※埋立地関係業務に従事する職員 | | | | | | | | | | | | | | |

3 労務管理

近年、清掃事業を取り巻く環境は大きく変化しており、特にこれを推進する職員の資質の向上がますます重要性を増してきているとともに、交通事情の悪化等による労働環境の危険度も高まってきていることなどから職員研修や安全管理面の施策の強化が強く望まれているところである。

このため当部では、職員の研修を計画的に実施するとともに、事故防止対策に力を入れ、労働条件改善と明るい職場の確立に努めつつ円滑な事業の推進を図っている。

(1) 研修制度

| 研 修 名 | 研 修 目 的 | 回 数 | 期 間 | 受 講 人 員 | 講 師 ・ プ ロ グ ラ ム 等 |
|--------------------------|--|--------------|----------|-------------|--|
| 新規採用・転入職員研修 (技能・業務職員) | 環境事業部職員として必要な基礎知識を学ぶとともに、職場への適応力を身につける。 | 随時 | 日 0.5 | 対象者 全 員 | ・ 課長、係長 ・ 講義 |
| 新規採用・転入職員研修 (事務・技術職員) | 環境事業部職員として今日の清掃行政の意義と課題及び各業務の内容を理解することにより、自らが従事する業務と職責を認識し円滑な業務の執行を図る。 | 随時 | 日 1 | 対象者 全 員 | ・ 部長、係長 ・ 講義 ・ 施設見学 |
| 交通安全研修会 | 安全運転指導・監督等、安全運転管理の徹底を図る。 | 1 | 日 0.5 | 77人 | ・ 外部講師 ・ 左記人員のうち約32人は、清掃業務に従事する委託・許可業者の代表者等である。 |
| 交通安全講習会 | 事故の防止と減少に向けた安全運転指導を行う。 | 1 (各所属ごと) | 日 0.2 | 所属職員 全 員 | ・ 外部講師 |

(2) 表彰制度

無事故記録、職務精励等、他の職員の模範となる職員を賞揚し、なお一層市民の信頼に応えるべく努力を促すため次のとおり表彰を行っている。

ア 優良運転者表彰

(ア) 環境事業部自動車事故調査委員会の規程に基づく注意以上の処分を受けたことのない者。

(イ) 表彰は、次の区分によって行っている。

- a 35 年間運転無事故者
- b 30 年間運転無事故者
- c 25 年間運転無事故者
- d 20 年間運転無事故者
- e 15 年間運転無事故者
- f 10 年間運転無事故者
- g 5 年間運転無事故者

*25 年間運転無事故以上は局長表彰、その他は環境事業部長表彰

イ 自動車運転優良団体表彰

1 年間の各事務所に配置された市有車両全車の年間走行km を当該全車両の有責事故件数（リース車を含む）で除して、10万km 以上を達成した事務所で局長が適当と認めるものを表彰している。

ウ 善行者等に対する賞揚

札幌市職員表彰規則の表彰要件に該当しないもので、職員が善行等、他の職員の模範となる行為を行った場合、局長から授与している。

(3) 自動車事故防止対策

ア 安全運転管理

法令の基準に基づき、各清掃事務所等に安全運転管理者、副安全運転管理者、整備管理者を置き、自動車の安全な運転に必要な業務、車両検査、点検整備を行い、清掃車両の安全運転管理に特に留意している。

イ 車両の運行管理

各安全運転管理者、副安全運転管理者及び整備管理者の指導監督のもとに、車両の適正な運行を期すとともに、安全かつ迅速な作業の遂行と事故防止を図るため、環境事業部自動車運転要領等関係内規を定め、運転手の資質の向上に努めている。

ウ 環境事業部自動車事故調査委員会及び環境事業部自動車事故防止対策委員会

各委員会は委員長が必要に応じ招集し、事故の実情を調査するとともに、その防止対策について検討するほか、それぞれの事故にかかわる処分の内容を調査して事故に対する運転手の反省を求めて事故の再発を防止する目的で設置し、各委員会は業務課長、車両係長のほか、局長が指名する清掃事務所長1人、清掃事務所副所長2人、運転手代表5人、合計10人で構成され、委員長には調査委員会及び対策委員会ともに環境事業部業務課長があたっている。

処分の内容は注意、嚴重注意、訓告としている。

エ 無事故の賞揚

交通事故の防止に良い成績をおさめた運転手あるいは事務所に対しては、前記(2)表彰制度ア、イのとおり、その努力をたたえて表彰を行い、無事故の実績を積極的に賞揚している。

オ 交通安全思想の普及

交通法規及び安全運転研修（前記(1)研修制度参照）のほか、「交通事故防止のための座談会、懇談会」「講習会」「映写会」等を随時開催し、交通事故防止・交通安全思想の普及徹底に努めている。

4 安全衛生対策

(1) 安全衛生管理体制

清掃事業担当部長を総括安全衛生管理者、各事業所長を安全管理者、各事業所係長等（有資格者）を衛生管理者、総務局職員部委嘱の産業医をそれぞれ任命し、安全衛生管理体制の充実強化を図っている。

(2) 環境事業部安全衛生委員会

札幌市職員安全衛生管理規則の規定により安全衛生委員会を組織し、作業の安全と衛生に関する事項を調査検討し、安全衛生管理上、必要な事項について環境局長に意見具申を行っている。

ア 安全衛生委員会の構成

総括安全衛生管理者である清掃事業担当部長を委員長として産業医1人、市職清掃協の推薦する委員3人及び市労清掃支部の推薦する委員6人と、安全管理者、衛生管理者及び安全、衛生に関し経験を有する者のうちから環境局長が指名する8人の合計19人で構成している。

イ 安全衛生委員会の職務

委員会は次の事項を調査審議している。

- (ア) 職員の危険及び健康障害の防止対策に関すること。
- (イ) 公務災害の原因及び再発防止対策に関すること。
- (ウ) 安全対策及び衛生対策の実施計画に関すること。
- (エ) 安全衛生に係る組織及び規程の整備に関すること。

(オ) その他職員の危険及び健康障害の防止に関する重要事項。

環境事業部安全衛生委員会事業計画

| 実施時期 | 事業名 | 目標 | 実施項目 |
|---|------------------|---|---|
| 毎月 1日 15日 | 環境事業部安全日 | 全事業所において安全衛生旗を掲揚し、安全作業の再確認、公務災害の防止に努める。 | 1 安全衛生旗の掲揚 2 安全作業の呼びかけ 3 公務災害防止の呼びかけ (各課所の発生例を参考にして) |
| 4月 ～ 5月 | 車両事故防止運動 | 新入学児童、高齢者等の交通弱者への安全確保と公私とも車両事故防止に努め、安全意識の高揚を図る。 | 1 安全旗の掲揚 2 安全運転の呼びかけ 3 職場懇談会の実施 4 車両後退誘導の徹底 |
| 6月 ～ 7月 | (6月準備期間) 安全週間 | 職場の安全点検を励行し、作業事故防止の意識を高め、職場ぐるみの安全作業確保に努める。 | 1 安全旗の掲揚 2 ポスター掲示 3 職場懇談会の実施 4 安全作業パトロールの実施 5 各種安全衛生研修会への出席 |
| 9月 ～ 10月 | (9月準備期間) 衛生週間 | 職場環境を清潔に保ち、各人が健康増進に努め、明るく健全な職場づくりを推進する。 | 1 衛生旗の掲揚 2 ポスター掲示 3 職場懇談会の実施 4 職場パトロールの実施 5 各種安全衛生研修会への出席 |
| 12月 ～ 1月 | 年末年始 事故防止運動 | 年末年始の繁忙期における事故防止に職場ぐるみの取組を行う。 | 1 安全旗の掲揚 2 職場の独自重点項目設定 3 職場懇談会の実施 |
| ※委員会(定例)の開催は5・6・7・8・9・10・11・12・1・2・3月の年間11回 | | | |

(3) 環境事業部事業所安全衛生推進委員会

各事業所長(安全管理者)を委員長とし、市労清掃支部各分会の推薦委員と衛生管理者及び安全衛生に関し経験を有し当該事業所長が推薦する者で構成しており、各事業所の安全衛生に関する事項について協議し、具体的対策を推進することを職務としている。

5 公務災害防止対策

清掃作業は、天候・道路状況・交通事情その他多くの不確定要素によって左右されるほか、北海道における冬期間の特殊事情など、災害発生要因は日常作業のいたるところに潜在している。これらの要因を根本的に除去することは困難であるが、災害発生要因の大部分を占める不安全行動の除去を重点とし、次のとおり災害の発生と被害を最小限にとどめる努力をしている。

(1) 職員の安全衛生意識の高揚

環境事業部安全衛生委員会において、月2回の安全日及び年間4回の運動・週間を実施している。運動・週間の実施にあたっては、①各事業所ごとの独自目標の設定、②安全旗・衛生旗の掲揚、③のぼり、ポスターの掲示、④放送による呼びかけなどを行っている。

各事業所においては、①事業所安全衛生推進委員会の安全衛生活動及び安全管理者の訓示等により職員に対して注意と自覚を促し、②職場懇談会を開催して安全・衛生について意見の交換を行い、③公務災害の発生原因の分析を行っている。

(2) 災害の原因究明と指導

環境事業部安全衛生委員会及び各事業所安全衛生推進委員会は、発生した災害について徹底的に原因究明と調査を行い、同じ災害を繰り返さないよう研究と指導を行っている。

(3) 安全衛生教育

安全的確な作業能力を養うために、次のような研修等を行っている。

- ア 職場研修～新規採用職員及び転入職員に対し、車両や器具の取り扱いと作業方法について指導。
- イ 外部講習～各安全衛生関係機関が開催する講習会への参加。

(4) 被服・保護具及び作業方法等の改善

被服、作業用具、保護具、作業環境について研究と改善を図り、より安全な作業条件を作るよう努めている。

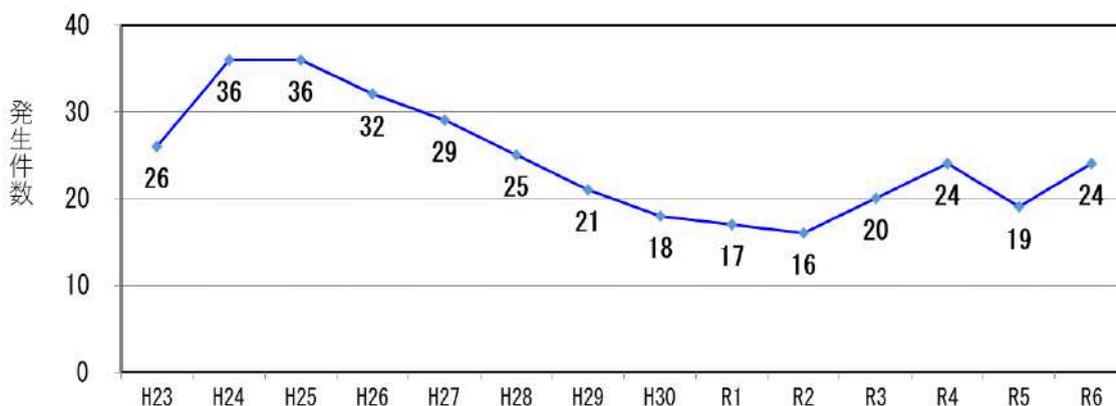
(5) 健康管理

常に心身を健全な状態に置くことが災害の減少につながるため、次のような指導等を行っている。ア 職員各人の健康管理についての指導

- イ 健康診断（定期健診・生活習慣病・特殊健診等）受診の徹底
- ウ 罹病者の治療の徹底

(参 考)

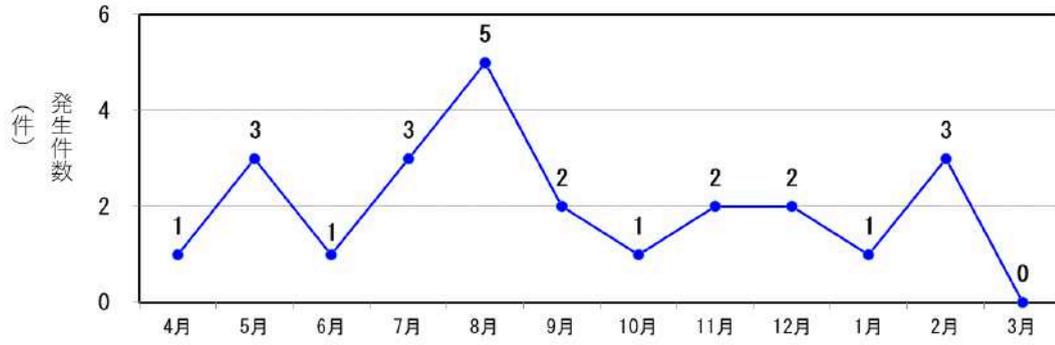
公務災害年度別発生件数



※ 公務上の災害として認定された件数のみ記載

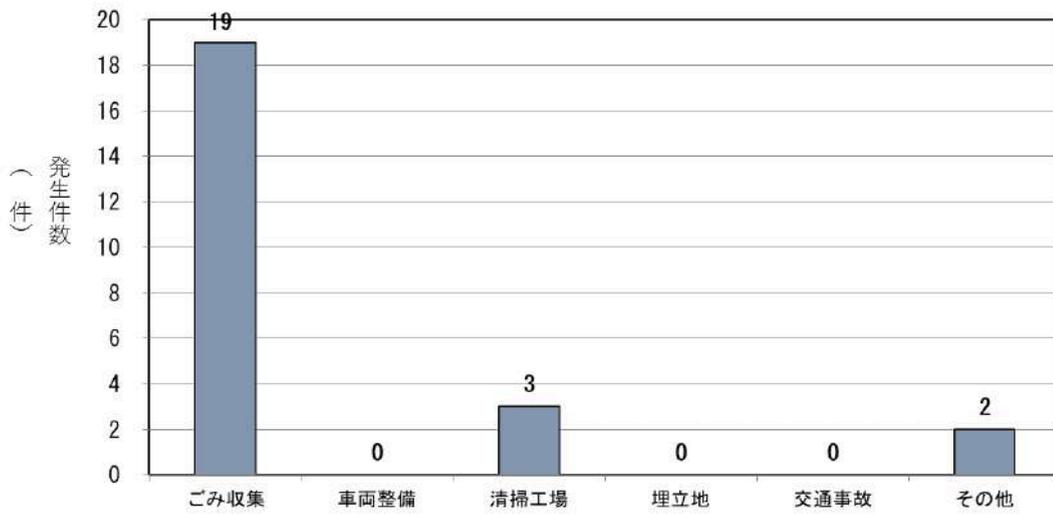
<月別発生件数>

(令和6年度：全件数24件)

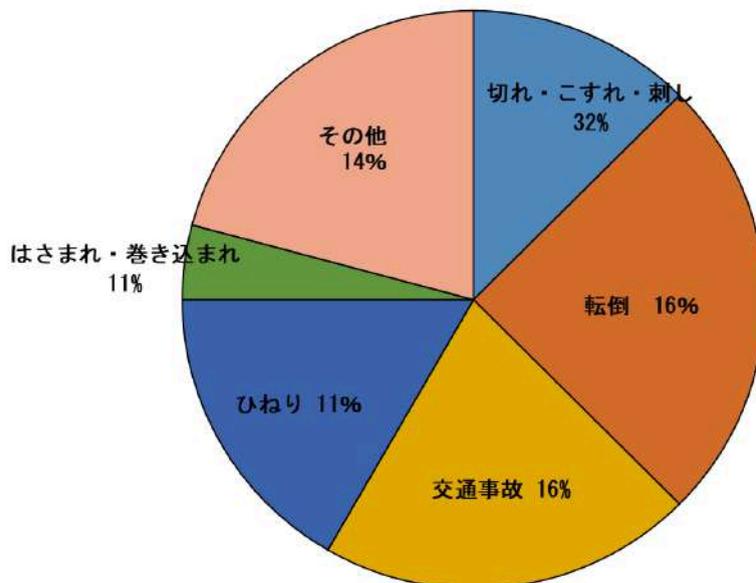


<従事業務別発生件数>

(令和6年度：全件数24件)



<災害の型別発生件数>



駒岡清掃工場・破碎工場

(令和6年度)

| 項目 単位 月別 | 搬入量 | | | | 焼却残さ | | | | 焼却工程 | | | | 電力量 | | | 項目 単位 月別 | | | | | | |
|----------------|------------|-------|------------|-----------|-----------|------------|----------|-----|------|-----------|----------|------|-------|-------|--------|----------------|-----------|---------|---------|-----|-----|---|
| | ごみ | | 残渣等 | | 計 | | 移動 日数 | | 残さ量 | | 残さ率 | | 熱灼減量 | | 炉内温度 | | 重油使用量 | | 発電量 | 送電量 | 買電量 | |
| | t | t | t | t | 1号 | 2号 | 計 | 1号 | 2号 | 日 | 日 | t | % | % | 1号 | | 2号 | ℃ | | | | L |
| 4 | 9,323.69 | 61.03 | 9,584.72 | 3,070.62 | 6,648.55 | 3,070.62 | 9,719.17 | 30 | 15 | 30 | 1,006.14 | 10.4 | 3.4 | 1,032 | 1,120 | 0 | 2,058,560 | 848,527 | 3,791 | 4 | | |
| 5 | 1,132.99 | 10.91 | 1,143.90 | 442.21 | 442.21 | 472.34 | 914.55 | 3 | 2 | 5 | 210.10 | 23.0 | 2.4 | 1,056 | 1,091 | 13,782 | 179,490 | 63,192 | 467,719 | 5 | | |
| 6 | 14,005.97 | 57.95 | 14,063.92 | 5,943.71 | 7,604.69 | 13,548.40 | 26 | 30 | 30 | 1,348.12 | 10.0 | 4.9 | 1,012 | 1,074 | 4,657 | 2,669,710 | 1,298,335 | 1,454 | 6 | | | |
| 7 | 14,976.42 | 71.32 | 15,047.74 | 7,226.90 | 6,460.06 | 13,686.96 | 31 | 26 | 31 | 1,382.29 | 10.1 | 7.8 | 1,007 | 1,053 | 0 | 2,670,630 | 1,204,990 | 1,687 | 7 | | | |
| 8 | 8,219.30 | 65.14 | 8,284.44 | 6,495.62 | 4,826.61 | 11,322.13 | 28 | 18 | 31 | 1,197.00 | 10.6 | 5.3 | 995 | 1,048 | 10,736 | 2,091,310 | 851,264 | 6,120 | 8 | | | |
| 9 | 13,703.58 | 64.52 | 13,768.10 | 2,935.18 | 7,845.25 | 10,780.43 | 13 | 30 | 30 | 1,387.46 | 12.7 | 4.6 | 997 | 1,075 | 117 | 2,022,170 | 829,889 | 2,797 | 9 | | | |
| 10 | 9,829.33 | 71.65 | 10,000.98 | 6,796.08 | 6,231.73 | 13,027.81 | 28 | 25 | 31 | 1,170.94 | 9.0 | 3.6 | 1,030 | 1,081 | 4,905 | 2,483,910 | 1,163,389 | 2,621 | 10 | | | |
| 11 | 8,585.75 | 64.77 | 8,650.52 | 7,114.54 | 0.00 | 7,114.54 | 30 | 0 | 30 | 1,023.59 | 14.4 | 2.0 | 1,029 | - | 0 | 1,373,900 | 342,493 | 9,050 | 11 | | | |
| 12 | 9,347.68 | 66.15 | 9,413.83 | 7,347.26 | 2,216.65 | 9,563.91 | 31 | 9 | 31 | 878.01 | 9.2 | 2.1 | 1,044 | 1,086 | 16,544 | 1,821,660 | 573,582 | 8,809 | 12 | | | |
| 1 | 8,501.46 | 57.71 | 8,559.17 | 2,253.08 | 7,915.44 | 10,168.52 | 10 | 31 | 31 | 1,009.73 | 9.9 | 5.0 | 1,036 | 1,083 | 97 | 1,793,250 | 540,422 | 8,762 | 1 | | | |
| 2 | 7,494.01 | 56.24 | 7,550.25 | 477.00 | 7,108.77 | 7,585.77 | 2 | 28 | 28 | 1,037.33 | 13.9 | 3.8 | 1,056 | 1,078 | 4,946 | 1,320,100 | 288,676 | 9,857 | 2 | | | |
| 3 | 7,643.73 | 55.00 | 7,698.73 | 3,865.96 | 4,463.32 | 8,329.28 | 16 | 18 | 18 | 1,255.12 | 15.1 | 4.4 | 1,010 | 1,064 | 35,151 | 1,521,960 | 694,142 | 200,239 | 3 | | | |
| 合計 | 113,063.91 | 702 | 113,766.30 | 57,545.99 | 58,215.48 | 115,761.47 | 248 | 232 | 326 | 12,905.83 | - | - | - | - | 90,935 | 22,006,650 | 8,698,901 | 722,906 | 合計 | | | |
| 最高 | 14,976.42 | 72 | 15,047.74 | 7,347.26 | 7,915.44 | 13,686.96 | 31 | 31 | 31 | 1,382.29 | 23.0 | 7.8 | 1,056 | 1,120 | 35,151 | 2,670,630 | 1,298,335 | 467,719 | 最高 | | | |
| 最低 | 1,132.99 | 11 | 1,143.90 | 442.21 | 442.21 | 914.55 | 2 | 0 | 5 | 210.10 | 9.0 | 2.0 | 995 | 1,048 | 0 | 179,490 | 63,192 | 1,454 | 最低 | | | |
| 平均 | 9,421.99 | 59 | 9,480.53 | 4,795.50 | 4,851.29 | 9,646.79 | 21 | 19 | 27 | 1,075.49 | 12.3 | 4.1 | 1,025 | 1,078 | 7,578 | 1,833,888 | 724,908 | 60,242 | 平均 | | | |

| 項目 単位 月別 | 水使用量 | | | 蒸気発生量 | | | ごみ成分 | | | | 放流水 | | | | 破碎施設 | | | 備考 | |
|----------------|--------|-------|---------|---------|---------|------|-------|------|------|--------|-------|-------|-----|-----|-----------|--------|----------|--------|-------|
| | 上水 | 井水 | t | 1号 | 2号 | t | 可燃物 | 不燃物 | 水分 | 比重 | 低位発熱量 | SS | BOD | PH | 透視度 | 可燃物 | 不燃物 | | 資源化再搬 |
| | t | t | t | % | % | t/㎡ | kJ/kg | mg/L | cm | t | t | t | t | t | | | | | |
| 4 | 6,917 | 734 | 24,073 | 10,810 | 34,883 | 51.8 | 3.5 | 44.6 | 0.16 | 9,320 | 22 | 25.0 | 7.9 | 20 | 1,299.12 | 0.00 | 144.59 | 39.59 | |
| 5 | 2,357 | 263 | 1,771 | 1,580 | 3,351 | 52.8 | 2.2 | 45.0 | 0.15 | 9,490 | 50 | 12.0 | 7.8 | >30 | 152.40 | 55.84 | 48.43 | 0.95 | |
| 6 | 8,507 | 502 | 19,694 | 24,918 | 44,612 | 41.3 | 2.1 | 56.6 | 0.16 | 6,630 | 13 | 160.0 | 7.7 | 28 | 1,770.54 | 41.68 | 141.38 | 65.23 | |
| 7 | 10,041 | 533 | 23,522 | 20,982 | 44,504 | 47.6 | 2.1 | 50.3 | 0.18 | 8,680 | 20 | 16.0 | 7.5 | >30 | 1,712.93 | 52.83 | 171.34 | 32.53 | |
| 8 | 8,383 | 475 | 20,462 | 14,804 | 35,266 | 40.6 | 2.0 | 57.4 | 0.17 | 7,260 | 50 | 70.0 | 7.6 | 18 | 1,256.67 | 71.37 | 146.51 | 28.21 | |
| 9 | 7,796 | 460 | 9,224 | 24,955 | 34,179 | 36.4 | 1.8 | 61.8 | 0.16 | 6,980 | 120 | 71.0 | 8 | 8 | 1,564.64 | 49.66 | 160.08 | 32.05 | |
| 10 | 8,512 | 422 | 22,472 | 20,334 | 42,806 | 50.2 | 2.0 | 47.8 | 0.15 | 8,460 | 15 | 78.0 | 7.9 | 26 | 1,496.04 | 65.09 | 142.16 | 43.94 | |
| 11 | 5,640 | 345 | 24,083 | 0 | 24,083 | 48.6 | 2.5 | 48.9 | 0.15 | 8,880 | 36 | 62.0 | 7.3 | 13 | 1,371.03 | 53.65 | 162.09 | 40.66 | |
| 12 | 7,530 | 321 | 24,992 | 7,511 | 32,503 | 57.1 | 2.6 | 40.3 | 0.12 | 10,790 | 21 | 35.0 | 7.5 | 16 | 926.33 | 46.83 | 141.95 | 41.97 | |
| 1 | 7,207 | 161 | 7,335 | 25,912 | 33,247 | 49.8 | 2.9 | 47.3 | 0.16 | 9,530 | 17 | 22.0 | 7.7 | 27 | 583.07 | 20.13 | 84.68 | 24.41 | |
| 2 | 5,762 | 0 | 1,515 | 23,430 | 24,945 | 46.6 | 2.1 | 51.3 | 0.14 | 8,180 | 32 | 160.0 | 7.6 | 15 | 623.09 | 26.51 | 106.81 | 31.77 | |
| 3 | 6,025 | 0 | 12,536 | 14,144 | 26,680 | 50.1 | 1.9 | 48.0 | 0.14 | 8,350 | 16 | 50.0 | 7.6 | 22 | 421.06 | 52.32 | 81.89 | 9.53 | |
| 合計 | 84,677 | 4,216 | 191,679 | 189,380 | 381,059 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 13,176.92 | 535.91 | 1,531.91 | 390.84 | |
| 最高 | 10,041 | 734 | 24,992 | 25,912 | 44,612 | 57.1 | 3.5 | 61.8 | 0.18 | 10,790 | 120 | 160.0 | 8.0 | >30 | 1,770.54 | 71.37 | 171.34 | 65.23 | |
| 最低 | 2,357 | 0 | 1,515 | 0 | 3,351 | 36.4 | 1.8 | 40.3 | 0.12 | 6,630 | 13 | 12.0 | 7.3 | 8 | 152.40 | 0.00 | 48.43 | 0.95 | |
| 平均 | 7,056 | 351 | 15,973 | 15,782 | 31,755 | 47.7 | 2.3 | 49.9 | 0.15 | 8,546 | 34 | 63 | 7.7 | - | 1,098.08 | 44.66 | 127.66 | 32.57 | |

・中間整備
(5月5日～5月30日)
・電気点検 (5月11日)
・1号炉定期清掃
(9月9日～10月10日)
・2号炉定期清掃
(7月22日～8月27日)
・1号炉定期整備
(1月5日～3月3日)
・2号炉定期整備
(10月21日～12月27日)
見学者総数 1,338名

白石清掃工場・篠路破碎工場

(令和6年度)

| 項目 単位 月別 | 搬入量 | | | | 焼却量 | | | | 焼却日数 | | | | 焼却残渣 | | | | 焼却工程 | | | | 電力量 | | 項目 単位 月別 |
|----------------|------------|----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|--------|---------|---------|---------|---------------|----------|----------|-----------|---------|---------|---------|------------|------------|------------|------------|----------------|
| | ごみ t | 残渣等 t | 計 t | 計 t | 1号 t | 2号 t | 3号 t | 計 t | 1号 日 | 2号 日 | 3号 日 | 稼働 日数 日 | 残渣量 t | 残渣率 % | 熱灼減量 % | 1号 ℃ | 2号 ℃ | 3号 ℃ | 灯油使用量 L | 発電量 kWh | 逆送量 kWh | 買電量 kWh | |
| 4 | 13,383.56 | 347.28 | 13,730.84 | 2,905.87 | 6,588.01 | 5,839.11 | 15,332.99 | 14 | 30 | 23 | 30 | 1,871.06 | 12.20 | 0.0 | 984 | 941 | 916 | 41,755 | 8,585,200 | 6,068,250 | 0 | 4 | |
| 5 | 16,623.85 | 654.13 | 17,277.98 | 8,034.80 | 3,161.92 | 7,907.69 | 19,104.41 | 31 | 14 | 31 | 31 | 2,854.11 | 14.94 | 0.0 | 1,003 | 933 | 930 | 12,519 | 10,538,000 | 7,738,240 | 0 | 5 | |
| 6 | 19,771.02 | 389.82 | 20,160.84 | 5,360.62 | 8,123.35 | 7,959.42 | 21,443.39 | 21 | 30 | 30 | 30 | 2,837.39 | 13.23 | 0.0 | 975 | 967 | 911 | 2,131 | 11,440,700 | 8,465,460 | 0 | 6 | |
| 7 | 19,510.43 | 2,812.69 | 22,323.12 | 0.00 | 7,491.09 | 9,540.98 | 17,032.07 | 0 | 26 | 31 | 31 | 2,421.93 | 14.22 | 0.0 | - | 958 | 919 | 10,900 | 6,515,000 | 4,394,210 | 458,080 | 7 | |
| 8 | 11,418.67 | 2,696.35 | 14,025.02 | 0.00 | 9,762.70 | 9,629.72 | 19,392.42 | 0 | 31 | 31 | 31 | 3,367.80 | 17.37 | 0.3 | - | 971 | 928 | 645 | 8,330,700 | 5,579,940 | 0 | 8 | |
| 9 | 719.53 | 138.77 | 858.30 | 435.03 | 339.87 | 1,273.35 | 2,048.25 | 4 | 2 | 6 | 7 | 555.43 | 27.12 | 0.0 | 882 | 968 | 907 | 46,322 | 213,150 | 142,190 | 1,492,000 | 9 | |
| 10 | 16,192.09 | 2,484.86 | 18,656.95 | 7,666.33 | 0.00 | 7,603.88 | 15,270.21 | 29 | 0 | 29 | 30 | 2,293.87 | 15.02 | 0.1 | 943 | - | 917 | 21,556 | 6,721,600 | 4,661,970 | 277,770 | 10 | |
| 11 | 15,702.26 | 2,395.06 | 18,097.32 | 8,897.56 | 0.00 | 8,866.73 | 17,764.29 | 30 | 0 | 30 | 31 | 2,936.89 | 16.53 | 0.0 | 975 | - | 924 | 133 | 8,130,100 | 5,732,300 | 0 | 11 | |
| 12 | 16,039.35 | 2,350.23 | 18,389.58 | 1,463.01 | 7,558.24 | 8,802.61 | 17,923.86 | 6 | 30 | 31 | 31 | 3,209.39 | 17.91 | 0.0 | 981 | 954 | 919 | 29,403 | 8,741,500 | 6,179,410 | 0 | 12 | |
| 1 | 12,782.62 | 1,416.31 | 14,198.93 | 4,344.34 | 8,702.05 | 5,209.25 | 18,255.64 | 16 | 31 | 19 | 31 | 2,656.54 | 14.55 | 0.0 | 968 | 973 | 934 | 12,797 | 8,848,500 | 6,291,600 | 0 | 1 | |
| 2 | 10,840.78 | 272.59 | 11,113.37 | 7,197.80 | 6,899.99 | 0.00 | 14,097.79 | 28 | 28 | 0 | 28 | 2,032.08 | 14.41 | 0.0 | 969 | 964 | - | 0 | 6,599,430 | 4,486,780 | 0 | 2 | |
| 3 | 13,090.96 | 349.53 | 13,440.49 | 7,326.46 | 7,250.28 | 0.00 | 14,576.74 | 31 | 31 | 0 | 31 | 1,885.73 | 12.94 | 0.0 | 969 | 965 | - | 0 | 7,200,200 | 4,814,310 | 0 | 3 | |
| 合計 | 166,075.12 | 16,198 | 182,273.24 | 53,631.82 | 65,977.50 | 72,632.74 | 192,242.06 | 210 | 253 | 266 | 341 | 28,922.22 | - | - | - | - | - | 178,161 | 91,964,080 | 64,554,660 | 2,227,850 | 合計 | |
| 最高 | 19,771.02 | 2,813 | 22,323.12 | 8,897.56 | 9,762.70 | 9,629.72 | 21,443.39 | 31 | 31 | 31 | 31 | 3,367.80 | 27.12 | 0.3 | 1,003 | 973 | 934 | 46,322 | 11,440,700 | 8,465,460 | 1,492,000 | 最高 | |
| 最低 | 719.53 | 139 | 858.30 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 2,048.25 | 0 | 0 | 0 | 7 | 555.43 | 12.20 | 0.0 | 882 | 933 | 907 | 0 | 213,150 | 142,190 | 0 | 最低 | |
| 平均 | 13,839.59 | 1,350 | 15,189.40 | 5,363.18 | 6,597.75 | 7,263.27 | 16,020.17 | 21 | 25 | 27 | 28 | 2,410.19 | 15.87 | 0.2 | 965 | 959 | 921 | 17,816 | 7,663,673 | 5,379,555 | 742,617 | 平均 | |

| 項目 単位 月別 | 水使用量 | | 蒸気発生量 | | | ごみ成分 | | | | 放流水 | | | | 破碎施設 | | | 備考 | | | | |
|----------------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|---------|------------------------|--------------------|------------|-------------|------|-----------|-----------|--------|----------|---------|-----|---|
| | 上水 t | 井水 t | 1号 t | 2号 t | 3号 t | 計 t | 可燃物 % | 不燃物 % | 水分 % | 比重 t/m ³ | 低位発 熱量 kJ/kg | SS mg/L | BOD mg/L | PH | 透視度 cm | 可燃物 t | | 不燃物 t | 金属 t | 資源化 | |
| 4 | 6,187 | 583 | 10,482.5 | 24,062.6 | 21,615.2 | 56,160.3 | - | - | - | - | - | <2 | 1.4 | 7.8 | >30 | 874.42 | 0.00 | 103.60 | 0.00 | - | 中間整備期間 |
| 5 | 6,448 | 530 | 26,886.7 | 10,688.6 | 27,060.3 | 64,635.6 | 52.5 | 3.4 | 44.1 | 0.13 | 9,280 | <2 | 1.4 | 8.0 | >30 | 1,461.46 | 0.00 | 112.15 | 0.00 | - | ごみ受入停止(9月1日~9月29日) 焼却施設共通休止(9月4日~9月25日) |
| 6 | 6,587 | 429 | 16,986.2 | 25,858.3 | 25,564.6 | 68,419.1 | 45.5 | 2.4 | 52.1 | 0.14 | 8,050 | <2 | 2.7 | 7.9 | >30 | 1,980.83 | 115.41 | 77.39 | 0.00 | - | 定期整備期間 |
| 7 | 6,598 | 577 | 0.0 | 21,829.5 | 27,957.3 | 49,786.8 | 60.4 | 2.3 | 37.3 | 0.1 | 12,040 | 3 | 3.8 | 7.5 | >30 | 1,781.02 | 182.82 | 70.60 | 0.00 | - | 定期整備期間 |
| 8 | 7,320 | 447 | 557.9 | 28,049.1 | 27,906.9 | 56,513.9 | 45 | 2.4 | 52.6 | 0.13 | 7,400 | 5 | 2.0 | 7.9 | >30 | 773.53 | 105.23 | 76.65 | 0.00 | - | 焼却施設 |
| 9 | 4,110 | 585 | 1,755.7 | 1,119.6 | 3,669.7 | 6,845.0 | 49.2 | 2.8 | 48.1 | 0.20 | 9,230 | 2 | <0.5 | 8.1 | >30 | 50.51 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | - | 1号焼却炉(2024年6月24日~2024年9月26日) 2号焼却炉(2024年9月5日~2024年12月1日) 3号焼却炉(2025年1月6日~2025年5月6日) |
| 10 | 6,119 | 608 | 23,786.4 | 0.0 | 23,686.0 | 47,472.4 | 52.8 | 2.6 | 44.6 | 0.13 | 9,680 | 7 | 3.3 | 8.3 | >30 | 1,045.53 | 0.00 | 64.75 | 0.00 | - | |
| 11 | 6,890 | 581 | 27,365.4 | 0.0 | 27,379.6 | 54,745.0 | 46.1 | 2 | 51.8 | 0.13 | 7,240 | <2 | 5.2 | 7.7 | >30 | 891.59 | 0.00 | 63.03 | 0.00 | - | |
| 12 | 6,834 | 531 | 4,759.9 | 25,333.9 | 28,325.0 | 58,418.8 | 54.1 | 2.4 | 43.5 | 0.14 | 10,280 | <2 | 3.0 | 7.9 | >30 | 710.76 | 0.00 | 49.35 | 0.00 | - | |
| 1 | 6,870 | 491 | 13,994.7 | 28,212.5 | 16,577.4 | 58,744.6 | 48.2 | 2.0 | 48.2 | 0.14 | 8,390 | 2 | 4.6 | 7.7 | >30 | 454.34 | 0.00 | 38.03 | 0.00 | - | 作業環境ダイオキシン類測定 結果: 共に基準値内 |
| 2 | 5,438 | 459 | 23,917.2 | 23,123.6 | 0.0 | 47,040.8 | 51.6 | 2.4 | 46.0 | 0.14 | 9,130 | <2 | 0.6 | 7.7 | >30 | 397.61 | 0.00 | 28.79 | 0.00 | - | (7月24日、1月22日) |
| 3 | 6,084 | 433 | 25,386.0 | 25,291.8 | 0.0 | 50,677.8 | 53.3 | 3.2 | 43.5 | 0.12 | 9,360 | <2 | 3.0 | 7.8 | >30 | 808.61 | 0.00 | 62.18 | 0.00 | - | ・排ガス中ダイオキシン類測定 結果: 3炉共に基準値内 |
| 合計 | 75,485 | 6,173 | 175,848.6 | 213,569.5 | 230,042.0 | 619,460.1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 11,230.21 | 403.46 | 746.52 | 0.00 | - | 1号炉(5月31日) |
| 最高 | 7,320 | 608 | 27,365.4 | 28,212.5 | 28,325.0 | 68,419.1 | 60.4 | 3.4 | 52.6 | 0.20 | 12,040 | 11 | 4.8 | 8.3 | >30 | 1,980.83 | 182.82 | 112.15 | 0.00 | - | 2号炉(4月24日) |
| 最低 | 4,110 | 429 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6,845.0 | 45.0 | 2.0 | 37.3 | 0.10 | 7,240 | <2 | 0.6 | 7.7 | >30 | 50.51 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | - | 3号炉(4月24日) |
| 平均 | 6,290 | 514 | 15,986.2 | 21,357.0 | 23,004.2 | 51,621.7 | 50.8 | 2.5 | 46.5 | 0.14 | 9,098 | 3 | 2.9 | 7.9 | >30 | 935.85 | 134.49 | 67.87 | 0.00 | - | ・見学者数 2,162人 |

(2) 残さ搬出実績

各清掃工場 残さ搬出実績 (令和6年度)

| | 焼却灰 | | 飛 灰 | | 合 計 | |
|----|-----------|----------|-----------|---|-----|---|
| | t | t | t | t | t | t |
| 4 | 1,151.81 | 293.86 | 1,445.67 | | | |
| 5 | 1,775.53 | 419.92 | 2,195.45 | | | |
| 6 | 56.75 | 26.17 | 82.92 | | | |
| 7 | 155.99 | 37.26 | 193.25 | | | |
| 8 | 1,488.38 | 439.32 | 1,927.70 | | | |
| 9 | 1,672.67 | 435.47 | 2,108.14 | | | |
| 10 | 1,112.62 | 265.48 | 1,378.10 | | | |
| 11 | 1,071.59 | 277.21 | 1,348.80 | | | |
| 12 | 1,204.73 | 301.45 | 1,506.18 | | | |
| 1 | 842.82 | 230.07 | 1,072.89 | | | |
| 2 | 701.74 | 192.78 | 894.52 | | | |
| 3 | 952.89 | 294.58 | 1,247.47 | | | |
| 合計 | 12,187.52 | 3,213.57 | 15,401.09 | | | |
| 最高 | 1,775.53 | 439.32 | 2,195.45 | | | |
| 最低 | 56.75 | 26.17 | 82.92 | | | |
| 平均 | 1,015.63 | 267.80 | 1,283.42 | | | |

駒岡清掃工場

| | 焼却灰 | | 飛 灰 | | 合 計 | |
|----|-----------|----------|-----------|---|-----|---|
| | t | t | t | t | t | t |
| 4 | 778.74 | 227.40 | 1,006.14 | | | |
| 5 | 193.20 | 16.90 | 210.10 | | | |
| 6 | 1,044.60 | 303.52 | 1,348.12 | | | |
| 7 | 1,028.00 | 354.29 | 1,382.29 | | | |
| 8 | 945.84 | 251.16 | 1,197.00 | | | |
| 9 | 1,082.83 | 284.63 | 1,367.46 | | | |
| 10 | 867.10 | 303.84 | 1,170.94 | | | |
| 11 | 849.59 | 174.00 | 1,023.59 | | | |
| 12 | 651.16 | 226.85 | 878.01 | | | |
| 1 | 751.53 | 258.20 | 1,009.73 | | | |
| 2 | 856.08 | 201.25 | 1,057.33 | | | |
| 3 | 986.37 | 268.75 | 1,255.12 | | | |
| 合計 | 10,035.04 | 2,870.79 | 12,905.83 | | | |
| 最高 | 1,082.83 | 354.29 | 1,382.29 | | | |
| 最低 | 193.20 | 16.90 | 210.10 | | | |
| 平均 | 836.25 | 239.23 | 1,075.49 | | | |

白石清掃工場

| | 焼却灰 | | 飛 灰 | | 合 計 | |
|----|-----------|----------|-----------|---|-----|---|
| | t | t | t | t | t | t |
| 4 | 1,475.74 | 395.32 | 1,871.06 | | | |
| 5 | 2,238.05 | 616.06 | 2,854.11 | | | |
| 6 | 2,344.15 | 493.24 | 2,837.39 | | | |
| 7 | 2,047.92 | 374.01 | 2,421.93 | | | |
| 8 | 2,814.64 | 553.16 | 3,367.80 | | | |
| 9 | 382.17 | 173.26 | 555.43 | | | |
| 10 | 1,857.63 | 436.24 | 2,293.87 | | | |
| 11 | 2,453.86 | 483.03 | 2,936.89 | | | |
| 12 | 2,576.21 | 633.18 | 3,209.39 | | | |
| 1 | 2,169.19 | 487.35 | 2,656.54 | | | |
| 2 | 1,630.36 | 401.72 | 2,032.08 | | | |
| 3 | 1,501.35 | 384.38 | 1,885.73 | | | |
| 合計 | 23,491.27 | 5,430.95 | 28,922.22 | | | |
| 最高 | 2,814.64 | 633.18 | 3,367.80 | | | |
| 最低 | 382.17 | 173.26 | 555.43 | | | |
| 平均 | 1,957.61 | 452.58 | 2,410.19 | | | |

焼却灰リサイクル実績

| | 発 寒 | | 駒 岡 | | 白 石 | | 合 計 |
|----|--------|----------|-----------|---|-----|-----------|-----|
| | t | t | t | t | t | t | |
| 4 | 8.83 | 193.58 | 365.12 | | | 567.53 | |
| 5 | 58.45 | 28.90 | 1,595.72 | | | 1,683.07 | |
| 6 | 0.00 | 580.81 | 1,517.11 | | | 2,097.92 | |
| 7 | 0.00 | 292.31 | 1,643.10 | | | 1,935.41 | |
| 8 | 0.00 | 426.32 | 1,216.28 | | | 1,642.60 | |
| 9 | 115.07 | 633.17 | 0.00 | | | 748.24 | |
| 10 | 0.00 | 535.12 | 1,555.09 | | | 2,090.21 | |
| 11 | 0.00 | 439.29 | 1,335.41 | | | 1,774.70 | |
| 12 | 0.00 | 313.81 | 1,658.68 | | | 1,972.49 | |
| 1 | 0.00 | 371.26 | 1,353.22 | | | 1,724.48 | |
| 2 | 0.00 | 392.35 | 1,431.58 | | | 1,823.93 | |
| 3 | 0.00 | 332.17 | 1,019.64 | | | 1,351.81 | |
| 合計 | 182.35 | 4,539.09 | 14,690.95 | | | 19,412.39 | |
| 最高 | 115.07 | 633.17 | 1,658.68 | | | 2,097.92 | |
| 最低 | 0.00 | 28.90 | 0.00 | | | 567.53 | |
| 平均 | 15.20 | 378.26 | 1,224.25 | | | 1,617.70 | |

※各工場の焼却灰量には焼却灰リサイクル分の数量も含まれる

(3) 工場ピットごみ組成

ア 年度別組成分類

(単位：湿重量%)

| 組成 年度 | 可燃物 | | | | プラスチック類 | | 不燃物 | | |
|----------|-----|------|------|------|-----------------|----------------|--------------|-----|------------|
| | 草木類 | 布類 | 紙類 | 厨芥類 | 容器包装 プラスチック類 | その他 プラスチック類 | ガラス・ 陶磁器類 | 金属類 | 土砂・ その他 |
| R1 | 9.8 | 13.4 | 33.5 | 28.8 | 8.3 | 4.2 | 0.7 | 0.5 | 0.8 |
| R2 | 7.2 | 10.8 | 30.8 | 38.1 | 8.0 | 4.0 | 0.0 | 0.6 | 0.5 |
| R3 | 3.6 | 5.2 | 42.9 | 30.0 | 14.1 | 3.7 | 0.1 | 0.2 | 0.4 |
| R4 | 5.1 | 9.9 | 25.9 | 40.6 | 10.7 | 6.8 | 0.1 | 0.5 | 0.4 |
| R5 | 5.9 | 10.8 | 30.8 | 37.5 | 8.8 | 5.5 | 0.2 | 0.3 | 0.3 |
| R6 | 5.3 | 11.8 | 29.1 | 40.3 | 8.2 | 4.8 | 0.1 | 0.3 | 0.2 |

イ 工場年度別発熱量、三成分推移表

(発熱量をkcal で表すには、1kcal = 4.186kJ とする。)

| 年度 項目 工場名 | 令和元年度 | | | | 令和2年度 | | | | 令和3年度 | | | |
|-----------------|--------------|---------|--------------|---------|--------------|---------|--------------|---------|--------------|---------|----------|----------|
| | 発熱量 kJ/kg | 水分 % | 可燃分 % | 不燃分 % |
| 発寒清掃工場 | 9,200 | 45.4 | 9,200 | 45.4 | 9,220 | 47.5 | 49.2 | 3.3 | 8,880 | 48.3 | 46.5 | 5.2 |
| 駒岡清掃工場 | 7,700 | 48.3 | 7,700 | 48.3 | 7,970 | 51.2 | 44.5 | 4.3 | 9,460 | 48.9 | 46.4 | 4.6 |
| 白石清掃工場 | 9,680 | 42.5 | 9,680 | 42.5 | 9,510 | 44.9 | 51.9 | 3.2 | 9,750 | 46.9 | 48.5 | 4.6 |
| 工場単純平均 | 8,880 | 45.4 | 8,880 | 45.4 | 8,900 | 47.9 | 48.5 | 3.6 | 9,360 | 48.0 | 47.1 | 4.8 |

| 年度 項目 工場名 | 令和4年度 | | | | 令和5年度 | | | | 令和6年度 | | | |
|-----------------|--------------|---------|----------|----------|--------------|---------|----------|----------|--------------|---------|----------|----------|
| | 発熱量 kJ/kg | 水分 % | 可燃分 % | 不燃分 % | 発熱量 kJ/kg | 水分 % | 可燃分 % | 不燃分 % | 発熱量 kJ/kg | 水分 % | 可燃分 % | 不燃分 % |
| 発寒清掃工場 | 8,490 | 50.1 | 46.4 | 3.5 | 10,300 | 40.4 | 56.1 | 3.5 | 8,510 | 49.5 | 48.1 | 2.4 |
| 駒岡清掃工場 | 9,090 | 46.8 | 50.2 | 3.0 | 8,420 | 48 | 49.0 | 3.0 | 8,550 | 49.9 | 47.7 | 2.3 |
| 白石清掃工場 | 9,700 | 44.9 | 51.9 | 3.1 | 7,960 | 47.6 | 49.6 | 2.7 | 8,810 | 47.6 | 49.9 | 2.6 |
| 工場単純平均 | 9,090 | 47.3 | 49.5 | 3.2 | 8,890 | 45.3 | 51.6 | 3.1 | 8,620 | 49.0 | 48.6 | 2.4 |

(4) ダイオキシン類測定結果

| 測定対象施設 | 測定箇所 | 排ガス測定値 | 排出基準 |
|-----------------|------|--|--|
| | | ng-TEQ/m ³ (atO ₂ 12%) | ng-TEQ/m ³ (atO ₂ 12%) |
| 発寒清掃工場 (焼却炉) | 1号炉 | 0.0029 | 既設 (H12. 1.15 以前設置) 1 |
| | 2号炉 | 0.0052 | |
| 駒岡清掃工場 (焼却炉) | 1号炉 | 0.002 | |
| | 2号炉 | 0.002 | |
| 白石清掃工場 (焼却炉) | 1号炉 | 0.0031 | 新設 (H12. 1.15 以降設置) 0.1 |
| | 2号炉 | 0.018 | |
| | 3号炉 | 0.00029 | |

2 処理場処理実績

(1) 埋立状況

| 月 | 直接埋立量 | | 破碎残渣 | | 合計 | | 焼却灰 | | | 合計 | | 埋立量 A+B+C+D +E+F | スラグ | 覆土用 土砂 (補助材含む) | 火山灰 (m3) |
|----|----------|--------|--------|--------|----------|--------|----------------|-----------|-----------|------|------------------|------------------------|------|----------------------|-------------|
| | 計画収集 | 事業者 | 残路 | 胸囲 | (A) | (B) | 残路工場 (飛灰含む) | 焼却灰 | | (C) | 資源化 残渣 (D) | | | | |
| | | | | | | | | 残路 | 胸囲 | | | | | | |
| 4 | 502.62 | 16.42 | 0.00 | 0.00 | 619.04 | 0.00 | 812.56 | 1,505.94 | 2,318.50 | 0.00 | 321.07 | 3,258.61 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 5 | 863.68 | 25.14 | 0.00 | 55.84 | 888.82 | 55.84 | 181.20 | 1,258.39 | 1,439.59 | 0.00 | 319.10 | 2,703.35 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 6 | 524.19 | 17.65 | 115.41 | 41.68 | 541.84 | 157.09 | 767.31 | 1,320.28 | 2,087.59 | 0.00 | 284.41 | 3,070.53 | 0.00 | 3,104.60 | 792.00 |
| 7 | 559.92 | 30.16 | 182.82 | 52.83 | 590.08 | 235.65 | 1,089.98 | 778.83 | 1,868.81 | 0.00 | 320.40 | 3,014.94 | 0.00 | 11,166.60 | 144.00 |
| 8 | 473.37 | 71.53 | 105.23 | 71.37 | 544.90 | 176.60 | 770.68 | 2,151.32 | 2,922.20 | 0.00 | 347.83 | 3,991.53 | 0.00 | 5,354.60 | 18.00 |
| 9 | 503.99 | 84.82 | 0.00 | 49.66 | 588.81 | 49.66 | 734.29 | 555.43 | 1,289.72 | 0.00 | 277.40 | 2,205.59 | 0.00 | 12,420.30 | 880.00 |
| 10 | 569.78 | 31.81 | 0.00 | 65.09 | 601.59 | 65.09 | 635.82 | 738.78 | 1,374.60 | 0.00 | 329.09 | 2,370.37 | 0.00 | 7,881.40 | 372.00 |
| 11 | 454.63 | 54.84 | 0.00 | 53.65 | 509.47 | 53.65 | 584.30 | 1,601.48 | 2,185.78 | 0.00 | 258.86 | 3,007.76 | 0.00 | 8,625.80 | 0.00 |
| 12 | 465.80 | 23.68 | 0.00 | 46.83 | 489.48 | 46.83 | 564.20 | 1,550.71 | 2,114.91 | 0.00 | 254.85 | 2,906.07 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 1 | 329.71 | 20.40 | 0.00 | 20.13 | 350.11 | 20.13 | 633.47 | 1,303.32 | 1,941.79 | 0.00 | 385.11 | 2,697.14 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 2 | 312.29 | 10.41 | 0.00 | 26.51 | 322.70 | 26.51 | 664.98 | 600.50 | 1,265.48 | 0.00 | 255.24 | 1,869.93 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 3 | 411.47 | 30.40 | 0.00 | 52.32 | 441.87 | 52.32 | 922.95 | 866.09 | 1,789.04 | 0.00 | 235.73 | 2,518.96 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 計 | 6,071.45 | 417.26 | 403.46 | 535.91 | 6,488.71 | 939.37 | 8,366.74 | 14,231.27 | 22,598.01 | 0.00 | 3,589.09 | 33,615.18 | 0.00 | 48,553.30 | 2,206.00 |
| 平均 | 505.95 | 34.77 | 33.62 | 44.66 | 540.73 | 78.28 | 697.23 | 1,185.94 | 1,883.17 | 0.00 | 299.09 | 2,801.27 | 0.00 | 4,046.11 | 183.83 |

※ 覆土用土砂に火山灰は含まない。

| 月 | 直接埋立量 | | 破碎残渣 | | 焼却灰 | | 合計 | | 資源化 | | 合計 | | 埋立量 A+B+C+D +E+F | 火山灰 (m3) |
|----|----------|-----------|----------|----------|-----------|----------|----------------|-----------|------------------|-------------------|-------------------|-----------|------------------------|-------------|
| | 計画収集 | 事業者 | 残路 | 胸囲 | (A) | (B) | 残路工場 (飛灰含む) | (C) | 資源化 残渣 (D) | 資源選別 残渣 (E) | プラ選別 残渣 (F) | | | |
| | | | | | | | | | | | | 残路 | | |
| 4 | 115.84 | 5,143.52 | 369.35 | 0.00 | 5,259.36 | 369.35 | 1,436.84 | 1,436.84 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 7,065.55 | 0.00 | 2,752.00 |
| 5 | 168.50 | 1,931.42 | 284.73 | 284.73 | 2,099.92 | 284.73 | 2,137.00 | 2,137.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 4,521.65 | 232.20 | 2,688.00 |
| 6 | 306.80 | 1,392.63 | 0.78 | 0.78 | 1,699.43 | 0.78 | 82.92 | 82.92 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 1,783.13 | 628.70 | 2,560.00 |
| 7 | 300.63 | 1,279.11 | 38.18 | 38.18 | 1,579.74 | 38.18 | 193.25 | 193.25 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 1,811.17 | 1,431.10 | 2,992.00 |
| 8 | 84.50 | 1,022.52 | 267.49 | 267.49 | 1,070.02 | 267.49 | 1,927.70 | 1,927.70 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 3,302.21 | 232.20 | 2,424.00 |
| 9 | 191.51 | 1,276.25 | 233.17 | 233.17 | 1,467.76 | 233.17 | 1,993.07 | 1,993.07 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 3,694.00 | 180.60 | 2,584.00 |
| 10 | 220.11 | 1,980.60 | 221.87 | 221.87 | 2,007.71 | 221.87 | 1,378.10 | 1,378.10 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 3,800.68 | 1,193.70 | 0.00 |
| 11 | 89.11 | 1,497.81 | 242.14 | 242.14 | 1,586.92 | 242.14 | 1,348.80 | 1,348.80 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 3,177.86 | 1,089.00 | 0.00 |
| 12 | 75.90 | 965.48 | 290.10 | 290.10 | 1,041.38 | 290.10 | 1,506.18 | 1,506.18 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 2,837.66 | 0.00 | 0.00 |
| 1 | 115.99 | 677.71 | 165.58 | 165.58 | 793.70 | 165.58 | 1,072.89 | 1,072.89 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 2,032.17 | 0.00 | 0.00 |
| 2 | 188.41 | 590.67 | 51.42 | 51.42 | 779.08 | 51.42 | 894.52 | 894.52 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 1,725.02 | 0.00 | 0.00 |
| 3 | 240.41 | 1,228.80 | 0.67 | 0.67 | 1,469.21 | 0.67 | 1,247.47 | 1,247.47 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 2,717.35 | 0.00 | 0.00 |
| 計 | 2,097.71 | 18,986.52 | 2,165.48 | 2,165.48 | 21,084.23 | 2,165.48 | 15,218.74 | 15,218.74 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 38,468.45 | 4,987.50 | 16,000.00 |
| 平均 | 174.81 | 1,582.21 | 180.46 | 180.46 | 1,757.02 | 180.46 | 1,268.23 | 1,268.23 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 3,205.70 | 415.63 | 1,333.33 |

※ 覆土用土砂に火山灰は含まない。

(2) 排水処理運転年報

(令和6年度)

| 処理場 | | モエレ | 山本処理場 | | | | 山口処理場 | | 排水 | |
|------------------|------|----------------|----------|-----|-----------|-----|-----------|--------|-----------|----------------|
| 項目 | | 処理場 | | | | | | | 基準値 | |
| ごみ受入量 | | t | - | | | | 6,489 | 21,084 | | |
| 区分 | 計画収集 | t | - | | | | 6,071 | 2,098 | | |
| | 事業者 | t | - | | | | 417 | 18,987 | | |
| 焼却灰等 (各種残渣含む) | | t | - | | | | 26,187 | 15,219 | | |
| 土砂・火山灰 | | t | - | | | | 50,759 | 20,988 | | |
| 流入水 | | | 山本 | 山本北 | 山本東 | 東米里 | 第2山口 | 第3山口 | | |
| | pH | | 7.2 | 7.3 | 7.5 | 7 | 7.3 | | 7.2 | |
| | BOD | mg/L | 4.5 | 4.2 | 4.5 | 3.2 | 6.0 | | 9.6 | |
| | COD | mg/L | 23 | 17 | 23 | 21 | 14 | | 31 | |
| 放水 | | | 下水 放流 | 山本北 | 脱窒 施設 | | | | | |
| | pH | | 7.4 | 7.3 | 7.6 | 7.3 | 7.2 | 7.2 | 7.2 | 5.8以上 8.6以下 |
| 水 | BOD | mg/L | 3.4 | 2.6 | 5.8 | 3.1 | 2.5 | 7.0 | 2.2 | 60以下 |
| | COD | mg/L | 19 | 17 | 24 | 18 | 12 | 26 | 19 | 90以下 |
| | S S | mg/L | 3 | 8 | 4 | 5 | 4 | 11 | 4 | 60以下 |
| 処理水量 | | m ³ | 126,628 | | 537,569 | | 199,459 | | 258,781 | |
| 電力使用量 | | kWh | 153,330 | | 416,746 | | 156,920 | | 248,259 | |
| 灯油重油使用量 | L | 灯油 | 2,180 | | 重油 28,170 | | 重油 14,849 | | 灯油 0 | |
| | | | | | | | | | 重油 24,646 | |

※ モエレ処理場は平成2年6月で受入停止

東米里処理場は平成19年6月で受入停止

第2山口は平成11年11月で埋立完了

東米里の排水処理施設については、平成12年4月より、東米里西排水処理施設を運用中

第2山口は平成11年度に一次処理を廃止し、「手稲水再生プラザ」へ圧送

山本処理場放流水は、硝酸性窒素処理施設（平成17年8月しゅん功）放流水

山本処理場（山本地区）は、一部「厚別水再生プラザ」へ圧送

水質の各値は年12回測定値の平均値、排水基準は最終処分場に係る技術上の基準を記載（下水道に放流している第2山口には適用されない）

3 し尿処理実績

(1) 札幌市クリーンセンター運転年報

(令和6年度)

※受入量は石狩市・当別町の搬入分含む

| 月 | 受入量 | 受入台数 | 下水道排水量 | | | | | 日平均 排水量 | 月 |
|----|------------|-------|--------|------------|-------|--------|-----|------------|---|
| | | | し尿 | プラント 給水 | 水道使用量 | 合計 | | | |
| | | | ㎥ | ㎥ | ㎥ | ㎥ | ㎥ | | |
| 4 | 2,282.140 | 414 | 2,275 | 1,030 | 36 | 3,341 | 111 | 4 | |
| 5 | 2,463.750 | 450 | 2,386 | 1,151 | 29 | 3,566 | 115 | 5 | |
| 6 | 2,254.950 | 430 | 2,288 | 1,020 | 25 | 3,333 | 111 | 6 | |
| 7 | 2,383.520 | 441 | 2,368 | 1,168 | 22 | 3,558 | 115 | 7 | |
| 8 | 2,356.900 | 435 | 2,412 | 1,104 | 13 | 3,529 | 114 | 8 | |
| 9 | 2,143.400 | 402 | 2,218 | 1,101 | 17 | 3,336 | 111 | 9 | |
| 10 | 2,718.860 | 492 | 2,790 | 1,289 | 15 | 4,094 | 132 | 10 | |
| 11 | 2,758.730 | 510 | 2,698 | 1,185 | 30 | 3,913 | 130 | 11 | |
| 12 | 2,155.510 | 407 | 2,150 | 1,173 | 31 | 3,354 | 108 | 12 | |
| 1 | 1,408.390 | 261 | 1,451 | 1,081 | 25 | 2,557 | 82 | 1 | |
| 2 | 1,393.390 | 259 | 1,369 | 1,087 | 26 | 2,482 | 89 | 2 | |
| 3 | 1,986.120 | 362 | 1,972 | 1,184 | 32 | 3,188 | 103 | 3 | |
| 合計 | 26,305.660 | 4,863 | 26,377 | 13,573 | 301 | 40,251 | — | 合計 | |
| 最大 | 2,758.730 | 510 | 2,790 | 1,289 | 36 | 4,094 | 132 | 最大 | |
| 最小 | 1,393.390 | 259 | 1,369 | 1,020 | 13 | 2,482 | 82 | 最小 | |
| 平均 | 2,192.138 | 405 | 2,198 | 1,131 | 25 | 3,354 | 110 | 平均 | |

| 月 | し渣 | | 薬品 | | | 燃料 | | 電力使用量 | 月 |
|----|-------|-------|-----|-------|--------------|----|-------|---------|----|
| | 発生量 | 搬出量 | 希硫酸 | 苛性ソーダ | 次亜塩素酸 ソーダ | 重油 | 灯油 | | |
| | kg | kg | kg | kg | kg | L | L | | |
| 4 | 221 | 0 | 33 | 49 | 1,049 | 0 | 540 | 29,500 | 4 |
| 5 | 26 | 0 | 49 | 55 | 969 | 0 | 300 | 28,420 | 5 |
| 6 | 142 | 1,004 | 66 | 58 | 1,243 | 0 | 160 | 26,710 | 6 |
| 7 | 97 | 0 | 49 | 74 | 1,573 | 0 | 130 | 28,870 | 7 |
| 8 | 145 | 0 | 82 | 66 | 1,357 | 0 | 100 | 28,410 | 8 |
| 9 | 100 | 0 | 66 | 55 | 1,037 | 0 | 80 | 26,210 | 9 |
| 10 | 205 | 0 | 66 | 63 | 889 | 0 | 210 | 29,370 | 10 |
| 11 | 290 | 0 | 82 | 52 | 707 | 0 | 600 | 28,800 | 11 |
| 12 | 207 | 1,051 | 49 | 71 | 764 | 0 | 910 | 29,030 | 12 |
| 1 | 182 | 0 | 16 | 63 | 445 | 0 | 850 | 30,210 | 1 |
| 2 | 182 | 0 | 49 | 66 | 342 | 0 | 850 | 28,770 | 2 |
| 3 | 299 | 0 | 33 | 88 | 353 | 0 | 800 | 30,860 | 3 |
| 合計 | 2,096 | 2,055 | 640 | 760 | 10,728 | 0 | 5,530 | 345,160 | 合計 |
| 最大 | 299 | 1,051 | 82 | 88 | 1,573 | 0 | 910 | 30,860 | 最大 |
| 最小 | 26 | 0 | 16 | 49 | 342 | 0 | 80 | 26,210 | 最小 |
| 平均 | 175 | 171 | 53 | 63 | 894 | 0 | 461 | 28,763 | 平均 |

(2) 札幌市クリーンセンターし尿受入実績

(令和6年度)

| 自治体 | 札幌市 | | | | 石狩市 | | | | 当別町 | | | | |
|--------|------------|------------|-------------|------------|-----------|-------------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|-------------|-----------|
| | 一般し尿 kL | 水洗し尿 kL | 浄化槽汚泥 kL | 計 kL | し尿 kL | 浄化槽汚泥 kL | 計 kL | し尿 kL | 浄化槽汚泥 kL | 計 kL | し尿 kL | 浄化槽汚泥 kL | 計 kL |
| 種別 | | | | | | | | | | | | | |
| 4月 | 1,350.250 | 10.600 | 138.330 | 1,499.180 | 409.960 | 71.470 | 481.430 | 265.770 | 35.760 | 301.530 | 265.770 | 35.760 | 301.530 |
| 5月 | 1,302.710 | 38.560 | 270.460 | 1,611.730 | 393.080 | 124.190 | 517.270 | 189.920 | 144.830 | 334.750 | 189.920 | 144.830 | 334.750 |
| 6月 | 1,167.650 | 34.740 | 253.330 | 1,455.720 | 374.660 | 189.230 | 563.890 | 161.440 | 73.900 | 235.340 | 161.440 | 73.900 | 235.340 |
| 7月 | 1,295.070 | 32.550 | 235.520 | 1,563.140 | 381.960 | 127.820 | 509.780 | 218.360 | 92.240 | 310.600 | 218.360 | 92.240 | 310.600 |
| 8月 | 1,261.970 | 32.790 | 235.440 | 1,530.200 | 502.950 | 112.390 | 615.340 | 188.070 | 23.290 | 211.360 | 188.070 | 23.290 | 211.360 |
| 9月 | 1,133.020 | 38.030 | 204.500 | 1,375.550 | 367.330 | 172.180 | 539.510 | 160.560 | 67.780 | 228.340 | 160.560 | 67.780 | 228.340 |
| 10月 | 1,443.790 | 70.140 | 340.650 | 1,854.580 | 361.230 | 159.840 | 521.070 | 203.250 | 139.960 | 343.210 | 203.250 | 139.960 | 343.210 |
| 11月 | 1,445.220 | 47.140 | 374.840 | 1,867.200 | 444.260 | 112.040 | 556.300 | 241.670 | 93.560 | 335.230 | 241.670 | 93.560 | 335.230 |
| 12月 | 1,327.410 | 0.000 | 268.450 | 1,595.860 | 334.330 | 8.080 | 342.410 | 217.240 | 0.000 | 217.240 | 217.240 | 0.000 | 217.240 |
| 1月 | 1,093.590 | 0.000 | 30.120 | 1,123.710 | 165.700 | 0.000 | 165.700 | 116.750 | 2.230 | 118.980 | 116.750 | 2.230 | 118.980 |
| 2月 | 1,023.010 | 0.000 | 61.850 | 1,084.860 | 188.680 | 1.990 | 190.670 | 107.130 | 10.730 | 117.860 | 107.130 | 10.730 | 117.860 |
| 3月 | 1,305.180 | 0.000 | 138.700 | 1,443.880 | 322.520 | 30.950 | 353.470 | 155.740 | 33.030 | 188.770 | 155.740 | 33.030 | 188.770 |
| 合計 | 15,148.870 | 304.550 | 2,552.190 | 18,005.610 | 4,246.660 | 1,110.180 | 5,356.840 | 2,225.900 | 717.310 | 2,943.210 | 2,225.900 | 717.310 | 2,943.210 |
| 日平均受入量 | 41.390 | 0.832 | 6.973 | 49.196 | 11.603 | 3.033 | 14.636 | 6.082 | 1.960 | 8.042 | 6.082 | 1.960 | 8.042 |
| 受入割合 | 84.1% | 1.7% | 14.2% | 100.0% | 79.3% | 20.7% | 100.0% | 75.6% | 24.4% | 100.0% | 75.6% | 24.4% | 100.0% |
| 自治体別割合 | | | | 68.4% | | | 20.4% | | | 11.2% | | | 100.0% |

注

○日平均受入量は365日で除した。

○平成28年10月より石狩市、当別町のし尿受入開始。